

情報システム学科（3年課程）1年次

第1学年

科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必修の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	001	社会人基礎Ⅰ	講義	必修	60	3	
	002	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	
	003	社会人基礎Ⅲ	講義	選必	90	3	
	004	複式簿記の原理	講義	選必	90	3	○
	005	株式会社会計	講義	選必	90	3	○
	006	株式会社会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	○
	007	中小企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	008	中小企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	009	中小企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	010	公開企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	011	公開企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	012	公開企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	013	商業簿記上級	講義	選必	90	3	
	014	工業簿記上級	講義	選必	90	3	
	015	日商簿記1級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	016	日商簿記1級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	017	日商簿記1級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	018	日商簿記1級演習Ⅰ	演習	選必	40	1	
	019	日商簿記1級演習Ⅱ	演習	選必	40	1	
	020	日商簿記1級演習Ⅲ	演習	選必	40	1	
	021	日商簿記1級演習Ⅳ	演習	選必	40	1	
	022	日商簿記2級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	023	日商簿記2級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	024	日商簿記2級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	025	日商簿記2級演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	026	日商簿記2級演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	027	日商簿記2級演習Ⅲ	演習	選必	30	1	
	028	日商簿記2級演習Ⅳ	演習	選必	30	1	
	029	国内旅行Ⅰ	講義	選必	60	2	
	030	国内旅行Ⅱ	講義	選必	60	2	
	031	国内旅行演習	演習	選必	60	2	
	032	ファイナンシャル・プランニングⅠ	講義	選必	60	2	
	033	ファイナンシャル・プランニングⅡ	講義	選必	60	2	
	034	ファイナンシャル・プランニング演習	演習	選必	60	2	
	035	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	
	036	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	
	037	ファイナンシャル・プランニング応用演習	演習	選必	60	2	
	038	経営学	講義	選必	180	8	

専
門
科
目

039	経理実務	講義	選必	120	6	○
040	経理実務演習	演習	選必	60	2	○
041	宅地建物取引士入門	講義	選必	40	2	
042	宅地建物取引士Ⅰ	講義	選必	60	2	
043	宅地建物取引士Ⅱ	講義	選必	60	2	
044	宅地建物取引士Ⅲ	講義	選必	60	2	
045	宅地建物取引士Ⅳ	講義	選必	30	1	
046	賃貸不動産経営管理士	講義	選必	60	2	
047	文書処理技能	講義	選必	40	2	○
048	プレゼンテーション技能	講義	選必	40	2	○
049	マーケティング基礎	講義	選必	120	4	○
050	リテールマーケティング基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
051	リテールマーケティング基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	○
052	リテールマーケティング基礎演習	演習	選必	60	2	○
053	リテールマーケティング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	○
054	リテールマーケティング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	○
055	リテールマーケティング応用演習	演習	選必	60	2	○
056	税務会計	講義	選必	120	4	
057	秘書基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	
058	秘書基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	
059	ビジネス会計Ⅰ	講義	選必	60	2	
060	ビジネス会計Ⅱ	講義	選必	60	2	
061	プログラミング基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
062	プログラミング応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
063	アプリケーション開発基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
064	アプリケーション開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
065	コンピュータリテラシ	演習	選必	30	1	
066	コンピュータリテラシ（表計算）	演習	選必	30	1	
067	コンピュータリテラシ（文書処理）	演習	選必	30	1	
068	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	演習	選必	30	1	
069	コンピュータリテラシ（データベース）	演習	選必	30	1	
070	システム開発基礎Ⅰ	演習	選必	60	2	○
071	システム開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	○
072	情報処理テクノロジー基礎	講義	選必	30	1	
073	情報処理マネジメント基礎	講義	選必	30	1	
074	情報処理ストラテジ基礎	講義	選必	30	1	
075	情報処理基礎演習	演習	選必	30	1	
076	情報処理テクノロジー応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
077	情報処理マネジメント応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
078	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
079	情報処理応用演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
080	アルゴリズム基礎	講義	選必	30	1	

081	アルゴリズム応用	演習	選必	30	1	
082	情報セキュリティ基礎	講義	選必	30	1	
083	情報セキュリティ応用	講義	選必	30	1	
084	ネットワーク基礎	講義	選必	30	1	
085	ネットワーク応用	講義	選必	30	1	
086	システムアーキテクチャ I	演習	選必	30	1	
087	情報処理入門テクノロジー	講義	選必	30	1	
088	情報処理入門マネジメント	講義	選必	30	1	
089	情報処理入門ストラテジ	講義	選必	30	1	
090	情報処理入門演習	演習	選必	30	1	
091	消費税法税務会計	講義	選必	90	3	○
092	簿記論 I	講義	選必	120	4	
093	財務諸表論 I	講義	選必	120	4	
094	消費税法 I	講義	選必	120	4	○
095	法人税法 I	講義	選必	120	4	○
096	相続税法 I	講義	選必	120	4	
097	簿記論演習 I	演習	選必	60	2	
098	財務諸表論演習 I	演習	選必	60	2	
099	消費税法演習 I	演習	選必	60	2	○
100	法人税法演習 I	演習	選必	60	2	○
101	相続税法演習 I	演習	選必	60	2	
102	会計学上級	講義	選必	90	3	
103	原価計算上級	講義	選必	90	3	
104	Excel表計算技能	講義	選択	30	1	○
105	簿記速修	講義	選択	120	4	
106	F P 技能士 3 級	講義	選択	60	2	
107	F P 技能士 3 級演習	演習	選択	15	1	
108	コンピュータ会計	演習	選択	30	2	

1 学年合計授業時間数・取得単位数

900

32

(備考)

選必は選択必修科目であり、840時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

情報システム学科（3年課程）2年次

第2学年

科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	109	社会人基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	3	
	110	システム開発演習	演習	選必	90	4	
	111	A I 開発演習	演習	選必	90	4	
	112	ネットワーク開発演習	演習	選必	90	4	
	113	アプリケーション開発演習	演習	選必	90	4	
	114	情報処理基礎演習	演習	選必	120	5	
	115	情報処理応用演習	演習	選必	120	5	
	116	高度セキュリティ演習	演習	選必	120	5	
	117	高度データベース演習	演習	選必	120	5	
	118	高度ネットワーク演習	演習	選必	120	5	
	119	C言語	演習	選必	60	2	
	120	Python言語	演習	選必	60	2	
	121	プログラム言語	演習	選必	60	2	
	122	JAVA言語	演習	選必	60	2	
	123	表計算ソフト基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	124	文書処理ソフト基礎	講義	選必	60	3	○
	125	プレゼンテーションソフト	講義	選必	60	2	○
	126	データベースソフト	演習	選必	60	2	○
	127	情報処理基礎テクノロジーⅠ	講義	選必	90	3	
	128	情報処理基礎マネジメントⅠ	講義	選必	60	2	
	129	情報処理基礎ストラテジⅠ	講義	選必	60	2	
	130	情報処理応用テクノロジーⅠ	講義	選必	90	3	
	131	情報処理応用マネジメントⅠ	講義	選必	60	2	
	132	情報処理応用ストラテジⅠ	講義	選必	60	2	
	133	高度セキュリティテクノロジーⅠ	講義	選必	90	3	
	134	高度セキュリティマネジメントⅠ	講義	選必	60	2	
	135	高度セキュリティストラテジⅠ	講義	選必	60	2	
	136	高度データベーステクノロジーⅠ	講義	選必	90	3	
	137	高度データベースマネジメントⅠ	講義	選必	60	2	
	138	高度データベースストラテジⅠ	講義	選必	60	2	
	139	高度ネットワークテクノロジーⅠ	講義	選必	90	3	
	140	高度ネットワークマネジメントⅠ	講義	選必	60	2	
	141	高度ネットワークストラテジⅠ	講義	選必	60	2	
	142	情報処理基礎テクノロジーⅡ	講義	選必	60	2	
	143	情報処理基礎マネジメントⅡ	講義	選必	60	2	
	144	情報処理基礎ストラテジⅡ	講義	選必	60	2	
	145	情報処理応用テクノロジーⅡ	講義	選必	60	2	
	146	情報処理応用マネジメントⅡ	講義	選必	60	2	

専門科目	147	情報処理応用ストラテジⅡ	講義	選必	60	2	
	148	高度セキュリティテクノロジーⅡ	講義	選必	60	2	
	149	高度セキュリティマネジメントⅡ	講義	選必	60	2	
	150	高度セキュリティストラテジⅡ	講義	選必	60	2	
	151	高度データベーステクノロジーⅡ	講義	選必	60	2	
	152	高度データベースマネジメントⅡ	講義	選必	60	2	
	153	高度データベースストラテジⅡ	講義	選必	60	2	
	154	高度ネットワークテクノロジーⅡ	講義	選必	60	2	
	155	高度ネットワークマネジメントⅡ	講義	選必	60	2	
	156	高度ネットワークストラテジⅡ	講義	選必	60	2	
	157	情報処理基礎テクノロジーⅢ	講義	選必	60	4	
	158	情報処理基礎マネジメントⅢ	講義	選必	60	2	
	159	情報処理基礎ストラテジⅢ	講義	選必	60	2	
	160	情報処理応用テクノロジーⅢ	講義	選必	60	4	
	161	情報処理応用マネジメントⅢ	講義	選必	60	2	
	162	情報処理応用ストラテジⅢ	講義	選必	60	2	
	163	高度セキュリティテクノロジーⅢ	講義	選必	60	2	
	164	高度セキュリティマネジメントⅢ	講義	選必	60	2	
	165	高度セキュリティストラテジⅢ	講義	選必	60	2	
	166	高度データベーステクノロジーⅢ	講義	選必	60	2	
	167	高度データベースマネジメントⅢ	講義	選必	60	2	
	168	高度データベースストラテジⅢ	講義	選必	60	2	
	169	高度ネットワークテクノロジーⅢ	講義	選必	60	2	
	170	高度ネットワークマネジメントⅢ	講義	選必	60	2	
	171	高度ネットワークストラテジⅢ	講義	選必	60	2	
	172	情報処理基礎テクノロジー	講義	選必	60	2	○
	173	情報処理基礎マネジメント	講義	選必	30	1	○
	174	情報処理基礎ストラテジ	講義	選必	30	1	○
	175	情報処理応用テクノロジー	講義	選必	60	2	○
	176	情報処理応用マネジメント	講義	選必	30	1	○
	177	情報処理応用ストラテジ	講義	選必	30	1	○
178	高度セキュリティテクノロジー	講義	選必	60	2	○	
179	高度セキュリティマネジメント	講義	選必	30	1	○	
180	高度セキュリティストラテジ	講義	選必	30	1	○	
181	高度データベーステクノロジー	講義	選必	60	2	○	
182	高度データベースマネジメント	講義	選必	30	1	○	
183	高度データベースストラテジ	講義	選必	30	1	○	
184	高度ネットワークテクノロジー	講義	選必	60	2	○	
185	高度ネットワークマネジメント	講義	選必	30	1	○	
186	高度ネットワークストラテジ	講義	選必	30	1	○	
2 学年合計授業時間数・取得単位数					900	31	

(備考)

選必は選択必修科目であり、900時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

情報システム学科（3年課程）3年次

第3学年

科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	187	社会人基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	3	
	188	社会人基礎知識Ⅱ	講義	選必	60	2	
専門科目	189	システム開発演習	演習	選必	90	4	
	190	C言語	演習	選必	60	2	
	191	J A V A言語	演習	選必	60	2	
	192	P y t h o n言語	演習	選必	60	2	
	193	プログラム言語	演習	選必	60	2	
	194	表計算ソフト基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	195	文書処理ソフト基礎	講義	選必	60	3	○
	196	プレゼンテーションソフト	講義	選必	60	2	○
	197	データベースソフト	演習	選必	60	2	○
	198	情報処理基礎演習	演習	選必	90	5	
	199	情報処理応用演習	演習	選必	90	5	
	200	高度セキュリティ演習	演習	選必	90	5	
	201	高度データベース演習	演習	選必	90	5	
	202	高度ネットワーク演習	演習	選必	90	5	
	203	社会人総合演習	演習	選必	120	7	
	204	ビジネスパソコンスキル	実習	選必	120	4	
205	社会人総合実習Ⅳ	実習	選必	90	3	○	
206	卒業制作	実習	選必	60	2		
3学年合計授業時間数・取得単位数					810	31	

(備考)

選必は選択必修科目であり、810時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅰ		授業形態	講義	
			選必の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、熊谷 茜美 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、大野 直哉、佐藤 舞那		授業回数	30回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び計算処理能力を身につけることを目的とし、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験および日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。</p> <p>また、様々な視点から自己分析を行い自分に向いている業種、職業等の分析・確認を行う。</p>				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	<p>【一般教養】</p> <p>漢字（訓読み送り仮名編）①</p> <p>【計算処理能力】</p> <p>電卓基礎知識（各部の名称や機能）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第16回	<p>【一般教養】</p> <p>漢字能力検定試験項目別問題（訓読み送り仮名編）</p> <p>【計算処理能力】</p> <p>電卓技能検定試験対策問題①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第2回	<p>【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）②</p> <p>【計算処理能力】 電卓（加減算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第17回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 （熟語編）</p> <p>【計算処理能力】 電卓技能検定試験対策問題②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第3回	<p>【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）③</p> <p>【計算処理能力】 電卓（見取算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第18回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 （熟語編）</p> <p>【計算処理能力】 電卓技能検定試験対策問題③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第4回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）①</p> <p>【計算処理能力】 電卓（乗算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第19回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 （同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）</p> <p>【計算処理能力】 電卓技能検定試験対策問題④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第5回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）②</p> <p>【計算処理能力】 電卓（除算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第20回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 （誤字訂正・漢字の意味・ 漢字の使い方編）</p> <p>【計算処理能力】 電卓技能検定試験対策問題⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第6回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）③</p> <p>【計算処理能力】 電卓（伝票算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第21回	<p>自己分析① （高校時代の自分を振り返る）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第7回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）④</p> <p>【計算処理能力】 電卓（見取算構成比率の考え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第22回	自己分析② (周りから見た自分の印象を知る)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第8回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）①</p> <p>【計算処理能力】 電卓（乗算構成比率の考え方 及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第23回	自己分析③ (自分の長所・短所を考 える)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第9回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）②</p> <p>【計算処理能力】 電卓（除算構成比率の考え方 及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第24回	自己分析④ (学生時代打ち込んだこと ～学業面～)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第10回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）③</p> <p>【計算処理能力】 電卓（伝票算構成比率の考 え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第25回	自己分析⑤ (学生時代打ち込んだこと ～学業面以外～)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第11回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）④</p> <p>【計算処理能力】 電卓（電卓速度向上レク チャー）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第26回	【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験第1回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第12回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）①</p> <p>【計算処理能力】 電卓（電卓速度向上レクチャー）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第27回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験第2回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第13回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②</p> <p>【計算処理能力】 電卓（電卓速度向上レクチャー）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第28回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験第3回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第14回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③</p> <p>【計算処理能力】 電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第29回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験第4回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第15回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④</p> <p>【計算処理能力】 電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第30回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験第5回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。				
教科書 参考書等	<p>漢字能力検定試験対策問題集2級・3級（学校法人 大原学園）</p> <p>漢字能力検定試験対策直前模擬試験 第1回～第5回（学校法人 大原学園）</p> <p>電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級問題（大原出版）</p> <p>※受験級に合わせて各自購入</p> <p>電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版）</p> <p>※受験級に合わせて各自購入</p>				

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>社会人基礎Ⅰは、上記学科の必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。</p>
----	---

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	社会人基礎Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、熊谷 茜美 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、大野 直哉、佐藤 舞那		授業回数	30回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識やビジネスマナーを学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎Ⅰに引き続き、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定試験、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【社会人常識マナー】 社会と組織 【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第16回	【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 ①（訓読み送り仮名編） 【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑧	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第2回	<p>【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）②</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第17回	<p>【社会人常識マナー】 電話応対、交際業務</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題②（熟語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第3回	<p>【社会人常識マナー】 仕事と成果</p> <p>【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第18回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題③（熟語編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑨</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第4回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）①</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第19回	<p>【社会人常識マナー】 文書類の受け取りと発送</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 ④（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第5回	<p>【社会人常識マナー】 一般知識</p> <p>【一般教養】 漢字（熟語編）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第20回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験項目別問題 ⑤（誤字訂正・漢字の意味・ 漢字の使い方編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑩</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第6回	<p>【一般教養】 漢字（熟語編）②</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第21回	<p>【社会人常識マナー】 過去問題 演習・解説①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第7回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネス計算</p> <p>【一般教養】 漢字（熟語編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第22回	<p>【社会人常識マナー】 過去問題 演習・解説②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第8回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）①</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第23回	<p>【社会人常識マナー】 過去問題 演習・解説③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第9回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネスコミュニケーション</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第24回	<p>【社会人常識マナー】 過去問題 演習・解説④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第10回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第25回	<p>【社会人常識マナー】 過去問題 演習・解説⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第11回	<p>【社会人常識マナー】 社会人にふさわしい言葉遣い</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・ 反対語・類義語編）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第26回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験 第1回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第12回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）①</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑥</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第27回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験 第2回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第13回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネス文書の書き方と留意点</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第28回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験 第3回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第14回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑦</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第29回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験 第4回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第15回	<p>【社会人常識マナー】 職場のマナー、来客応対</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第30回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 直前模擬試験 第5回</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。				
教科書 参考書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト（株式会社エデュプレス）</p> <p>社会人常識マナー検定試験 過去問題集（公益社団法人 全国経理教育協会）</p> <p>漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人 大原学園）</p> <p>漢字能力検定試験対策直前模擬試験 第1回～第5回（学校法人 大原学園）</p> <p>電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級問題（大原出版）</p> <p>※受験級に応じて各自購入</p> <p>電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版）</p> <p>※受験級に応じて各自購入</p>				

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>社会人基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。</p>
----	---

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・税理士会計士学科（4年課程）・ 税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅲ		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間	
			単位数		3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、熊谷 茜美 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、大野 直哉、佐藤 舞那		授業回数		30回	
			成績 評価 方法	筆記試験		: 70 %
授業態度		: 30 %				
		: %				
		: %				
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	科目「社会人基礎Ⅰ」及び「社会人基礎Ⅱ」で学んだ内容を基礎として、自己の履歴書を作成するとともに、業界研究、業種研究等を行い自分にマッチングした仕事を見つけ、社会人として必要なビジネススキル及び対人能力（協調性、リーダーシップ、傾聴力）を養うことを授業目的とする。また、自分の意見や考えを臆することなく述べることができる様にすることを到達目標とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	職業理解、会社選びのポイント	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第16回	企業研究① (企業情報、事業内容)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	

第2回	企業へのアクセス 応募書類の準備	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第17回	企業研究② (採用情報)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第3回	就職活動におけるスケジュール の管理とトラブル対応 (就職体験報告会)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第18回	企業研究③ (人事・教育制度、福利厚生)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第4回	一般常識講義 (時事①、SPI適性試験①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第19回	企業研究④ (同業界での他社との比較)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第5回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策①) 対人能力向上 (グループディスカッション ①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第20回	企業研究④ (企業とのマッチング具合を 分析する)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第6回	一般常識講義 (時事②) 社会人マナー (入退室等の作法①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第21回	業界研究① (業界の全体像を捉える)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第7回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策②) 対人能力向上 (集団面接①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第22回	業界研究② (業界ごとの特徴を理解する)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第8回	一般常識講義 (時事③) 対人能力向上 (集団面接②)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第23回	業界研究③ (業界の成長性・安定性を知る)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第9回	一般常識講義 (SPI・適正検査対策③、作文 作成法)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第24回	職種研究①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第10回	一般常識講義 (時事④、SPI適性試験②)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第25回	職種研究②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第11回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策④) 対人能力向上 (グループディスカッション ②)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第26回	自己分析① (適性検査)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那

第12回	一般常識講義（時事⑤） 社会人マナー （入退室等の作法②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第27回	自己分析② （趣味、余暇活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第13回	一般常識講義 （SPI・適性検査対策⑤） 対人能力向上（個人面接①）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第28回	自己分析③ （ボランティア活動、部活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第14回	一般常識講義（時事⑥） 対人能力向上（個人面接②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第29回	自己分析④ （自己PRの作成）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
第15回	効果測定（入退室等の作法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那	第30回	履歴書の作成	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 熊谷 茜美 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 大野 直哉 佐藤 舞那
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。				
教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人 大原学園） 就職ノートブック（学校法人 大原学園） 就職模擬試験（実務教育出版）※適性検査で使用 SPI対策テスト Type-B（株式会社 教育企画センター）※適性検査で使用 最新最強のSPIクリア問題集 26年度版（成美堂出版） 最新最強の適性検査クリア問題集 26年度版（成美堂出版）				

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>社会人基礎Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>また、受講生を複数の教室に分けて講義をするため、科目教員を多く配置している。</p>
----	---

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	複式簿記の原理		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	熊谷 茜美、工藤 英一		授業回数	15回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
				ミニテスト	: 30 %
				授業態度	: 20 %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	受験簿記が実務に直結することを他の科目教員とともに授業を通して理解させる。 また、実務経験で身につけた会計処理の知識及び経営コンサルティングに必要な経営管理や経営分析を行うための工業簿記、原価計算に関する授業を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社にて、経理担当者として日々の会計処理・決算整理等の業務に従事しており、税理士事務所と共同して財務諸表の作成等を行っていた。また、他の一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。				
授業目的 到達目標	小規模会社を前提とした商業簿記を学習します。簿記の基本となる日々の取引の仕訳ができるようになること、さらには決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを目的としています。 また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身に付けることを目標としています。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	簿記の目的 簿記一巡の手続き 株式会社の資本	熊谷 茜美 工藤 英一	第9回	税金（消費税、法人税等の 決算整理） 訂正仕訳	熊谷 茜美 工藤 英一
第2回	商品売買Ⅰ（3分法、売掛金、 買掛金、返品、分記法の記帳 方法）	熊谷 茜美 工藤 英一	第10回	損益計算書および貸借対照表 の作成	熊谷 茜美 工藤 英一

第3回	商品売買Ⅱ（仕入諸掛、販売諸掛、前払金、前受金、受取商品券）	熊谷 茜美 工藤 英一	第11回	第2回確認テスト実施および解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第4回	繰越商品・仕入の決算整理 精算表の作成	熊谷 茜美 工藤 英一	第12回	主要簿と補助簿 現金出納帳・当座預金出納帳 小口現金出納帳	熊谷 茜美 工藤 英一
第5回	現金および預金 当座借越の振替え 手形の記帳方法	熊谷 茜美 工藤 英一	第13回	仕入帳、売上帳 売掛金元帳、買掛金元帳 商品有高帳	熊谷 茜美 工藤 英一
第6回	第1回確認テスト実施および解説 受取手形および売掛金の決算整理	熊谷 茜美 工藤 英一	第14回	手形記入帳 固定資産管理台帳	熊谷 茜美 工藤 英一
第7回	有形固定資産 有形固定資産の決算整理 現金過不足及び現金の決算整理	熊谷 茜美 工藤 英一	第15回	試算表の作成 伝票会計	熊谷 茜美 工藤 英一
第8回	貯蔵品の決算整理 その他の債権および債務の記帳方法	熊谷 茜美 工藤 英一			
準備学習等	日々の復習を欠かさずに行うことが重要です。わからないところはそのままにせず質問するようにしてください。また、授業の始めに前回の授業範囲の確認のためにミニテストを行いますので、復習を徹底するようにしてください。予習は不要です。				
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 3級商業簿記 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 3級商業簿記 解答集（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記（大原出版）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。複式簿記の原理は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	株式会社社会計		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数		90時間	
			単位数		3単位	
科目教員	熊谷 茜美、工藤 英一		授業回数		15回	
			成績 評価 方法	筆記試験		: 50 %
ミニテスト		: 30 %				
授業態度		: 20 %				
		: %				
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	受験簿記が実務に直結することを他の科目教員とともに授業を通して理解させる。 また、実務経験で身につけた会計処理の知識及び経営コンサルティングに必要な経営管理や経営分析を行うための工業簿記、原価計算に関する授業を行う。					
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社にて、経理担当者として日々の会計処理・決算整理等の業務に従事しており、税理士事務所と共同して財務諸表の作成等を行っていた。また、他の一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。					
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」で履修した内容を基に、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得します。そして本試験レベルの問題に対応できる力を養うことを目的としています。さらに、項目ごとに一通りの処理を確認するとともに、各自の苦手項目を明確にし重点的に確認を行います。日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身に付けることを到達目標としています。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：商品売買 試算表：合計残高試算表 財務諸表：精算表	熊谷 茜美 工藤 英一	第9回	直前対策講義実施、解説 仕訳：有形固定資産 個別問題：補助問題 模擬試験問題演習・解説③	熊谷 茜美 工藤 英一	

第2回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：固定資産 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	熊谷 茜美 工藤 英一	第10回	直前対策講義実施、解説 仕訳：株式会社の資本 その他の取引① 個別問題：勘定記入 模擬試験問題演習・解説④	熊谷 茜美 工藤 英一
第3回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：貸倒れ、貸付金、 借入金 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および 貸借対照表	熊谷 茜美 工藤 英一	第11回	直前対策講義実施、解説 仕訳：その他の取引②③ 個別問題：固定資産台帳 模擬試験問題演習・解説⑤	熊谷 茜美 工藤 英一
第4回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：給料、現金過不足 試算表：合計残高試算表 財務諸表：損益計算書および 貸借対照表	熊谷 茜美 工藤 英一	第12回	模擬試験問題演習・解説⑥	熊谷 茜美 工藤 英一
第5回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：仮受金、仮払金、 その他 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	熊谷 茜美 工藤 英一	第13回	模擬試験問題演習・解説⑦	熊谷 茜美 工藤 英一
第6回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：訂正仕訳 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および 貸借対照表	熊谷 茜美 工藤 英一	第14回	模擬試験問題演習・解説⑧	熊谷 茜美 工藤 英一
第7回	直前対策講義実施、解説 仕訳：商品売買 個別問題：伝票 試験対策問題演習・解説①	熊谷 茜美 工藤 英一	第15回	模擬試験問題演習・解説⑨	熊谷 茜美 工藤 英一

第8回	直前対策講義実施、解説 仕訳：債権・債務 個別問題：商品有高帳 模擬試験問題演習・解説②	熊谷 茜美 工藤 英一			
準備学習等	毎回の問題のやり直しを徹底してください。また、授業だけでなく各自で勉強の時間を確保し、苦手項目の復習に力を入れてください。理解が不十分な場合には科目教員に質問し解決したうえで次回の授業に臨むようにし、自宅学習の方法等で迷った場合も科目教員に相談するようにしてください。なお、予習は不要です。				
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) 日商簿記3級 過去問分析より徹底予想！試験によく出る問題集 (大原出版) ESSENTIAL 項目別答練問題集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 項目別答練解答集 (学校法人 大原学園) 日商3級 直前対策講義 商業簿記 (学校法人 大原学園)				
備考	授業計画の各回の授業内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。株式会社会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	株式会社社会計演習Ⅰ		授業形態	演習
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、工藤 英一		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
授業態度	: 30 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美			: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	受験簿記が実務に直結することを他の科目教員とともに授業を通して理解させる。 また、実務経験で身につけた会計処理の知識及び経営コンサルティングに必要な経営管理や経営分析を行うための工業簿記、原価計算に関する授業を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社にて、経理担当者として日々の会計処理・決算整理等の業務に従事しており、税理士事務所と共同して財務諸表の作成等を行っていた。また、他の一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」及び「株式会社社会計」で履修した内容を基に、本試験を意識して問題演習を行います。さらに本試験前の時間の使い方や時間配分を意識することで、より本試験に対応できる能力を身に付けることを目的としています。また、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できるレベルを目指します。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ガイダンス問題演習・解説 直前模擬試験 第1回			熊谷 茜美 工藤 英一
第2回	問題演習・解説直前模擬試験 第2回			熊谷 茜美 工藤 英一
第3回	問題演習・解説直前模擬試験 第3回			熊谷 茜美 工藤 英一

第4回	問題演習・解説オリジナル模擬試験	熊谷 茜美 工藤 英一
第5回	問題演習・解説 最終確認問題 総論	熊谷 茜美 工藤 英一
準備学習等	本試験直前の問題演習です。やり直しを完璧に行い、分からないところがある場合には科目教員に質問し、解決したうえで次の問題演習に臨むようにしてください。また、本試験と同じ時間帯で行いますので、始まる前の時間の使い方や時間配分、見直しの仕方なども意識して臨むようにしましょう。	
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記 (大原出版) 日商3級 過去問分析より徹底予想! 試験によく出る問題集 (大原出版) ESSENTIAL 項目別答練問題集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 項目別答練解答集 (学校法人 大原学園) 日商3級 直前対策講義 商業簿記 (学校法人 大原学園) 2024年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回~第3回 (学校法人 大原学園)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。第1回のガイダンス及び第5回の総論は実務経験教員が行う。 株式会社社会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計Ⅰ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、 工藤 英一、熊谷 茜美		授業回数	18回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論 原価計算の手続き (個別原価計算・総合原価計算)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第10回	株式会社の純資産、 株式の発行、剰余金の配当	工藤 英一 穴戸 雄翔
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第11回	標準原価計算 CVP分析	工藤 英一 穴戸 雄翔

第3回	材料費会計 労務費会計 経費会計、製造間接費会計	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第12回	企業結合、消費税、 法人税等、税効果会計	工藤 英一 穴戸 雄翔
第4回	棚卸資産、有価証券	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第13回	直接原価計算 全部原価計算 固定費調整	工藤 英一 穴戸 雄翔
第5回	部門別計算 単純個別原価計算	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第14回	損益計算書、貸借対照表、 精算表、補助簿	工藤 英一 穴戸 雄翔
第6回	有形固定資産、リース会計	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第15回	本支店会計	工藤 英一 穴戸 雄翔
第7回	無形固定資産、 ソフトウェア、引当金	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第16回	工場会計 公企業の財務諸表	工藤 英一 穴戸 雄翔
第8回	単純総合原価計算 工程別総合原価計算 組別・等級別総合原価計算	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消 去等、未実現損益の消去	工藤 英一 穴戸 雄翔
第9回	収益及び費用、研究開発費、 為替換算会計	工藤 英一 穴戸 雄翔	第18回	製造業を営む会社の決算処理	工藤 英一 穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>中小企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、 工藤 英一、熊谷 茜美		授業回数	18回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 (材料費会計、労務費会計、 経費会計、製造間接費会計)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第10回	商業簿記問題、解説 演習答練 第10回 (仕訳、リース会計、精算 表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第2回	商業簿記問題、解説 演習答練 第1回、第2回 (仕訳、株主資本等変動計算 書、有価証券、損益計算書)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	工藤 英一 穴戸 雄翔

第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第12回	商業簿記問題、解説 演習答練 第11回、第12回 (仕訳、伝票会計、残高試算 表、精算表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第4回	商業簿記問題、解説 演習答練 第3回、第4回 (仕訳、商品売買、固定資 産、損益計算書)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第13回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算、固定費 調整)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価 計算)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第14回	商業簿記問題、解説 演習答練 第13回 (仕訳、外貨建て、残高試算 表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第6回	商業簿記問題、解説 演習答練 第5回、第6回 (仕訳、銀行勘定調整表、株 主資本等変動計算書、貸借対 照表)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第15回	商業簿記問題、解説 演習答練 第14回 (仕訳、語句記入、 サービス業の損益計算書)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第7回	商業簿記問題、解説 演習答練 第7回、第8回 (仕訳、有価証券、固定資 産、貸借対照表)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸 表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、 組別・等級別総合原価計算)	菊地 裕俊 熊谷 茜美	第17回	商業簿記問題、解説 演習答練 第15回 (仕訳、株主資本等変動計算 書、連結精算表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
第9回	商業簿記問題、解説 演習答練 第9回 (仕訳、商品売買、 損益計算書・貸借対照表)	工藤 英一 穴戸 雄翔	第18回	商業簿記問題、解説 演習答練 第16回 (仕訳、本支店会計、連結精 算表)	工藤 英一 穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 演習問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 演習問題編 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>中小企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間	
			単位数	2単位	
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、 工藤 英一、熊谷 茜美		授業回数	12回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」及び「中小企業会計Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	直前模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第7回	直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美
第2回	直前模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第8回	直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美

第3回	弱点克服問題演習①	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第9回	弱点克服問題演習④	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美
第4回	直前模擬試験 第3回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第10回	オリジナル模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美
第5回	直前模擬試験 第4回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第11回	弱点克服問題演習③	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美
第6回	オリジナル模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美	第12回	最終確認問題演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 工藤 英一 熊谷 茜美

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
-------	--

教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (問題編) (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (解答編) (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 2024年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) ネット試験と第164回をあてるTAC予想模擬+解き方テキスト日商簿記2級 (TAC出版)</p>
-------------	---

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。中小企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。
----	--

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年

科目名	公開企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「公開企業会計Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、有形固定資産	千葉 菜愛	
第2回	工業簿記総論、費目別計算	菊地 裕俊	
第3回	割引現在価値、リース取引	千葉 菜愛	
第4回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地 裕俊	
第5回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	千葉 菜愛	
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算、工程別総合原価計算	菊地 裕俊	

第7回	社債、引当金	千葉 菜愛
第8回	退職給付、資産除去債務	千葉 菜愛
第9回	組別総合原価計算、等級別総合原価計算連産品、副産物	菊地 裕俊
第10回	純資産、新株予約権、ストックオプション	千葉 菜愛
第11回	標準原価計算、直接原価計算、全部原価計算	菊地 裕俊
第12回	税効果会計	千葉 菜愛
第13回	CVP分析、原価分解、事業部制	菊地 裕俊
第14回	外貨建取引	千葉 菜愛
第15回	簿記1級本科統一模擬試験 第1回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛

準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。</p>
-------	---

教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計 (大原出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計 (大原出版)</p> <p>【共通】</p> <p>簿記1級本科統一模擬試験 第1回 (学校法人 大原学園)</p>
-------------	--

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>公開企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>
----	--

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年

科目名	公開企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」を前提に、会計専門職(税理士・公認会計士等)を目指す者として 高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則 などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とす る。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到 達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	商品売買等	千葉 菜愛	
第2回	予算管理、予算編成、予算統制	菊地 裕俊	
第3回	工事契約、本支店会計	千葉 菜愛	
第4回	意思決定会計総論、業務的意思決定会計	菊地 裕俊	
第5回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	千葉 菜愛	
第6回	構造的意意思決定会計	菊地 裕俊	

第7回	持分法、連結税効果会計、包括利益	千葉 菜愛
第8回	簿記1級本科統一模擬試験 第2回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛
第9回	在外子会社、企業結合	千葉 菜愛
第10回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第11回	事業分離	千葉 菜愛
第12回	過去試験問題演習解説①（日商簿記過去試験問題第161回、第162回）	菊地 裕俊
第13回	キャッシュ・フロー計算書	千葉 菜愛
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書、会計上の変更及び誤謬の訂正	千葉 菜愛
第15回	簿記1級本科統一模擬試験 第3回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園版) ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計 (大原出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 問題編 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 解答編 (学校法人 大原学園) 簿記1級受験用 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) 簿記1級受験用 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計 (大原出版) 1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 簿記1級本科統一模擬試験 第2回 (学校法人 大原学園) 簿記1級本科統一模擬試験 第3回 (学校法人 大原学園)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>公開企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年

科目名	公開企業会計演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間	
			単位数	2単位	
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
授業態度	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」及び「公開企業会計Ⅱ」を前提とし、ここまで習得した知識を活用し、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。難易度の高い問題を解くことで、知識の定着を図る。さらに、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛	第6回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛
第2回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛	第7回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛

第3回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第3回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛	第8回	弱点克服問題演習②	菊地 裕俊 千葉 菜愛
第4回	弱点克服問題演習①	菊地 裕俊 千葉 菜愛	第9回	日商簿記検定第166回対策 全国統一公開模擬試験	菊地 裕俊 千葉 菜愛
第5回	日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第4回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛	第10回	最終確認問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。なお、予習は不要。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園版)</p> <p>【共通】 日商簿記検定第166回対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 日商簿記検定第166回対策 全国統一公開模擬試験 (学校法人 大原学園) 過去問題集 日商簿記1級 (大原出版) 第164回をあてるTAC直前予想模擬 日商簿記1級</p>				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 公開企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	商業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
実務経験教員の実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	財務諸表分析、一般原則	千葉 菜愛	
第2回	損益計算書原則	千葉 菜愛	
第3回	貸借対照表原則	千葉 菜愛	
第4回	資産会計、負債会計	千葉 菜愛	
第5回	純資産会計	千葉 菜愛	
第6回	外貨建取引会計	千葉 菜愛	
第7回	税効果会計	千葉 菜愛	

第8回	企業結合会計	千葉 菜愛
第9回	連結会計	千葉 菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉 菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉 菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉 菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉 菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉 菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉 菜愛
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>全経簿記上級 商業簿記・会計学テキスト (中央経済社)</p> <p>簿記検定全経上級 直前対策講義 商業簿記・会計学 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>商業簿記上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	工業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地 裕俊	
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地 裕俊	
第3回	総合原価計算	菊地 裕俊	
第4回	標準原価計算	菊地 裕俊	
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地 裕俊	
第6回	事業部制	菊地 裕俊	

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地 裕俊
第8回	構造的意決定	菊地 裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第10回	工場独立会計	菊地 裕俊
第11回	直前対策講義 過去問題解説(第191回、第193回)	菊地 裕俊
第12回	直前対策講義 過去問題解説(第195回、第197回)	菊地 裕俊
第13回	直前対策講義 過去問題解説(第199回、第201回)	菊地 裕俊
第14回	直前対策講義 過去問題解説(第203回、第205回)	菊地 裕俊
第15回	直前対策講義 過去問題解説(第207回、第209回)	菊地 裕俊
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記上級 原価計算・工業簿記テキスト (中央経済社) 簿記検定全経上級 直前対策講義 工業簿記・原価計算 (学校法人 大原学園)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 工業簿記上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・4学年

科目名	日商簿記1級I	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間	
		単位数	3単位	
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔	授業回数	15回	
		成績評価方法	筆記試験	: 50 %
			ミニテスト	: 30 %
			授業態度	: 20 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記1級II」に積極的に取り組めるようにする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計	穴戸 雄翔		
第2回	工業簿記総論、費目別計算、個別原価計算	菊地 裕俊		
第3回	有形固定資産、割引現在価値	穴戸 雄翔		
第4回	部門別原価計算、部門個別原価計算	菊地 裕俊		
第5回	リース取引	穴戸 雄翔		
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算	菊地 裕俊		

第7回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	穴戸 雄翔
第8回	社債、引当金	穴戸 雄翔
第9回	工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算 副産物、連産品	菊地 裕俊
第10回	退職給付、資産除去債務	穴戸 雄翔
第11回	標準原価計算	菊地 裕俊
第12回	純資産、新株予約権、ストックオプション	穴戸 雄翔
第13回	CVP分析、原価分解	菊地 裕俊
第14回	税効果会計	穴戸 雄翔
第15回	本科統一模擬試験 第1回 実施・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるように、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 商業簿記・会計学 (大原出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 工業簿記・原価計算 (大原出版)</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第1回 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・4学年

科目名	日商簿記1級II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級I」を前提に、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の知識を深め、基礎的な内容の問題を自力で解けるようにする。また、難解な問題に対し、どのように問題を解いていけばいいかなどの思考力を身につける。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記1級III」に積極的に取り組めるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	外貨建取引	穴戸 雄翔	
第2回	直接原価計算・全部原価計算	菊地 裕俊	
第3回	商品売買等	穴戸 雄翔	
第4回	CVP分析・原価分解	菊地 裕俊	
第5回	工事契約、本支店会計	穴戸 雄翔	
第6回	事業部制	菊地 裕俊	

第7回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	穴戸 雄翔
第8回	持分法、連結税効果会計、包括利益	穴戸 雄翔
第9回	意思決定会計総論・業務的意思決定	菊地 裕俊
第10回	在外子会社、企業結合	穴戸 雄翔
第11回	意思決定会計総論・構造的意決定	菊地 裕俊
第12回	事業分離	穴戸 雄翔
第13回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第14回	キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、 会計上の変更及び誤謬の訂正	穴戸 雄翔
第15回	本科統一模擬試験 第2回 実施・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。</p>	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計 (大原出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計 (大原出版) 簿記能力検定試験過去試験問題集 1級 工業簿記・原価計算 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第2回 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・4学年

科目名	日商簿記1級Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級Ⅱ」、「商業簿記上級」、「工業簿記上級」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験1級及び全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級、日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験①②実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	【工業簿記・原価計算】項目別（費目別）問題解説	菊地 裕俊	
第3回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験③④ 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	【工業簿記・原価計算】項目別（部門別）問題解説	菊地 裕俊	
第5回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑤⑥ 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第6回	【工業簿記・原価計算】項目別（製品別）問題解説	菊地 裕俊
第7回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑦⑧ 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第8回	【商業簿記・会計学】確認テスト①② 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験①② 実施・解説	菊地 裕俊
第10回	【商業簿記・会計学】確認テスト③④実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第11回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験③④ 実施・解説	菊地 裕俊
第12回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑤⑥実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第13回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験⑤⑥ 実施・解説	菊地 裕俊
第14回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑦⑧実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第15回	本科統一模擬試験 第3回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計（学校法人 大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学 （一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 1級商業簿記・会計学 基礎期 模擬試験①～⑧ 問題用紙（学校法人 大原学園） 1級商業簿記・会計学 基礎期 模擬試験①～⑧ 解答・解説（学校法人 大原学園） 1級商業簿記・会計学 基礎期 確認テスト①～⑧ 問題用紙（学校法人 大原学園） 1級商業簿記・会計学 基礎期 確認テスト①～⑧ 解答・解説（学校法人 大原学園）</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 問題編（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 解答編（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計（学校法人 大原学園） 簿記能力検定試験過去試験問題集 1級 工業簿記・原価計算 （一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題用紙（学校法人 大原学園） 1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説（学校法人 大原学園）</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第3回（学校法人 大原学園） 2024年度 日商簿記1級 網羅型完全予想問題集（TAC出版）</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記1級演習 I		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	40時間	
			単位数	1単位	
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				授業態度	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級Ⅲ」を前提とし、ここまで習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別(費目別計算・個別原価計算、部門別計算)解説	菊地 裕俊	第6回	第3回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第2回	第1回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第7回	項目別(業務的意思決定、構造的 的意思決定)解説	菊地 裕俊

第3回	項目別(総合原価計算、標準原価計算)解説	菊地 裕俊	第8回	第4回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第4回	第2回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第9回	項目別(事業部制・戦略的原価計算)解説	菊地 裕俊
第5回	項目別(CVP分析・原価分解)解説	菊地 裕俊	第10回	第5回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 工業簿記・原価計算 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p>				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	日商簿記1級演習II		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	40時間	
			単位数	1単位	
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習I」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	第118回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第6回	第111回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第2回	第117回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第7回	第109回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔

第3回	第115回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第8回	第108回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第4回	第114回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第9回	第106回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第5回	第112回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第10回	第104回日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) <p>【工業簿記・原価計算】</p> ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 工業簿記・原価計算 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	日商簿記1級演習Ⅲ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	40時間	
			単位数	1単位	
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
授業態度	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、日本商工会議所主催簿記検定試験1級（以下、「日商簿記1級」という。）の商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	第162回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第6回	第156回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第2回	第161回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第7回	第153回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔

第3回	第159回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第8回	第152回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第4回	第158回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第9回	第150回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第5回	第157回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第10回	第149回日商簿記1級 過去試験問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) 過去問題集 日商簿記1級 (大原出版) 2024年度 日商簿記1級 網羅型完全予想問題集 (TAC出版) <p>【工業簿記・原価計算】</p> ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 簿記1級受験用 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) 簿記1級受験用 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	日商簿記1級演習Ⅳ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	40時間	
			単位数	1単位	
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
授業態度	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習Ⅲ」を前提とし、更なる知識の定着を図るため、難易度の高い商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第6回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第2回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第7回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第3回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第3回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第8回	弱点克服問題演習②	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔

第4回	弱点克服問題演習①	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第9回	日商簿記検定第167回対策 全国統一公開模擬試験 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第5回	日商簿記検定第167回対策 直前模擬試験 第4回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	第10回	最終確認問題演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。 また、各回の復習を必ず行うこと。予習は不要。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) <p>【工業簿記・原価計算】</p> ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) <p>【共通】</p> 日商簿記検定第165回対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 日商簿記検定第165回対策 全国統一公開模擬試験 (学校法人 大原学園) 過去問題集 日商簿記1級 (大原出版) 第165回をあてるTAC直前予想模擬 日商簿記1級 (TAC出版) 2024年度 日商簿記1級 網羅型完全予想問題集 (TAC出版)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級I		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔		授業回数	18回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。</p>				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論 原価計算の手続き (個別原価計算・総合原価計算)	鈴木 秀俊	第10回	株式会社の純資産、 株式の発行、剰余金の配当	穴戸 雄翔

第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	穴戸 雄翔	第11回	標準原価計算 CVP分析	鈴木 秀俊
第3回	材料費会計、労務費会計 経費会計、製造間接費会計	鈴木 秀俊	第12回	企業結合、消費税、 法人税等、税効果会計	穴戸 雄翔
第4回	棚卸資産、有価証券	穴戸 雄翔	第13回	直接原価計算 全部原価計算 固定費調整	鈴木 秀俊
第5回	部門別計算 単純個別原価計算	鈴木 秀俊	第14回	損益計算書、貸借対照表、 精算表、補助簿	穴戸 雄翔
第6回	有形固定資産、リース会計	穴戸 雄翔	第15回	本支店会計	穴戸 雄翔
第7回	無形固定資産、 ソフトウェア、引当金	穴戸 雄翔	第16回	工場会計 公企業の財務諸表	鈴木 秀俊
第8回	単純総合原価計算 工程別総合原価計算 組別・等級別総合原価計算	鈴木 秀俊	第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消 去等、未実現損益の消去	穴戸 雄翔
第9回	収益及び費用、研究開発費、 為替換算会計	穴戸 雄翔	第18回	製造業を営む会社の決算処理	穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級II		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔		授業回数	18回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級I」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 (材料費会計、労務費会計、 経費会計、製造間接費会計)	鈴木 秀俊	第10回	商業簿記問題 解説 演習答練 第10回 (仕訳、リース会計、精算 表)	穴戸 雄翔

第2回	商業簿記問題 解説 演習答練 第1回、第2回 (仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書)	穴戸 雄翔	第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	鈴木 秀俊
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	鈴木 秀俊	第12回	商業簿記問題 解説 演習答練 第11回、第12回 (仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表)	穴戸 雄翔
第4回	商業簿記問題 解説 演習答練 第3回、第4回 (仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書)	穴戸 雄翔	第13回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算、固定費調整)	鈴木 秀俊
第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	鈴木 秀俊	第14回	商業簿記問題 解説 演習答練 第13回 (仕訳、外貨建て、残高試算表)	穴戸 雄翔
第6回	商業簿記問題 解説 演習答練 第5回、第6回 (仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表)	穴戸 雄翔	第15回	商業簿記問題 解説 演習答練 第14回 (仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書)	穴戸 雄翔
第7回	商業簿記問題 解説 演習答練 第7回、第8回 (仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表)	穴戸 雄翔	第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	鈴木 秀俊
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算)	鈴木 秀俊	第17回	商業簿記問題 解説 演習答練 第15回 (仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表)	穴戸 雄翔
第9回	商業簿記問題 解説 演習答練 第9回 (仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表)	穴戸 雄翔	第18回	商業簿記問題 解説 演習答練 第16回 (仕訳、本支店会計、連結精算表)	穴戸 雄翔

準備学習等	<p>簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。</p>
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 演習問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 演習問題編 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p>
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	18回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級Ⅱ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	5伝票制、特殊仕訳帳制	穴戸 雄翔	第10回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、 組別・等級別総合原価計算)	鈴木 秀俊
第2回	答練期問題集項目別解説 (材料費会計、労務費会計)	鈴木 秀俊	第11回	資産除去債務	穴戸 雄翔

第3回	為替手形、荷為替手形、 商品券（自社）	穴戸 雄翔	第12回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	鈴木 秀俊
第4回	答練期問題集項目別解説 (経費会計、製造間接費会計)	鈴木 秀俊	第13回	固定資産の減損	穴戸 雄翔
第5回	有価証券 (貸付・借入・差入・預り・ 保管)	穴戸 雄翔	第14回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算・固定費 調整)	鈴木 秀俊
第6回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	鈴木 秀俊	第15回	負ののれん発生益、社債	穴戸 雄翔
第7回	特殊商品売買、 履行義務の充足	穴戸 雄翔	第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸 表)	鈴木 秀俊
第8回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算・ 総合原価計算)	鈴木 秀俊	第17回	商業簿記・会計学 理論対策	穴戸 雄翔
第9回	圧縮記帳、投資不動産	穴戸 雄翔	第18回	財務諸表分析	穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】（学校法人 大原学園）（大原出版） ALFA 2級商業簿記 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 2級商業簿記 解答集（学校法人 大原学園） 全経 簿記能力検定試験公式テキスト1級（ネットスクール出版） 全経 簿記能力検定試験公式問題集1級（ネットスクール出版） ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・会計学 （公益社団法人 全国経理教育協会）</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 2級工業簿記 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 2級工業簿記 解答集（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編（学校法人 大原学園） ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編（学校法人 大原学園） 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 原価計算・工業簿記 （公益社団法人 全国経理教育協会）</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習Ⅰ	授業形態			
		演習	演習		
		選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間		
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	12回		
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %		
			授業態度 : 30 %		
			: %		
: %					
科目教員のうち 実務経験教員		: %	: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級Ⅰ」及び「日商簿記2級Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 直前模擬試験 第1回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第7回	直前模擬試験 第5回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第2回	直前模擬試験 第2回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第8回	直前模擬試験 第6回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第3回	弱点克服問題演習①	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第9回	弱点克服問題演習②	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第4回	直前模擬試験 第3回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第10回	オリジナル模擬試験 第2回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第5回	直前模擬試験 第4回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第11回	弱点克服問題演習③	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第6回	オリジナル模擬試験 第1回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第12回	最終確認問題 演習・解説 総論	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (問題編) (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (解答編) (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 2024年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) ネット試験と第165回をあてるTAC予想模擬+解き方テキスト日商簿記2級 (TAC出版)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習II		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間	
			単位数	1単位	
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
授業態度	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級II」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「全経簿記1級」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 全経簿記1級演習 5伝票制、特殊仕訳帳制、為替 手形、荷為替手形、商品券 (自社)	穴戸 雄翔	第6回	理論対策③ (標準原価計算)	鈴木 秀俊

第2回	理論対策① (費目別計算、個別原価計算、 部門別原価計算)	鈴木 秀俊	第7回	全経簿記1級演習 固定資産の減損、負ののれん 発生益	穴戸 雄翔
第3回	全経簿記1級演習 有価証券 (貸付・借入・差入・預り・ 保管) 特殊商品売買、履行義 務の充足	穴戸 雄翔	第8回	理論対策④ (短期利益計画、工場独立会 計)	鈴木 秀俊
第4回	理論対策② (部門別原価計算、総合原価計 算)	鈴木 秀俊	第9回	全経簿記1級演習 社債、理論、財務諸表分析	穴戸 雄翔
第5回	全経簿記1級演習 圧縮記帳(積立金方式)、 投資不動産、資産除去債務	穴戸 雄翔	第10回	理論対策⑤ (直接原価計算、全部原価計 算) 総論	鈴木 秀俊

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
-------	--

教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経 簿記能力検定試験公式テキスト1級 (ネットスクール出版) 全経 簿記能力検定試験公式問題集1級 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 簿記能力検定試験 最新過去問題集1級 商業簿記・会計学 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 簿記能力検定試験 最新過去問題集1級 工業簿記・原価計算 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>
-------------	---

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>
----	---

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習Ⅲ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間	
			単位数	1単位	
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
授業態度	:	30 %			
	:	%			
	:	%			
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級演習Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 項目別対策 5伝票制、特殊仕訳帳制、為替 手形、荷為替手形、商品券 (自社)	穴戸 雄翔	第6回	過去試験項目対策 (総合原価計算、標準原価計 算)	鈴木 秀俊

第2回	過去試験項目対策 (費目別計算、個別原価計算)	鈴木 秀俊	第7回	項目別対策 固定資産の減損・負ののれん 発生益	穴戸 雄翔
第3回	項目別対策 有価証券 (貸付・借入・差入・預り・ 保管) 特殊商品売買、履行義務の充 足	穴戸 雄翔	第8回	過去試験項目対策 (CVP分析、工場独立会計)	鈴木 秀俊
第4回	過去試験項目対策 (部門別原価計算、総合原価計 算)	鈴木 秀俊	第9回	項目別対策 社債、理論、財務諸表分析	穴戸 雄翔
第5回	項目別対策 圧縮記帳(積立金方式)、 投資不動産、資産除去債務	穴戸 雄翔	第10回	過去試験項目対策 (直接原価計算、全部原価計 算)総論	鈴木 秀俊
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経 簿記能力検定試験公式テキスト1級 (ネットスクール出版) 全経 簿記能力検定試験公式問題集1級 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・会計学 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 原価計算・工業簿記 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記2級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級演習Ⅲ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第209回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第6回	第204回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第2回	第208回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第7回	第203回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第3回	第207回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第8回	第202回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第4回	第206回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第9回	第201回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第5回	第205回過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	第10回	第200回過去問題演習・解説 総論	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。				
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経 簿記能力検定試験公式テキスト1級 (ネットスクール出版) 全経 簿記能力検定試験公式問題集1級 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・会計学 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 令和6年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 工業簿記・原価計算 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級演習IVは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ OA事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	国内旅行Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木 秀俊	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : :
科目教員のうち 実務経験教員			: % :
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	旅行業に関する法律について理解することや各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的としています。また、本講義終了後に予定している科目「国内旅行Ⅱ」に積極的に取り組めるようにしてください。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 【約款】総則、契約の成立 【観光地理】北海道	鈴木 秀俊	第6回	【業法】営業保証金制度、旅行業務取扱管理者、旅行業務取扱料金 【観光地理】群馬・埼玉	鈴木 秀俊
第2回	【約款】契約の変更、契約の解除、旅行代金の払戻し 【観光地理】青森・岩手	鈴木 秀俊	第7回	【業法】旅行業約款、標識、取引条件の説明、書面の交付 【観光地理】千葉・東京	鈴木 秀俊
第3回	【約款】団体・グループ・旅程管理 責任、旅程保証 【観光地理】宮城・秋田	鈴木 秀俊	第8回	【業法】外務員、広告の表示等・誇大広告の禁止、旅程管理、受託契約 【観光地理】神奈川・新潟	鈴木 秀俊

第4回	【約款】特別補償規程 旅行相談業務 【観光地理】山形・福島	鈴木 秀俊	第9回	【業法】旅行業者代理業、禁止行為、登録の取消し等、旅行サービス手配業 【観光地理】富山・石川	鈴木 秀俊
第5回	【業法】総則、登録制度 【観光地理】茨城・栃木	鈴木 秀俊	第10回	【業法】旅行業協会（法定業務、苦情解決業務、弁済業務保証金制度）、罰則・雑則 【観光地理】福井・山梨	鈴木 秀俊
準備学習等	非常に暗記の多い科目です。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。				
教科書 参考書等	旅行業務取扱管理者試験 テキスト①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験 問題集 ①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験 テキスト②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験 問題集 ②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業実務シリーズ4 国内観光資源（JTB総合研究所）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	国内旅行Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木 秀俊		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「国内旅行Ⅰ」を前提とし、旅行業に関する法律と運賃計算・料金計算の計算方法について理解することや、各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的とし、最終的には旅行業務取扱管理者試験に合格できる知識を身につけることを目標としています。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【実務】JR運賃・料金計算、 JR運賃計算（運賃計算の基 礎、本州3社とまたがる場合、 通過連絡運輸の取扱い） 【観光地理】長野・岐阜	鈴木 秀俊	第6回	【実務】JR料金計算（東北新 幹線、北海道新幹線、北陸新 幹線、上越新幹線、山形・秋 田新幹線の料金）、JRその他 【観光地理】島根・岡山・広島	鈴木 秀俊
第2回	【実務】JR運賃計算（連続運 賃計算、運賃計算の特例）、 割引運賃（個人割引・団体割 引） 【観光地理】静岡・愛知・三重	鈴木 秀俊	第7回	【約款】国内航空運送約款 【実務】国内航空運賃・料金 計算 【観光地理】山口・徳島・香川	鈴木 秀俊

第3回	<p>【実務】JR料金計算（料金計算の基礎、特急料金、グリーン料金、グランクラス料金、寝台料金）</p> <p>【観光地理】滋賀・京都・大阪</p>	鈴木 秀俊	第8回	<p>【約款】フェリー標準運送約款</p> <p>【実務】フェリー運賃・料金計算</p> <p>【観光地理】愛媛・高知・佐賀</p>	鈴木 秀俊
第4回	<p>【実務】JR料金計算「サンライズ瀬戸号」と四国内の特急の乗継割引、新幹線と在来線の乗継割引</p> <p>【観光地理】兵庫・奈良</p>	鈴木 秀俊	第9回	<p>【約款】モデル宿泊約款</p> <p>【実務】宿泊料金計算</p> <p>【観光地理】長崎・熊本・大分</p>	鈴木 秀俊
第5回	<p>【実務】JR料金計算（通し計算、東海道・山陽新幹線の特急料金、九州新幹線の特急料金）</p> <p>【観光地理】和歌山・鳥取</p>	鈴木 秀俊	第10回	<p>【約款】貸切バス約款</p> <p>【実務】貸切バス運賃・料金計算</p> <p>【観光地理】宮崎・鹿児島・沖縄</p>	鈴木 秀俊
準備学習等	<p>非常に暗記の多い科目で、運賃計算・料金計算については複雑な問題も多く含まれています。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。</p>				
教科書 参考書等	<p>旅行業務取扱管理者試験 テキスト①観光地理（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 問題集 ①観光地理（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 テキスト②旅行業法・約款（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 問題集 ②旅行業法・約款（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 テキスト③国内旅行実務（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 問題集 ③国内旅行実務（大原出版）</p> <p>旅行業務取扱管理者試験 科目別速習問題集（JTB総合研究所）</p> <p>旅行業実務シリーズ4 国内観光資源（JTB総合研究所）</p>				
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。</p>				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	国内旅行演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木 秀俊	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
授業態度 : 30 %			
: %			
: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	「国内旅行Ⅰ」、「国内旅行Ⅱ」で履修した内容を基に問題演習や、やり直しを繰り返し、本試験の問題に対応できる力を養うことを目的としています。基礎的な問題から、難易度の高い応用問題まで取り組むことで理解を深め、旅行業務取扱管理者試験に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習、解説 公開模擬試験問題①	鈴木 秀俊	第6回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題 B問題①	鈴木 秀俊
第2回	問題演習、解説 直前模擬試験問題① 公開模擬試験問題②	鈴木 秀俊	第7回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題 C問題①	鈴木 秀俊
第3回	問題演習、解説 令和元年度旅行業務取扱管理 者試験過去問題 公開模擬試験問題③	鈴木 秀俊	第8回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題 A問題② JTB模擬試験問題 B問題②	鈴木 秀俊

第4回	問題演習、解説 令和3年度旅行業務取扱管理者 試験過去問題 直前模擬試験問題②	鈴木 秀俊	第9回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題 C問題②	鈴木 秀俊
第5回	問題演習、解説 令和4年度年度旅行業務取扱管 理者試験過去問題 JTB模擬試験問題 A問題①	鈴木 秀俊	第10回	問題演習、解説 公開模擬試験問題④ 直前模擬試験問題③	鈴木 秀俊
準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切です。間違った問題だけを確認するのではなく、その範囲のテキストを一通り確認することでより知識が定着します。地理に関する問題は範囲が膨大で全てを網羅することは困難であるため、出題頻度の高いものを優先的に暗記をするようにしてください。また、わからないところがある場合、勉強方法で迷った場合には科目教員に相談するようにしてください。				
教科書 参考書等	公開模擬試験問題（学校法人 大原学園） 直前模擬試験問題（学校法人 大原学園） JTB模擬試験問題 A問題・B問題・C問題（JTB総合研究所） 旅行業務取扱管理者試験過去問題集（学校法人 大原学園）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行演習は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学年合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅠ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」に積極的に取り組めるようにすること。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤 英一 久保田 佳子	

第5回	リスク管理 (リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容)	工藤 英一 久保田 佳子
第6回	金融資産運用 (マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託)	工藤 英一 久保田 佳子
第7回	タックスプランニング (税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容)	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	タックスプランニング (課税標準の計算、所得控除)	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	タックスプランニング (税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税)	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	不動産 (不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限)	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済 (社会) や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題 (大原出版)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する可能性がある。ファイナンシャル・プランニングⅠは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅡ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」確認講義	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）	工藤 英一 久保田 佳子	
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	工藤 英一 久保田 佳子	

第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤 英一 久保田 佳子
第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	<p>予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。</p> <p>なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」の理解度確認を実施する。</p>	
教科書 参考書等	<p>ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版）</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版）</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニングⅡは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP3級に合格することを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	問題演習・解説 学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	問題演習・解説 学科編②（リスク管理）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	問題演習・解説 学科編③（金融資産運用）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	問題演習・解説 学科編④（タックスプランニング）	工藤 英一 久保田 佳子	
第5回	問題演習・解説 学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤 英一 久保田 佳子	
第6回	問題演習・解説 実技編①	工藤 英一 久保田 佳子	

第7回	問題演習・解説 実技編②	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	過去試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	過去試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	過去試験問題 演習・解説③	工藤 英一 久保田 佳子
第11回	過去試験問題 演習・解説④	工藤 英一 久保田 佳子
第12回	過去試験問題 演習・解説⑤	工藤 英一 久保田 佳子
第13回	過去試験問題 演習・解説⑥	工藤 英一 久保田 佳子
第14回	模擬試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第15回	模擬試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題 (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集問題編 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集解答編 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級学科模擬試験 (学校法人 大原学園) 3級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級実技模擬試験 (学校法人 大原学園) 3級FP技能検定 実技模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」に積極的に取り組めるようにすること。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤 英一 久保田 佳子	

第5回	リスク管理 (リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容)	工藤 英一 久保田 佳子
第6回	金融資産運用 (マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託)	工藤 英一 久保田 佳子
第7回	タックスプランニング (税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容)	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	タックスプランニング (課税標準の計算、所得控除)	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	タックスプランニング (税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税)	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	不動産 (不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限)	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済(社会)や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト (大原出版) ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題 (大原出版) 【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題 (大原出版)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用II		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員		工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	10回
			成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
				授業態度 : 30 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用I」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2級または3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ガイダンス 科目「ファイナンシャル・プランニング応用I」確認講義			工藤 英一 久保田 佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）			工藤 英一 久保田 佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）			工藤 英一 久保田 佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）			工藤 英一 久保田 佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）			工藤 英一 久保田 佳子
第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）			工藤 英一 久保田 佳子

第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	<p>予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。</p> <p>なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」の理解度確認を実施する。</p>	
教科書 参考書等	<p>【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題（大原出版）</p> <p>【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版）</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用II」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP2級または3級に合格することを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	問題演習・解説 学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	問題演習・解説 学科編②（リスク管理）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	問題演習・解説 学科編③（金融資産運用）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	問題演習・解説 学科編④（タックスプランニング）	工藤 英一 久保田 佳子	
第5回	問題演習・解説 学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤 英一 久保田 佳子	
第6回	問題演習・解説 実技編①	工藤 英一 久保田 佳子	

第7回	問題演習・解説 実技編②	工藤 英一 久保田 佳子
第8回	過去試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	過去試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	過去試験問題 演習・解説③	工藤 英一 久保田 佳子
第11回	過去試験問題 演習・解説④	工藤 英一 久保田 佳子
第12回	過去試験問題 演習・解説⑤	工藤 英一 久保田 佳子
第13回	過去試験問題 演習・解説⑥	工藤 英一 久保田 佳子
第14回	模擬試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第15回	模擬試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子

準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	<p>【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級学科模擬試験（学校法人 大原学園） 3級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級実技模擬試験（学校法人 大原学園） 3級FP技能検定 実技模擬試験 解答・解説（学校法人 大原学園）</p> <p>【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級 学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランナー2級 学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級学科模擬試験（学校法人 大原学園） 2級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級実技模擬試験（学校法人 大原学園） 2級FP技能検定 実技模擬試験 解答・解説（学校法人 大原学園）</p>	

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。
----	--

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	経営学		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	180時間	
			単位数	8単位	
科目教員	鈴木 秀俊、熊谷 茜美、山下 健二		授業回数	30回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 30 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	経営学の基本的な論点と専門用語を習得し、現実の経営現象を考察する能力を身に付けることを目的とし、一般社団法人日本経営協会主催経営学検定初級取得を到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	企業と経営	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第16回	マネジメントの階層とプロセス	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第2回	企業・会社の概念と諸形態	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第17回	経営計画	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第3回	所有・経営・支配と経営目的	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第18回	コントロール	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第4回	会社期間とコーポレート・ガバナンス①	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第19回	M & Aと買収防衛策	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第5回	会社期間とコーポレート・ガバナンス②	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第20回	経営のグローバル化	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二

第6回	日本型企业システム	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第21回	企業経営と情報化	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第7回	経営戦略の体系と理論	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第22回	企業の社会的責任（CSR）と 企業倫理	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第8回	全社戦略	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第23回	環境経営	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第9回	事業戦略	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第24回	企業システム 問題実施、解 説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第10回	機能別戦略	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第25回	経営戦略 問題実施、解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第11回	組織に関する基礎理論	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第26回	経営組織 問題実施解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第12回	経営組織の基本形態	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第27回	経営管理 問題実施、解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第13回	企業組織の諸形態	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第28回	経営課題 問題実施、解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第14回	組織の制度・管理・文化	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第29回	過去問題集 実施、解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
第15回	経営管理の基礎理論	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二	第30回	過去問題集 実施、解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美 山下 健二
準備学習等	学習した論理と具体的事例を自らの頭の中で結び付けて考えることで、学習効果は増大 すると考えられる。問題意識を持ち、具体的経営事象を用いて考えること。 予習は必要としないが、広く経営事象に興味を持つことが求められる。				
教科書 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学検定試験公式テキスト①経営学の基本（中央経済社） ・経営学検定試験初級 2024年度版練習問題&解答・解説 （一般社団法人 日本経営協会） 				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。経営学は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	経理実務		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	120時間	
			単位数	6単位	
科目教員	熊谷 茜美、工藤 英一		授業回数	30回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	受験簿記が実務に直結することを他の科目教員とともに授業を通して理解させる。 また、実務経験で身につけた会計処理の知識及び経営コンサルティングに必要な経営管理や経営分析を行うための工業簿記、原価計算に関する授業を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社にて、経理担当者として日々の会計処理・決算整理等の業務に従事しており、税理士事務所と共同して財務諸表の作成等を行っていた。また、他の一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。				
授業目的 到達目標	経理知識や技能の証明となり就職活動にも有利になる資格「経理実務士」の取得を目指し、認定要件である資格のうち、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）の合格を目指す。計算実務では経理職に欠かせない知識である帳票計算と商業計算について学習する。全経簿記では中小企業の実務における各取引の会計処理について学習する。 本講義終了後の科目「経理実務演習」に積極的に取り組めるようにすること。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】＜帳票計算＞ 試算表、商品有高帳 （先入先出法、移動平均法）	熊谷 茜美 工藤 英一	第16回	【全経簿記】 5伝票制、特殊仕訳帳制	熊谷 茜美 工藤 英一

第2回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算 手形割引計算（割引料を求める場合、手取金を求める場合、手形金額を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第17回	【全経簿記】 材料費会計 労務費会計	熊谷 茜美 工藤 英一
第3回	【計算実務】 ＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説 （試算表、商品有高帳、貨幣計算、手形割引計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第18回	【全経簿記】 為替手形、荷為替手形、 商品券（自社） 有価証券売買	熊谷 茜美 工藤 英一
第4回	【計算実務】＜商業計算＞ 通法の計算 ～グロス・ダース・個～ （代価を求める場合、数量を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第19回	【全経簿記】 経費会計 製造間接費会計	熊谷 茜美 工藤 英一
第5回	【計算実務】＜商業計算＞ 仲立人の手数料計算 （手数料を求める場合、買主の支払総額・売主の手取金を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第20回	【全経簿記】 特殊商品売買 履行義務の充足	熊谷 茜美 工藤 英一
第6回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説 （通法の計算、仲立人の手数料計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第21回	【全経簿記】 部門別計算 個別原価計算 単純総合原価計算	熊谷 茜美 工藤 英一

第7回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引率を求める場合、割引日数を求める場合、割引日を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第22回	【全経簿記】 圧縮記帳 投資不動産	熊谷 茜美 工藤 英一
第8回	【計算実務】＜商業計算＞ 商品売買の計算（定価を求める場合、利益率を求める場合、原価を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第23回	【全経簿記】 工程別総合原価計算 組別総合原価計算 等級別総合原価計算	熊谷 茜美 工藤 英一
第9回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説 （貨幣計算、手形割引計算、商品売買の計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第24回	【全経簿記】 資産除去債務 固定資産の減損	熊谷 茜美 工藤 英一
第10回	【計算実務】＜商業計算＞ 委託販売・委託買付の手数料計算（売上高を求める場合、送金額を求める場合、請求額を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第25回	【全経簿記】 標準原価計算 CVP分析	熊谷 茜美 工藤 英一
第11回	【計算実務】＜商業計算＞ 金銭の貸し付け（貸付利率を求める場合、元利合計を求める場合、貸付期間を求める場合）	熊谷 茜美 工藤 英一	第26回	【全経簿記】 負ののれん発生益 社債	熊谷 茜美 工藤 英一

第12回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説 (委託販売・委託買付の手数 料計算、金銭の貸し付け)	熊谷 茜美 工藤 英一	第27回	【全経簿記】 直接原価計算 全部原価計算 固定費調整	熊谷 茜美 工藤 英一
第13回	【計算実務】＜商業計算＞ 純量代価(総量、風袋、減量 の用語の確認、定価の求め 方)	熊谷 茜美 工藤 英一	第28回	【全経簿記】 理論問題対策	熊谷 茜美 工藤 英一
第14回	【計算実務】＜商業計算＞ 有利・不利の判定(値引きと 増量) 通法の計算(文章問題)	熊谷 茜美 工藤 英一	第29回	【全経簿記】 工場会計の独立	熊谷 茜美 工藤 英一
第15回	【計算実務】 ＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説 (純量代価の計算、有利・不 利の判定、通法の計算) 伝票計算(検定試験問題の解 き方)	熊谷 茜美 工藤 英一	第30回	【全経簿記】 財務諸表分析	熊谷 茜美 工藤 英一
準備学習等	計算実務・全経簿記ともに短期間の学習になるため、日々の授業の復習が大切。理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。なお、予習は不要。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【計算実務】 計算実務1・2級 公式テキスト (共栄出版株式会社) 令和6年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集1級 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和6年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集2級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト1級 商業簿記・会計学 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集1級 商業簿記・会計学 (ネットスクール出版) ALFA 2級工業簿記 テキスト (大原出版) ALFA 2級工業簿記 問題集 (大原出版) ALFA 2級工業簿記 解答集 (大原出版) 令和6年度 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・会計学 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和6年度 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 工業簿記・原価計算 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>経理実務は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	経理実務演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、工藤 英一	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
授業態度	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美		: %
			: %

実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	受験簿記が実務に直結することを他の科目教員とともに授業を通して理解させる。 また、実務経験で身につけた会計処理の知識及び経営コンサルティングに必要な経営管理や経営分析を行うための工業簿記、原価計算に関する授業を行う。
-----------------------------	---

実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社にて、経理担当者として日々の会計処理・決算整理等の業務に従事しており、税理士事務所と共同して財務諸表の作成等を行っていた。また、他の一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。
-------------------	---

授業目的 到達目標	「経理実務」で学習した基礎的な知識を基に、問題演習を通して本試験に対応できる能力を養うことを目的とする。また、項目別に問題演習を行うことで重要度の高い範囲をもう一度確認し、より知識を深める。なお、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。
--------------	--

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第119回、118回	熊谷 茜美 工藤 英一	第9回	【全経簿記】 第208回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第2回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第117回、116回	熊谷 茜美 工藤 英一	第10回	【全経簿記】 第207回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一

第3回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第115回、114回	熊谷 茜美 工藤 英一	第11回	【全経簿記】 第206回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第4回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第113回、112回 項目別対策（手形割引計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第12回	【全経簿記】 第205回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第5回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第111回、110回 項目別対策（商品売買の計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第13回	【全経簿記】 第204回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第6回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第109回、108回 項目別対策（委託販売・委託 買付の手数料計算、金銭の貸 し付け）	熊谷 茜美 工藤 英一	第14回	【全経簿記】 第203回過去問題 実施・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第7回	【計算実務】問題演習、解説 過去問題 第107回、106回 項目別対策（仲立人の手数料 計算）	熊谷 茜美 工藤 英一	第15回	【全経簿記】 第202回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一
第8回	【全経簿記】 第209回過去問題 演習・解説	熊谷 茜美 工藤 英一			
準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切。間違った問題は全て確認し、わからないことがある場合には科目教員に確認するようにすること。また、問題演習を通して苦手項目が明らかになった場合には、その項目を重点的に復習すること。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【計算実務】 計算実務1・2級 公式テキスト (共栄出版株式会社) 令和6年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集1級 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和6年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集2級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト1級 商業簿記・会計学 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集1級 商業簿記・会計学 (ネットスクール出版) ALFA 2級工業簿記 テキスト (大原出版) ALFA 2級工業簿記 問題集 (大原出版) ALFA 2級工業簿記 解答集 (大原出版) 令和6年度 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・会計学 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和6年度 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 工業簿記・原価計算 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>経理実務演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p>

学科	ビジネス学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ O A 事務学科（2年課程）・O A 事務学科（1年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	宅地建物取引士入門	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木 秀俊	授業回数	10回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			授業態度	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	不動産の取引に関連する代表的な法律(民法、宅地建物取引業法（以下、「宅建業法」という。))の基礎を理解してもらうことを目的とする。民法では、意思表示、代理、売買、時効（取得時効）、対抗要件について学習する。宅建業法では、免許、宅地建物取引士、8種制限、媒介契約について学習する。その上で、本講義終了後の科目「宅地建物取引士Ⅰ」に積極的に取り組めるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【民法】意思表示	鈴木 秀俊
第2回	【民法】代理	鈴木 秀俊
第3回	【民法】売買	鈴木 秀俊
第4回	【民法】時効（取得時効）	鈴木 秀俊
第5回	【民法】対抗要件	鈴木 秀俊
第6回	【宅建業法】免許	鈴木 秀俊
第7回	【宅建業法】宅地建物取引士	鈴木 秀俊
第8回	【宅建業法】8種制限①	鈴木 秀俊

第9回	【宅建業法】8種制限②	鈴木 秀俊
第10回	【宅建業法】媒介契約	鈴木 秀俊
準備学習等	予習の必要はない。法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、復習をしっかりと行い、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	入門講義 権利関係・宅建業法 テキスト（学校法人 大原学園） 入門講義 権利関係・宅建業法 トレーニング問題集（学校法人 大原学園）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 宅地建物取引士入門は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科(1年課程)・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅰ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	宅地や建物の売買・賃貸等を取り扱う不動産業者が不正をしないよう規制する法律（宅地建物取引業法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。不動産取引の種類に応じて必要となる法律が選別できること、宅地建物取引士資格試験に出題される宅地建物取引業法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、宅建業法(免許-1)	竹村 幸生	第9回	宅建業法(報酬、監督・罰則)	竹村 幸生
第2回	宅建業法(免許-2)	竹村 幸生	第10回	宅建業法(住宅瑕疵担保履行法)	竹村 幸生
第3回	宅建業法(営業保証金、宅地建物取引業保証協会)	竹村 幸生	/		
第4回	宅建業法(宅地建物取引士)	竹村 幸生			
第5回	宅建業法(業務を行う場所に関する規制、8種制限-1)	竹村 幸生			
第6回	宅建業法(8種制限-2)	竹村 幸生			

第7回	宅建業法(一般的業務規制、取引態様の明示、媒介契約)	竹村 幸生
第8回	宅建業法(重要事項の説明等、契約書面の交付)	竹村 幸生
準備学習等	<p>学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。</p>	
教科書 参考書等	<p>基礎講義 宅建業法テキスト (学校法人 大原学園) 宅建業法トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ OA事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	宅地建物取引士Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	売買契約や賃貸借契約等に関する法律、契約から発生する権利・義務に関する法律（民法、借地借家法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。特に不動産取引においては不利益を被る可能性の高い買主や借主の立場となり、その権利を守るための考え方ができるようになること、宅地建物取引士資格試験に出題される権利関係の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	権利関係(制限行為能力者、意思表示)	竹村 幸生	第9回	権利関係(借地借家法)	竹村 幸生
第2回	権利関係(代理、時効)	竹村 幸生	第10回	権利関係(区分所有法、不動産登記法)	竹村 幸生
第3回	権利関係(対抗要件、共有)	竹村 幸生	/		
第4回	権利関係(抵当権、債権の発生と消滅)	竹村 幸生			
第5回	権利関係(債務不履行、危険負担、連帯債務と保証債務)	竹村 幸生			
第6回	権利関係(売買、請負)	竹村 幸生			

第7回	権利関係(賃貸借、使用貸借、委任、不法行為)	竹村 幸生
第8回	権利関係(相続)	竹村 幸生
準備学習等	<p>学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。</p>	
教科書 参考書等	<p>基礎講義 権利関係テキスト (学校法人 大原学園) 権利関係トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅲ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	土地の利用方法や土地の区域により建築できる建物の種類に関する法律（都市計画法、建築基準法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。実際に不動産取引の買主または借主の立場となった際に不利益を被ることのないよう法律の内容を理解すること、宅地建物取引士資格試験に出題される法令上の制限の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	法令上の制限(都市計画法-1)	竹村 幸生	第9回	法令上の制限(不動産鑑定評価、地価公示法)	竹村 幸生
第2回	法令上の制限(都市計画法-2)	竹村 幸生	第10回	法令上の制限(景品表示法、住宅金融支援機構法)	竹村 幸生
第3回	法令上の制限(建築基準法-1)	竹村 幸生	/		
第4回	法令上の制限(建築基準法-2)	竹村 幸生			
第5回	法令上の制限(国土利用計画法、宅地造成等規制法)	竹村 幸生			
第6回	法令上の制限(農地法、土地区画整理法)	竹村 幸生			

第7回	法令上の制限(所得税、登録免許税、印紙税)	竹村 幸生
第8回	法令上の制限(不動産取得税、固定資産税)	竹村 幸生
準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。	
教科書 参考書等	基礎講義 法令上の制限テキスト (学校法人 大原学園) 法令上の制限トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅳ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間	
			単位数	1単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	5回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				授業態度	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	宅地建物取引士Ⅰ～Ⅲのまとめとして宅地建物取引業法、権利関係、法令上の制限の各種法律の相関関係を把握し、体系的な理解と知識の定着を図ることを目的とする。過去に宅地建物取引士資格試験に出題された問題を解答することができ、宅地建物取引士資格試験に合格できる知識を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	総まとめ問題①（宅地建物取引業法）			竹村 幸生	
第2回	総まとめ問題②（権利関係）			竹村 幸生	
第3回	総まとめ問題③（法令上の制限）			竹村 幸生	
第4回	全国統一公開模擬試験（演習と解説）			竹村 幸生	
第5回	直前模擬試験（演習と解説）			竹村 幸生	
準備学習等	宅建物取引士Ⅰ～Ⅲで履修した内容を網羅的に確認しますので、事前に各種法律の内容をテキストで復習したうえで講義に臨んでください。				

教科書 参考書等	基礎講義 宅建業法テキスト（学校法人 大原学園） 基礎講義 権利関係テキスト（学校法人 大原学園） 基礎講義 法令上の制限テキスト（学校法人 大原学園）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 宅地建物取引士Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	賃貸不動産経営管理士		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	菊地 裕俊		授業回数	20回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	賃貸不動産経営管理士とは、主に賃貸アパートやマンションなど賃貸住宅の管理に関する知識・技能・倫理観を持った専門家である。賃貸不動産の管理業務にかかわる幅広い分野を学習するとともに、日常生活に大きく関わる住まいの知識を得ることを目的とし、賃貸不動産経営管理士試験に合格することを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 賃貸管理総論	菊地 裕俊	第11回	過去問題実施及び解説① (賃貸管理総論)	菊地 裕俊
第2回	賃貸住宅管理業者登録制度	菊地 裕俊	第12回	過去問題実施及び解説② (賃貸住宅管理業者登録制度)	菊地 裕俊
第3回	賃貸不動産経営管理士の役割	菊地 裕俊	第13回	過去問題実施及び解説③ (賃貸不動産経営管理士の役割)	菊地 裕俊
第4回	管理業務の受託方式	菊地 裕俊	第14回	過去問題実施及び解説④ (管理業務の受託)	菊地 裕俊
第5回	借主の募集 (管理業者の役割)	菊地 裕俊	第15回	過去問題実施及び解説⑤ (賃貸借契約①)	菊地 裕俊

第6回	賃貸借契約①	菊地 裕俊	第16回	過去問題実施及び解説⑥ (賃貸借契約②)	菊地 裕俊
第7回	賃貸借契約②	菊地 裕俊	第17回	過去問題実施及び解説⑦ (建物管理の実務と賃貸借契約の管理)	菊地 裕俊
第8回	建物管理の実務と賃貸借契約の管理	菊地 裕俊	第18回	過去問題実施及び解説⑧ (建物・設備の知識)	菊地 裕俊
第9回	建物・設備の知識	菊地 裕俊	第19回	過去問題演習及び解説⑨ (賃貸業への支援業務)	菊地 裕俊
第10回	賃貸業への支援業務	菊地 裕俊	第20回	賃貸不動産経営管理士総論	菊地 裕俊
準備学習等	予習の必要はない。日々の復習をしっかりと行うこと。				
教科書 参考書等	賃貸不動産管理の知識と実務 賃貸不動産経営管理士公式テキスト (大成出版) みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の教科書 (TAC出版) みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の過去問題集 (TAC出版) TAC直前予想賃貸不動産経営管理士 (TAC出版)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。賃貸不動産経営管理士は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合 同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	文書処理技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地 裕美	授業回数	14回
		成績 評価 方法	実技試験
知識試験	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美		: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft Wordの操作方法		
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生を含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、簡単なビジネス文書を作成できるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地 裕美	第8回	3級問題集模擬問題 解説5・6	菊地 裕美
第2回	キーボードの打ち分け方法 Wordの画面構成 フォルダ管理 タイピング練習	菊地 裕美	第9回	3級問題集模擬問題 解説7	菊地 裕美
第3回	3級問題集練習問題、解説1	菊地 裕美	第10回	3級問題集模擬試験、解説	菊地 裕美
第4回	3級問題集練習問題、解説2	菊地 裕美	第11回	サンプル問題 採点	菊地 裕美

第5回	3級問題集練習問題、解説3	菊地 裕美	第12回	直前模擬問題、解説①	菊地 裕美
第6回	3級問題集模擬問題 解説1・2	菊地 裕美	第13回	直前模擬問題、解説②	菊地 裕美
第7回	3級問題集模擬問題 解説3・4	菊地 裕美	第14回	直前模擬問題、解説③	菊地 裕美
準備学習等	Word文書処理認定試験3級を取得できるようにするため、検定試験と類似の問題を準備し、多くの問題に携わることで授業内容の理解を深める。				
教科書 参考書等	サーティファイ 文書処理技能認定試験 Word3級問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	<p>PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。文書処理技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>ガイダンスは1時間の講義となる。</p>				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	プレゼンテーション技能		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	40時間
			単位数	2単位
科目教員	菊地 裕美		授業回数	14回
			成績 評価 方法	実技試験
知識試験	: 30 %			
授業態度	: 20 %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft PowerPointの操作方法			
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）			
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、会議や講演などでプレゼンテーションを行うときに必要な資料作成ができるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地 裕美	第8回	初級問題集 模擬問題、解説2	菊地 裕美
第2回	プレゼンテーション概論、 フォルダ管理、 タイピング練習	菊地 裕美	第9回	初級問題集 模擬問題、解説3	菊地 裕美
第3回	PPT画面構成、 プレゼンテーションの構成	菊地 裕美	第10回	模擬試験問題、解説 採点の仕方レクチャー	菊地 裕美
第4回	初級問題集 練習問題、解説1	菊地 裕美	第11回	サンプル問題、解説	菊地 裕美
第5回	初級問題集 練習問題、解説2	菊地 裕美	第12回	直前模擬問題、解説①	菊地 裕美
第6回	初級問題集 練習問題、解説3	菊地 裕美	第13回	直前模擬問題、解説②	菊地 裕美

第7回	初級問題集 模擬問題、解説1	菊地 裕美	第14回	直前模擬問題、解説③	菊地 裕美
準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。				
教科書 参考書等	クイックマスター（株式会社ウイネット） プレゼンテーション問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 ガイダンスは1時間の講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。プレゼンテーション技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合 同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	マーケティング基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木 秀俊、熊谷 茜美	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : :
科目教員のうち 実務経験教員	熊谷 茜美		: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	小売業に必要な知識・技能、販売担当者として必要な知識・技術を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。		
授業目的 到達目標	将来、販売士・営業職を希望する学生を対象に、小売店舗を運営するための基本的な仕組み、インターネットを活用したマーケティング戦略を学ぶことを目的とし、サーティファイ主催ネットマーケティング検定に合格できる能力を身につけることを目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス インターネットマーケティングを行うにあたって	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第2回	インターネット技術概論	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第3回	インターネットマーケティングの個別手法	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第4回	インターネットリサーチ	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第5回	プロモーション	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第6回	インターネット広告	鈴木 秀俊 熊谷 茜美

第7回	インターネットを利用した販売	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第8回	効果測定	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第9回	外注管理	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第10回	各種ポリシー	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第11回	関連法規①	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第12回	関連法規②	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第13回	インターネットを利用した販とコンプライアンス、CSR	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第14回	事例問題	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
第15回	過去問題演習・解説	鈴木 秀俊 熊谷 茜美
準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。</p>	
教科書 参考書等	<p>ネットマーケティング検定公式テキスト インターネットマーケティング 基礎編 (株式会社インプレス)</p> <p>ネットマーケティング検定 過去問題集 (株式会社ウィネット)</p> <p>1回で合格！リテールマーケティング〈販売士〉検定3級テキスト&問題集 (成美堂出版)</p> <p>1回で合格！リテールマーケティング〈販売士〉検定3級過去問題集 (成美堂出版)</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。マーケティング基礎は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授 業となる。</p>	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャндаイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品 化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立 開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学 習することを目的とする。授業内容の理解を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通における小売業の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	マーケティング 小売業のマーケティングの基 本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第4回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング 顧客満足経営の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第5回	マーチャндаイジング 商品の基本	山下 健二	第15回	マーケティング 商圈の設定と出店の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第6回	マーチャダイジング マーチャダイジングの基本	山下 健二	第16回	マーケティング 商圈の設定と出店の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャダイジング 商品計画の基本	山下 健二	第17回	販売・経営管理 販売員の役割の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャダイジング 販売計画および仕入計画などの基本	山下 健二	第18回	販売・経営管理 販売員の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第19回	販売・経営管理 販売員の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	販売・経営管理 小売業の計数管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。				
教科書 参考書等	販売士3級ハンドブック（基礎編）（カリアック） 販売士3級演習問題集（カリアック）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング基礎Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち実務経験教員	山下 健二		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンドライジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」を前提に、流通・小売業に必要な知識を深め、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション 総合問題演習	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の類型 商業集積の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第4回	小売業の類型 総合問題演習	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第5回	マーチャンドライジング 価格設定の基本	山下 健二	第15回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第6回	マーチャライジング 在庫管理の基本	山下 健二	第16回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャライジング 販売管理の基本	山下 健二	第17回	マーケティング 総合問題演習	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャライジング 総合問題演習	山下 健二	第18回	販売・経営管理 小売業の計数管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	ストアオペレーション ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第19回	販売・経営管理 店舗管理の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	販売・経営管理 総合問題演習	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。				
教科書 参考書等	販売士3級ハンドブック（基礎編）（キャリアック） 販売士3級演習問題集（キャリアック）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 リテールマーケティング基礎IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業 となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	リテールマーケティング基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち実務経験教員	山下 健二		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」及び「リテールマーケティング基礎Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の種類(問題演習) 流通における小売業の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の種類(問題演習) 組織形態別小売業の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の種類(問題演習) 店舗形態別小売業の基本的役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第4回	小売業の類型(問題演習) 商業集積の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング(問題演習) 小売業のマーケティングの 基本、顧客満足経営の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第5回	マーチャンダイジング(問題演習) 商品の基本	山下 健二	第15回	マーケティング(問題演習) 商圈の設定と出店の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第6回	マーチャンダイジング(問題演習) マーチャンダイジングの 基本、商品計画の基本	山下 健二	第16回	マーケティング(問題演習) リージョナルプロモーション(売 場起点の狭域型購買促進)の基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売計画および仕入計画などの基 本	山下 健二	第17回	マーケティング(問題演習) 顧客志向型売場づくりの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャンダイジング(問題演習) 価格設定の基本	山下 健二	第18回	直前模擬試験問題演習・解説	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売管理の基本	山下 健二	第19回	直前模擬試験問題演習・解説	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション(問題演習) ストアオペレーションの基本	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	直前模擬試験問題演習・解説	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。				
教科書 参考書等	販売士3級ハンドブック(基礎編) (カリアック) 販売士3級演習問題集 (カリアック)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 リテールマーケティング基礎演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授 業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅰ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二		授業回数	20回
			成績評価方法	筆記試験 : 70 %
				授業態度 : 30 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二			: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。			
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。			
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客知識も学習する。授業内容の理解を到達目標とする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通と小売業の役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と 管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の類型 流通と小売業の役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と 管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	マーケティング リテールマーケティング戦略 の考え方	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第4回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング リテールマーケティング戦略 の考え方	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第5回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの戦略 的展開	山下 健二	第15回	マーケティング 顧客戦略の展開方法	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第6回	マーチャダイジング 商品計画の戦略的立案	山下 健二	第16回	マーケティング リージョナルプロモーション の企画と実践	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャダイジング 販売計画の戦略的展開	山下 健二	第17回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャダイジング 仕入計画の策定と仕入活動の 戦略的展開	山下 健二	第18回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	ストアオペレーション 戦略的ストアオペレーション の展開視点	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第19回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と 管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。				
教科書 参考書等	販売士2級ハンドブック（カリアック） 販売士2級演習問題集（カリアック）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する 場合がある。 リテールマーケティング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業 となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	リテールマーケティング応用II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち実務経験教員	山下 健二		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用I」を前提に、流通・小売業における専門知識を深めることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション LSPの役割と仕組み	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積 の方向性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	マーケティング リージョナルプロモーション の企画と実践	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第4回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積 の方向性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング 商圈分析ならびに出店戦略の 立案	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第5回	マーチャダイジング 販売政策の戦略的展開	山下 健二	第15回	マーケティング 商圈分析ならびに出店戦略の 立案	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第6回	マーチャダイジング 販売政策の戦略的展開	山下 健二	第16回	マーケティング 店舗（業態）開発の手順と実 践	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャダイジング 商品管理政策の戦略的展開	山下 健二	第17回	販売・経営管理 販売事務管理に求められる経 営分析	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャダイジング 物流政策の戦略的展開	山下 健二	第18回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管 理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方 法	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第19回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管 理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方 法	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	販売・経営管理 店舗施設などの維持管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。				
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験2級対応 （カリアック）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 リテールマーケティング応用IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業 となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	リテールマーケティング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	熊谷 茜美、鈴木 秀俊、山下 健二	授業回数	20回
		成績評価	筆記試験 : 70 %
			授業態度 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二	方法	: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品 化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立 開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」及び「リテールマーケティング応用Ⅱ」を前提 とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とす る。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級に合格でき る能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型（問題演習） 流通と小売業の役割	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第11回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法、 LSPの役割と仕組み	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第2回	小売業の類型（問題演習） 組織別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第12回	ストアオペレーション（問題演習） 人的販売の実践と管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第3回	小売業の類型（問題演習） 店舗形態別小売業の運営特性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第13回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の考 え方	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

第4回	小売業の類型（問題演習） 中小小売業の課題と商業集積の方向性	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第14回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の実施方法、顧客戦略の展開方法	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第5回	マーチャンダイジング（問題演習） マーチャンダイジングの戦略的展開、商品計画の戦略的立案	山下 健二	第15回	マーケティング（問題演習） リージョナルプロモーションの企画と実践、商圈分析ならびに出店戦略の立案	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第6回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売計画の戦略的展開、仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下 健二	第16回	マーケティング（問題演習） 店舗（業態）開発の手順と実践	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第7回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売政策の戦略的展開	山下 健二	第17回	販売・経営管理（問題演習） 販売管理者の法令知識	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第8回	マーチャンダイジング（問題演習） 商品管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開	山下 健二	第18回	販売・経営管理（問題演習） 販売事務管理に求められる経営分析	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第9回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ストアオペレーションの展開視点、店舗運営サイクルの実践と管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第19回	販売・経営管理（問題演習） 小売業の組織体制と従業員管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊
第10回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法	熊谷 茜美 鈴木 秀俊	第20回	販売・経営管理（問題演習） 店舗施設などの維持管理	熊谷 茜美 鈴木 秀俊

準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック（応用編）リテールマーケティング（販売士）検定試験2級対応（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 総合公務員学科（1年課程）・法律公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	税務会計	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数		120時間	
		単位数		4単位	
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊	授業回数		30回	
		成績 評価 方法	筆記試験	:	70
授業態度	:		30	%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	消費税・法人税の基本的な税務処理及び源泉徴収や確定申告の書類作成ができることを目的とする。また、消費税・法人税の計算及び理論体系を学ぶことで全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験2級及び、全国経理教育協会主催法人税法能力検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【消費税】 消費税の概要 課税の対象、非課税	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第16回	【法人税】 法人税の概要 所得の金額の計算方法	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第2回	【消費税】 輸出免税等	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第17回	【法人税】 租税公課の概要 減価償却（概要、減価償却資 産の範囲・償却方法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊

第3回	【消費税】 納税義務者、納税地 納税期間	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第18回	【法人税】 繰延資産、貸倒引当金 (概要、繰り入れ限度額の 計算式、個別評価金銭債権、 一括評価金銭債権)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第4回	【消費税】 課税標準及び税率	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第19回	【法人税】 貸倒引当金 (申告調整額の計 算および処理、問題集解説) 同族会社	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第5回	【消費税】 仕入税額控除	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第20回	【法人税】 役員に対する給与等 税額の計算 (別表四および別 表一のまとめ)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第6回	【消費税】 課税標準額に対する 消費税額の調整	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第21回	【法人税】 寄附金 交際費等	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第7回	【消費税】 申告、納付、還付	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第22回	【法人税】 資産の評価 申告手続	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第8回	【消費税】 模擬問題演習・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第23回	【法人税】 模擬問題演習・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第9回	【消費税】 過去試験問題第111回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第24回	【法人税】 過去試験問題第111回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第10回	【消費税】 過去試験問題第110回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第25回	【法人税】 過去試験問題第110回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊

第11回	【消費税】 過去試験問題第109回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第26回	【法人税】 過去試験問題第109回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第12回	【消費税】 過去試験問題第108回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第27回	【法人税】 過去試験問題第108回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第13回	【消費税】 過去試験問題第107回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第28回	【法人税】 過去試験問題第107回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第14回	【消費税】 過去試験問題第105回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第29回	【法人税】 過去試験問題第105回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
第15回	【消費税】 過去試験問題第104回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊	第30回	【法人税】 過去試験問題第104回 実施・解説	鈴木 秀俊 菊地 裕俊
準備学習等	税務書類は全ての計算ができて完成する。日々の授業の復習を怠らないようにすること。また、各回の内容の理解が不十分な場合には、科目教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。				
教科書 参考書等	<p>【消費税】 全経能力検定試験準拠 消費税法 2級テキスト (有限会社 協進社) 全経能力検定試験準拠 消費税法 2級問題集 (有限会社 協進社) 令和6年度版 消費税法能力検定試験過去問題集 2級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【法人税】 全経能力検定試験準拠 法人税法3級 テキスト (有限会社 協進社) 全経能力検定試験準拠 法人税法3級 問題集 (有限会社 協進社) 令和6年度版 法人税法能力検定試験 過去問題集 3級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>				

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。税務会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業とな る。
----	---

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	秘書基礎Ⅰ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	千葉 菜愛		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
ミニテスト	: 30 %				
授業態度	: 20 %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	秘書実務、一般知識の内容を理解し、組織人としてマナー・技能の基本を習得していきます。言葉遣いなどを正しく使うことができるようになり、実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス：検定試験の概要 一般知識：カタカナ語 マナー接遇：尊敬語・謙譲語	千葉 菜愛	第6回	一般知識：経営に関する知識 技 能：文書の重要漢字 文書作成の知識、 社内文書	千葉 菜愛
第2回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：上司に対する 言葉遣い	千葉 菜愛	第7回	一般知識：経営に関する知識 技 能：文書作成の知識、 社外文書宛名の 書き方	千葉 菜愛

第3回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：席次のルール 弔事のマナー	千葉 菜愛	第8回	一般知識：法律に関する知識 技 能：慶事の種類の 時候の言葉	千葉 菜愛
第4回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：贈り物のマナー 贈答品の上書き 贈答品のマナー	千葉 菜愛	第9回	一般知識：法律に関する知識 技 能：秘文書の扱い方 ファイリングの 方法	千葉 菜愛
第5回	一般知識：経営に関する知識 技 能：郵便の知識	千葉 菜愛	第10回	中間テスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉 菜愛
準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。				
教科書 参考書等	出る順問題集 秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅰは上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名	秘書基礎Ⅱ		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		60時間	
			単位数		2単位	
科目教員	千葉 菜愛		授業回数		10回	
			成績 評価 方法	筆記試験		: 50 %
ミニテスト		: 30 %				
授業態度		: 20 %				
		: %				
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	科目「秘書基礎Ⅰ」に引き続き、マナー・技能を習得します。組織人として必要な基本的な処理ができるようになります。実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	一般知識：税務に関する知識 技 能：会議の準備、会議の知識	千葉 菜愛	第6回	一般知識：小切手と手形の知識 技 能：グラフの書き方（帯・棒・複合グラフ）	千葉 菜愛	
第2回	一般知識：会社に関する知識 技 能：会議用語、会議と会議の形式	千葉 菜愛	第7回	一般知識：小切手と手形の知識 技 能：電報の知識	千葉 菜愛	

第3回	一般知識：会社の関する知識 技 能：上司のスケジュール管理	千葉 菜愛	第8回	一般知識：労務に関する知識 技 能：新聞出版に関する用語、知識	千葉 菜愛
第4回	一般知識：財務に関する知識 技 能：名刺の整理 職場のレイアウト	千葉 菜愛	第9回	一般知識：その他の知識 技 能：自分側・相手側の言い方 物の数え方	千葉 菜愛
第5回	一般知識：財務に関する知識 技 能：グラフの書き方 (折れ線・円グラフ)	千葉 菜愛	第10回	総復習 まとめテスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉 菜愛
準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。 特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。				
教科書 参考書等	出る順問題集 秘書検定準1級に面白いほど受かる本 (株式会社KADOKAWA) 秘書検定準1級集中講義 (早稲田教育出版)				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	ビジネス会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地 裕俊	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	基本財務諸表としての貸借対照表、損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書に記載されている項目と計算構造について学びます。さらに、企業が成長しているか、債務等の支払い能力など、財務諸表分析を学習する。会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ディスクロージャー①	菊地 裕俊	第11回	財務諸表の作成原理①	菊地 裕俊
第2回	ディスクロージャー②	菊地 裕俊	第12回	財務諸表の作成原理②	菊地 裕俊
第3回	ディスクロージャー③	菊地 裕俊	第13回	財務諸表分析①	菊地 裕俊
第4回	財務諸表と計算書類①	菊地 裕俊	第14回	財務諸表分析②	菊地 裕俊
第5回	財務諸表と計算書類②	菊地 裕俊	第15回	財務諸表分析③	菊地 裕俊
第6回	財務諸表と計算書類③	菊地 裕俊	第16回	企業価値分析①	菊地 裕俊
第7回	財務諸表項目の要点①	菊地 裕俊	第17回	企業価値分析②	菊地 裕俊

第8回	財務諸表項目の要点②	菊地 裕俊	第18回	企業価値分析③	菊地 裕俊
第9回	財務諸表項目の要点③	菊地 裕俊	第19回	総合問題演習①	菊地 裕俊
第10回	財務諸表項目の要点④	菊地 裕俊	第20回	総合問題演習②	菊地 裕俊
準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。				
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト2級 (中央経済社)				
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>ビジネス会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（1年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（1年課程）
学年	1学年

科目名	ビジネス会計Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	菊地 裕俊		授業回数	20回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
授業態度	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「ビジネス会計Ⅰ」を前提に、会計情報に関する総合的な知識として、投資関連の各種ディスクロージャーや財務諸表と計算書類の総合的な理解を深める。また、概念フレームワーク、会計基準、内部統制やマネジメントにおける事業評価などにも活用できる企業価値分析の基本的な考え方や分析方法についても学習する。企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解し、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し企業評価できる力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	企業会計	菊地 裕俊	第11回	株主資本等変動計算書	菊地 裕俊
第2回	財務諸表①	菊地 裕俊	第12回	連結キャッシュ・フロー 計算書①	菊地 裕俊
第3回	財務諸表②	菊地 裕俊	第13回	連結キャッシュ・フロー 計算書②	菊地 裕俊
第4回	貸借対照表①	菊地 裕俊	第14回	連結キャッシュ・フロー 計算書③	菊地 裕俊
第5回	貸借対照表②	菊地 裕俊	第15回	附属明細表と注記	菊地 裕俊
第6回	損益計算書①	菊地 裕俊	第16回	財務諸表分析①	菊地 裕俊

第7回	損益計算書②	菊地 裕俊	第17回	財務諸表分析②	菊地 裕俊
第8回	損益計算書③	菊地 裕俊	第18回	財務諸表分析③	菊地 裕俊
第9回	損益計算書④	菊地 裕俊	第19回	総合問題演習①	菊地 裕俊
第10回	連結包括利益計算書	菊地 裕俊	第20回	総合問題演習②	菊地 裕俊
準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。				
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト1級 (中央経済社)				
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>ビジネス会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p>				

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習		
		選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間		
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	10回		
		成績評価方法	課題提出 : 70 %		
平常点 : 30 %					
: %					
: %					
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	プログラミング言語の言語仕様を理解し、簡単なプログラムを作成することができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング言語の概要	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第6回	オブジェクト指向③ アクセス制御・変数のスコープ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	プログラミング言語の仕様① データ型・配列	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第7回	プログラミング演習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	プログラミング言語の仕様② 制御構造	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第8回	プログラミング演習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	オブジェクト指向① クラス・オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	プログラミング演習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	オブジェクト指向② オーバーロード・オーバーライド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	プログラミング演習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
準備学習等					
教科書 参考書等	補助プリント				
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語を使用してアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	入出力処理 コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	ライブラリ演習	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	入出力処理④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	例外処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	例外処理演習	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	マルチスレッド演習	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	入出力処理 ストリーム	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	GUI コンポーネント	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	入出力処理演習① ストリーム	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	GUI イベント処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	入出力処理 テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	GUI演習	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	入出力処理演習② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	データベース接続 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	入出力処理 キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	データベース接続演習 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	入出力処理③ キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	アプリケーション開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	
教科書 参考書等	補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	10回
		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なCUI（Character User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	例外処理とマルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第6回	CUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	コレクションフレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第7回	CUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	入出力（I/O）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第8回	CUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	CUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	CUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発応用Ⅰ	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績 評価 方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	実用的なGUI（Graphical User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	GUIライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	データベースの利用③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	代表的なコンポーネントと レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	ネットワークの利用①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	イベント処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	ネットワークの利用②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	その他のコンポーネントと レイアウト①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	ネットワークの利用③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	その他のコンポーネントと レイアウト②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	GUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	その他のコンポーネントと レイアウト③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	GUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	描画処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	GUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	マウスイベント処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	GUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	データベースの利用①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	GUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	データベースの利用②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	GUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	コンピュータリテラシ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	コンピュータの基本操作	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第6回	表計算基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	文書作成基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第7回	表計算基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	文書作成基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	文書作成基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	表計算基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第6回	オブジェクト 作成・書式	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	数式と計算 計算機能・関数	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第9回	リンク マクロ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	グラフ グラフ作成/変更	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftExcel（FOM出版） Excel表計算処理技能認定試験 問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科 (2年課程) ・ OA事務学科 (2年課程) ・ ビジネス学科 (2年課程) ・ 情報システム学科 (3年課程) ・ 情報システム学科 (2年課程)
学年	1学年

科目名	コンピュータリテラシ (文書処理)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第10回	セキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftWord (FOM出版) Word文書処理技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科 (2年課程) ・ OA事務学科 (2年課程) ・ ビジネス学科 (2年課程) ・ 情報システム学科 (3年課程) ・ 情報システム学科 (2年課程)
学年	1学年

科目名	コンピュータリテラシ (プレゼンテーション)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第10回	校閲	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftPowerPoint (FOM出版) PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科 (2年課程) ・ OA事務学科 (2年課程) ・ ビジネス学科 (2年課程) ・ 情報システム学科 (3年課程) ・ 情報システム学科 (2年課程)
学年	1学年

科目名	コンピュータリテラシ (データベース)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftAccess (FOM出版) Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	システム開発基礎 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるフロントエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	フロントエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	JavaScript①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	HTML①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	JavaScript②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	HTML②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	JavaScript③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	HTML③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	jQuery①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	CSS①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	jQuery②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	CSS②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	jQuery③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	CSS③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	Webページ制作実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	CSSフレームワーク①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	Webページ制作実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	CSSフレームワーク②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	Webページ制作実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	CSSフレームワーク③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	Webページ制作実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	システム開発応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるバックエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	バックエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	データベース①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	HTMLとCSSの復習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	データベース②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	HTMLとCSSの復習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	データベース③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	php①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	php②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	Webシステム開発実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	php③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	Webシステム開発実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	php④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	Webシステム開発実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	php⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	Webシステム開発実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	php⑥	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	Webシステム開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	php⑦	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	Webシステム開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理テクノロジー基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	ハードウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	データベース	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	ネットワーク	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	セキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理マネジメント基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	サービスサポート	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	システム監査	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	内部統制	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理ストラテジ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	システム戦略①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	システム戦略②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	法務②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	システム企画	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	総合問題演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	総合問題演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理テクノロジー応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	ハードウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	データベース	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	ネットワーク	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	セキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 応用情報技術者 合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理マネジメント応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	サービスサポート	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	システム監査	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	内部統制	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 応用情報技術者 合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	システム戦略①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	システム戦略②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	法務②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	システム企画	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 応用情報技術者 合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回	
		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	総合問題演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	総合問題演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 応用情報技術者 合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	アルゴリズム基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造に関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムの表現方法 フローチャート・疑似言語	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	データ構造⑤ その他のデータ構造	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	データ構造① 基本データ型	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	アルゴリズム① サーチアルゴリズム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	データ構造② 配列	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	アルゴリズム② ソートアルゴリズム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	データ構造③ リスト構造	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	アルゴリズム③ 文字列処理	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	データ構造④ 木構造	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	アルゴリズム④ 代表的なアルゴリズム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	アルゴリズム応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造についての知識を有し、フローのトレースを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムとデータ構造① 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	アルゴリズムとデータ構造⑥ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	アルゴリズムとデータ構造② 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	アルゴリズムとデータ構造⑦ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	アルゴリズムとデータ構造③ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	アルゴリズムとデータ構造⑧ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	アルゴリズムとデータ構造④ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとデータ構造⑨ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	アルゴリズムとデータ構造⑤ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとデータ構造⑩ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報セキュリティ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ① 情報セキュリティの概念	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	情報セキュリティ技術評価 セキュリティ評価基準	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	情報セキュリティ② 脅威・脆弱性	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	情報セキュリティ対策① 人的セキュリティ対策	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	情報セキュリティ③ 攻撃手法・認証	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	情報セキュリティ対策② 技術的セキュリティ対策	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① セキュリティポリシ・ISMS	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	セキュリティ実装技術① ネットワークセキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	情報セキュリティ管理② リスクアセスメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	セキュリティ実装技術② アプリケーションセキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報セキュリティ応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識・技能を有し、実践的なセキュリティ管理ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ全般① 機密性・完全性・可用性	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	情報セキュリティ対策① マルウェア対策	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	情報セキュリティ全般② 脅威・脆弱性・サイバー攻撃	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	情報セキュリティ対策② 不正アクセス対策	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	情報セキュリティ全般③ 暗号技術・認証技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	情報セキュリティ対策③ 情報漏えい対策	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① 情報資産・リスク	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	情報セキュリティ対策④ アクセス管理	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	情報セキュリティ管理② ISMS・インシデント管理	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	情報セキュリティ関連法規	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	ネットワーク基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ネットワーク方式① ネットワークの種類と特徴	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	通信プロトコル② プロトコル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	ネットワーク方式② インターネット技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	通信プロトコル③ プロトコル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	データ通信と制御① ネットワークアーキテクチャ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	通信プロトコル④ プロトコル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	データ通信と制御② LAN間接続装置・伝送制御	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	通信プロトコル⑤ セキュアプロトコル	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	通信プロトコル① プロトコルとインタフェース	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	ネットワーク管理 構成管理・管理ツール	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	ネットワーク応用	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回	
		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する応用的知識・技能を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	インターネット① 電子メール	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	通信サービス① FTTH	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	インターネット② Web	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	通信サービス② IP電話	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	インターネット③ ファイル転送	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	モバイルシステム① モバイル通信サービス	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	VPN①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	モバイルシステム② 構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	VPN②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	モバイルシステム③ LPWA	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	システムアーキテクチャⅠ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	システムの処理形態・利用形態・適用領域を習得し応用できる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	集中処理システム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第6回	Webシステム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	分散処理システム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第7回	ストレージ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	システム構成	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第8回	信頼性設計	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	ハイパフォーマンスコンピューティング	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第9回	システムの評価指標① システムの性能特性と評価	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	クライアントサーバシステム	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第10回	システムの評価指標② システムの信頼性特性と評価	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理入門テクノロジー	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 熊谷茜美	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			: % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なテクノロジー分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第6回	ハードウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第8回	データベース	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第4回	システム構成要素	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第9回	ネットワーク	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第10回	セキュリティ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理入門マネジメント	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 熊谷茜美	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なマネジメント分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第7回	サービスサポート	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第3回	開発プロセス	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第4回	開発手法	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第9回	システム監査	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第10回	内部統制	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理入門ストラテジ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 熊谷茜美	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なストラテジ分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第2回	企業活動②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第3回	OR・IE	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第8回	システム戦略①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第4回	法務①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第9回	システム戦略②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第5回	法務②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第10回	システム企画	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理入門演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 熊谷茜美	授業回数	10回
		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的な問いに対して、正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第6回	総合問題演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第7回	総合問題演習（CBT）①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第8回	総合問題演習（CBT）②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第9回	総合問題演習（CBT）③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美	第10回	総合問題演習（CBT）④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・熊谷茜美

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	消費税法税務会計		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数		90時間	
			単位数		3単位	
科目教員	小関 哲也		授業回数		23回	
			成績 評価 方法	筆記試験		: 40 %
ミニテスト		: 40 %				
授業態度		: 20 %				
		: %				
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせる。 また、過去の全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験の出題内容を実務に照らして 解説することにより、実務に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。					
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の 会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っ ていた。					
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算を基礎から学び、事業者(法人及び個人事業者)の 消費税の計算ができることを目的とする。 また、全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験1級に出題される計算問題を解答で きるレベルを目指す。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 消費税法の概要	小関 哲也	第13回	非課税資産の輸出等を行った 場合の仕入税額の特例	小関 哲也	
第2回	課税の対象	小関 哲也	第14回	調整対象固定資産に係る仕入 税額控除①	小関 哲也	
第3回	非課税項目	小関 哲也	第15回	調整対象固定資産に係る仕入 税額控除②	小関 哲也	
第4回	輸出免税項目	小関 哲也	第16回	特定期間における課税売上高 による納税義務の免除の特例	小関 哲也	
第5回	課税売上割合の計算及び控除 対象仕入税額(個別対応方式・ 一括比例配分方式)	小関 哲也	第17回	棚卸資産に係る仕入税額控除 の調整	小関 哲也	

第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関 哲也	第18回	課税標準	小関 哲也
第7回	貸し倒れが生じた場合	小関 哲也	第19回	簡易課税制度	小関 哲也
第8回	課税仕入れの範囲	小関 哲也	第20回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関 哲也	第21回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関 哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関 哲也	第22回	国等に対する特例	小関 哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関 哲也	第23回	総まとめ問題	小関 哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等 課税仕入れ等の時期	小関 哲也			
準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。				
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、全国経理教育協会主催消費税法能力検定				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 消費税法税務会計は、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	簿記論 I		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	120時間	
			単位数	4単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	30回	
			成績評価方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	日商簿記検定2級（商業簿記）程度の簿記知識をすでに習得していることを前提に、中小企業にて行われる各種取引の会計処理について細部まで解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。そして、日々の取引から決算整理に至るまで、主要簿及び補助簿等への記入や締め切り、帳簿を基礎として作成される各種試算表や精算表といった、主に企業内部で使用される帳票類を自ら作成できる能力と、税理士試験簿記論に合格できる基礎能力を身につけることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 簿記の目的、簿記の仕組み	竹村 幸生	第16回	当座預金の期末修正、当座借越	竹村 幸生
第2回	主要簿及び補助簿、決算振替	竹村 幸生	第17回	その他資本剰余金、利益準備金・繰越利益剰余金	竹村 幸生
第3回	精算表、貸借対照表及び損益計算書	竹村 幸生	第18回	自己株式の概要、自社利用目的のソフトウェア	竹村 幸生
第4回	現金の範囲、現金過不足、当座預金（小切手）	竹村 幸生	第19回	税効果会計の概要、将来減算一時差異	竹村 幸生
第5回	債権債務、約束手形	竹村 幸生	第20回	売上原価計上法、分記法、総記法	竹村 幸生

第6回	三分法、商品有高帳、商品評価損等	竹村 幸生	第21回	償却原価法（利息法）、社債の買入償還	竹村 幸生
第7回	固定資産の概要、減価償却、固定資産の売却等	竹村 幸生	第22回	原価率・利益率、仕入・売上の計上基準	竹村 幸生
第8回	資本的支出と収益的支出、無形固定資産	竹村 幸生	第23回	自己株式の処分・消却、満期保有目的の債券	竹村 幸生
第9回	源泉所得税・社会保険料、賞与引当金	竹村 幸生	第24回	その他有価証券、有価証券の減損処理	竹村 幸生
第10回	貸倒損失、貸倒引当金(実績率法、財務内容評価法)	竹村 幸生	第25回	新株予約権、株主資本等変動計算書	竹村 幸生
第11回	損益の見越・繰延、退職給付（簡便法・退職一時金制度）	竹村 幸生	第26回	固定資産の売却等（手数料、消費税、値引）	竹村 幸生
第12回	有価証券の概要、売買目的有価証券、関係会社株式	竹村 幸生	第27回	割引現在価値の算定	竹村 幸生
第13回	法人税等、租税公課、消費税等	竹村 幸生	第28回	減損会計の概要、減損の兆候・認識の判定及び測定	竹村 幸生
第14回	手形の譲渡、社債の概要、償却原価法（定額法）	竹村 幸生	第29回	退職給付（原則法・退職一時金制度と企業年金制度）	竹村 幸生
第15回	純資産の概要、資本金・資本準備金	竹村 幸生	第30回	転換社債型新株予約権付社債（区分法）	竹村 幸生
準備学習等	会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。				
教科書 参考書等	簿記論計算テキスト1(大原学園)、計算問題集1-1、1-2(大原学園) 簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-1、2-2(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集基礎編（大原出版）				
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科(1年課程)・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	財務諸表論 I		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	120時間	
			単位数	4単位	
科目教員	千葉 菜愛		授業回数	30回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	企業の経済活動を表す損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では日々の取引を集計した残高試算表から、財務諸表を作成する能力を身につけ、理論では企業会計原則を理解し記述することができる力を身につけることを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる能力の基礎を身につけることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	計算：ガイダンス 財務諸表論の概要、貸借対照表（株主資本除く）流動固定の分類基準、損益計算書	千葉 菜愛	第16回	計算：割引現在価値、資産除去債務 理論：費用収益対応の原則、一般販売の収益認識	千葉 菜愛

第2回	計算：現金及び預金、債権及び債務	千葉 菜愛	第17回	計算：当座借越 理論：特殊販売の収益認識	千葉 菜愛
第3回	計算：個別注記表（重要な会計方針）、B/S注記、損益の見越・繰延 理論：ガイダンス	千葉 菜愛	第18回	計算：関係会社に対する債権債務 理論：工事契約（基本）、P/L表示原則、B/S表示原則	千葉 菜愛
第4回	計算：銀行勘定調整表 理論：財務諸表論の基礎概念	千葉 菜愛	第19回	計算：ソフトウェア、税金（外形基準、租税公課） 理論：財務諸表論の基礎概念（資本循環と財務諸表、会計観）	千葉 菜愛
第5回	計算：棚卸資産（売上原価の算定） 理論：一般原則（真実性の原則）	千葉 菜愛	第20回	計算：税効果会計 理論：貸借対照表の本質	千葉 菜愛
第6回	計算：有形固定資産、無形固定資産 理論：一般原則（正規の簿記の原則）	千葉 菜愛	第21回	計算：源泉所得税、社会保険料、棚卸資産（返品、値引、割戻） 理論：資産総論（分類、評価）	千葉 菜愛
第7回	計算：引当金（一般債権）、給料等 理論：一般原則（明瞭性の原則）	千葉 菜愛	第22回	計算：株主資本等変動計算書 理論：棚卸資産（数量計算、評価方法）	千葉 菜愛
第8回	計算：引当金（懸念、破産） 理論：一般原則（継続性の原則）	千葉 菜愛	第23回	計算：減損会計 理論：固定資産の定義と分類、取得原価（自家建設）	千葉 菜愛

第9回	計算：退職給付（簡便法） 理論：一般原則（資本利益区別の原則）	千葉 菜愛	第24回	計算：棚卸資産（他勘定振替） 理論：固定資産の取得原価（現物出資、交換）	千葉 菜愛
第10回	計算：法人税等・追徴還付、株主資本 理論：一般原則（単一性の原則）	千葉 菜愛	第25回	計算：償却原価法（利息法） 理論：固定資産（減価償却、評価減）	千葉 菜愛
第11回	計算：その他の引当金 理論：一般原則（保守主義の原則）	千葉 菜愛	第26回	計算：為替予約（独立処理） 理論：固定資産（資本的支出、特殊な有形固定資産の費用化）	千葉 菜愛
第12回	計算：関係会社（議決権による判定） 理論：重要性の原則	千葉 菜愛	第27回	計算：有価証券（その他有価証券） 理論：資本総論（実体資本維持）	千葉 菜愛
第13回	計算：有価証券（基本的評価等） 理論：P/Lの本質と構造、発生主義会計と現金主義会計	千葉 菜愛	第28回	計算：圧縮記帳（直接）、消費税 理論：繰延資産（概念）、繰延資産（会計処理）	千葉 菜愛
第14回	計算：社債 理論：期間損益計算の基本原則及び収支額基準	千葉 菜愛	第29回	計算：外貨建有価証券 理論：負債（引当金）、負債（偶発債務）、財務諸表論の基礎概念（会計観 資産・負債）	千葉 菜愛
第15回	計算：外貨建取引（基本的換算） 理論：実現主義の原則、発生主義の原則	千葉 菜愛	第30回	計算：P/L注記（取締役に対する金銭債権債務）、有価証券（配当を受けた株主の処理） 理論：資産の評価（時価）、資産の評価（現価主義）	千葉 菜愛

準備学習等	財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	財務諸表論計算テキスト1（大原学園）、計算問題集1-1、1-2（大原学園）、理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園）、理論テキスト2（大原学園） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版）、財務諸表論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	消費税法 I		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	120時間	
			単位数	4単位	
科目教員	小関 哲也		授業回数	30回	
			成績評価方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせるとともに、その計算方法が消費税法のどの条文に規定しているかを体系的に学習させる。 また、過去の税理士試験の出題内容を実務に照らし解説することにより、税理士試験に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。				
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算及び消費税法の法解釈を基礎から学び、事業者（法人及び個人事業者）の消費税の計算ができることを目的とする。 また、消費税法の計算と理論を体系的に学習することにより、税理士試験消費税法に出題される計算問題を解答できるレベルを目指す。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 消費税法の概要	小関 哲也	第16回	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例	小関 哲也
第2回	課税の対象	小関 哲也	第17回	相続があった場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第3回	非課税項目	小関 哲也	第18回	合併があった場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第4回	輸出免税項目	小関 哲也	第19回	会社分割があった場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第5回	課税売上割合の計算及び控除対象仕入税額(個別対応方式・一括比例配分方式)	小関 哲也	第20回	新設法人の納税義務の免除の特例	小関 哲也

第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関 哲也	第21回	特定新規設立法人の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第7回	貸し倒れが生じた場合	小関 哲也	第22回	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算の特例	小関 哲也
第8回	課税仕入れの範囲	小関 哲也	第23回	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整	小関 哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関 哲也	第24回	課税標準	小関 哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関 哲也	第25回	簡易課税制度①	小関 哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関 哲也	第26回	簡易課税制度②	小関 哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等 課税仕入れ等の時期	小関 哲也	第27回	軽減税率 旧税率に関する経過措置	小関 哲也
第13回	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額の特例	小関 哲也	第28回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第14回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除①	小関 哲也	第29回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関 哲也
第15回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除②	小関 哲也	第30回	国等に対する特例	小関 哲也
準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。				
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 消費税法Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	法人税法Ⅰ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	120時間
			単位数	4単位
科目教員	小関 哲也		授業回数	30回
			成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	実務において、法人税を計算することができる基礎知識を身につけさせるとともに、その計算の根拠となる法人税法のどの条文に規定しているかを体系的に学習させる。また、過去の税理士試験の出題内容を実務に照らし解説することにより、税理士試験法人税法に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。			
授業目的 到達目標	法人税の仕組みを理解し、法人税の計算及び法人税法の法解釈を基礎から学び、法人税の計算ができることを目的とする。 また、法人税法の計算と理論を体系的に学習することにより、公益社団法人全国経理教育協会主催文部科学省後援法人税法能力検定試験2級又は1級の合格レベル、及び税理士試験法人税に出題される基礎計算問題を解答できるレベルを目指す。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 法人税法の概要	小関 哲也	第16回	役員判定・役員給与①	小関 哲也
第2回	交際費等の損金不算入①・減価償却①	小関 哲也	第17回	役員判定・役員給与②・使用人給与	小関 哲也
第3回	減価償却②・受取配当等の益金不算入①	小関 哲也	第18回	交際費等の損金不算入③・特定資産の買換え	小関 哲也
第4回	寄付金の損金不算入①・有価証券①	小関 哲也	第19回	租税公課及び納税充当金②	小関 哲也
第5回	寄付金の損金不算入①・有価証券①	小関 哲也	第20回	地方法人税の計算・みなし配当①	小関 哲也

第6回	減価償却③・有価証券②	小関 哲也	第21回	資本等取引①・租税公課及び納税充当金③・外国税額控除	小関 哲也
第7回	別表4の作成	小関 哲也	第22回	外国子会社から受ける配当等の益金不算入・寄付金の損金不算入③	小関 哲也
第8回	使途秘匿金の課税の特例・貸倒損失	小関 哲也	第23回	保険差益・リース取引	小関 哲也
第9回	貸倒引当金①・欠損金①	小関 哲也	第24回	繰延資産・欠損金②	小関 哲也
第10回	貸倒引当金②・外貨建取引	小関 哲也	第25回	交換差益・受取配当等の益金不算入③	小関 哲也
第11回	収用等①・受取配当金の益金不算入②	小関 哲也	第26回	租税公課及び納税充当金④・確定決算型	小関 哲也
第12回	交際費等の損金不算入②・寄付金の損金不算入②	小関 哲也	第27回	グループ法人税制①	小関 哲也
第13回	租税公課等及び納税充当金②・有価証券③	小関 哲也	第28回	欠損金額・資産の評価損益	小関 哲也
第14回	所得額控除・国庫補助金等・別表5作成・有価証券④	小関 哲也	第29回	グループ法人税制②	小関 哲也
第15回	圧縮記帳の概要・収用等②・接待飲食費	小関 哲也	第30回	修正申告・税効果会計・設立事業年度	小関 哲也

準備学習等	<p>法人税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に法人税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。</p> <p>また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。</p>
教科書 参考書等	<p>法人税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、法人税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、法人税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集（大原出版）・個別計算問題集（大原出版）</p>
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、税法改正等に伴い一部変更する場合がある。また、受講生の理解度や進捗度等に応じて一部メディアを導入した授業となる場合がある。</p> <p>法人税法Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、原則、各学科及び各学年合同授業となる。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・O A 事務学科（2年課程）・ O A 事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年・3 学年・4 学年

科目名	相続税法 I		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	120時間	
			単位数	4単位	
科目教員	小関 哲也		授業回数	30回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	相続税の仕組みを理解し、相続税の計算及び相続税法の法解釈を基礎から学び、相続税の計算ができることを目的とする。 また、相続税法の計算と理論を体系的に学習することにより、税理士試験相続税法に出題される基礎計基問題を解答できるレベルを目指す。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・相続税法の概要	小関 哲也	第16回	預貯金・上場株式の評価	小関 哲也
第2回	相続税と民法・相続人等の判及び相続分・承認と放棄	小関 哲也	第17回	小規模宅地等の減額①	小関 哲也
第3回	相続税の納税義務者・生命保険金等・相続税の非課税・相続税の計算方法	小関 哲也	第18回	構築物・貸付金債権等・受取手形等の評価	小関 哲也
第4回	生命保険等の非課税・退職手当金等の非課税・贈与税の概要・贈与税の計算方法	小関 哲也	第19回	角切り宅地の間口距離	小関 哲也
第5回	弔慰金等・債務控除・相続時精算課税制度の概要	小関 哲也	第20回	間口が狭小な宅地等・使用貸借の宅地等の評価	小関 哲也

第6回	相続税額の加算・相続税の総額・算出相続税額	小関 哲也	第21回	利用区分が異なる建物の宅地・借地権等の評価	小関 哲也
第7回	相続税額の計算・贈与税贈与税控除・配偶者の税額軽減	小関 哲也	第22回	取引相場のない株式の評価①	小関 哲也
第8回	未成年者控除・障害者控除	小関 哲也	第23回	邦貨換算・不整形地の評価・取引相場のない株式の評価②	小関 哲也
第9回	特定納税義務者及び特定納税義務者の債務控除・障害者控除	小関 哲也	第24回	がけ地等の評価	小関 哲也
第10回	評価の原則・自用地①・自家用屋・家屋と構造上一体となっている宅地の評価	小関 哲也	第25回	評価会社が退職手当金等を支払った場合	小関 哲也
第11回	特別養子制度・生命保険契約に関する権利	小関 哲也	第26回	小規模宅地等の減額②	小関 哲也
第12回	被保険者でない保険契約者が死亡した場合・法定相続人・本来の財産	小関 哲也	第27回	同族会社に対して土地を相当の地代により貸付けている場合	小関 哲也
第13回	自用地②・地区区分の異なる宅地・側方路線等に宅地の一部が接している場合	小関 哲也	第28回	旗竿状の宅地等の評価	小関 哲也
第14回	普通借地権・貸宅地・貸家建付地・貸家の評価	小関 哲也	第29回	容積率の異なる宅地・都市計画道路予定地区域内の宅地の評価	小関 哲也
第15回	一般動産・たな卸商品等・書画骨董品の評価	小関 哲也	第30回	建設中の家屋の評価・小規模宅地等の減額③	小関 哲也
準備学習等	相続税法の学習は、積み重ねが大切であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に相続税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。 また、税理士試験受験を希望する生徒は、理論テキスト及び理論問題集を使用し法解釈の復習も行うこと。				
教科書参考書等	相続税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、相続税計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、財産評価テキスト・相続税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、個別計算問題集（大原出版）				
備考	授業計画の前提となる内容等については、法改正等に応じて一部変更する場合がある。 相続税法Ⅰは、メディア授業であることからメディアセンターで受講する。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	簿記論演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	竹村 幸生		授業回数	12回	
			成績評価方法	筆記試験	: 30 %
				演習問題	: 50 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための基礎的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第1回演習問題(現金預金、債権債務)	竹村 幸生	第7回	第7回演習問題(割引現在価値、減損会計)	竹村 幸生
第2回	第2回演習問題(商品売買、固定資産)	竹村 幸生	第8回	第8回演習問題(転換社債型新株予約権付社債)	竹村 幸生
第3回	第3回演習問題(貸倒引当金、退職給付会計※簡便法)	竹村 幸生	第9回	第9回演習問題(勘定復元①)	竹村 幸生
第4回	第4回演習問題(有価証券、税金)	竹村 幸生	第10回	第10回演習問題(勘定復元②)	竹村 幸生
第5回	第5回演習問題(社債、純資産)	竹村 幸生	第11回	第11回演習問題(推定簿記①)	竹村 幸生
第6回	第6回演習問題(ソフトウェア、税効果会計)	竹村 幸生	第12回	第12回演習問題(推定簿記②)	竹村 幸生

準備学習等	簿記論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰで使用している計算テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	財務諸表論演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	千葉 菜愛		授業回数	12回	
			成績評価方法	筆記試験	: 30 %
				演習問題	: 50 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容					
実務経験教員の実務経験内容					
授業目的到達目標	財務諸表論Ⅰで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための基礎的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第1回演習問題（理論：一般原則）	千葉 菜愛	第7回	第7回演習問題（理論：企業会計原則注解、注15繰延資産）	千葉 菜愛
第2回	第2回演習問題（理論：会計観 貸借対照表の役割・損益計算 書原則、一）	千葉 菜愛	第8回	第8回演習問題（理論：会計観・概念フレームワークについて）	千葉 菜愛

第3回	第3回演習問題（理論：損益計算書原則、一A）	千葉 菜愛	第9回	第9回演習問題（理論：資産評価、減損会計）	千葉 菜愛
第4回	第4回演習問題（理論：企業会計原則注解、注18引当金について）	千葉 菜愛	第10回	第10回演習問題（理論：リース取引に関する会計基準・資産除去債務に関する会計基準）	千葉 菜愛
第5回	第5回演習問題（理論：資産の評価について）	千葉 菜愛	第11回	第11回演習問題（理論：リース債務、資産除去債務の共通点、相違点）	千葉 菜愛
第6回	第6回演習問題（理論：貸借対照表原則、五）	千葉 菜愛	第12回	第12回演習問題（理論：退職給付に係る会計基準・純資産会計）	千葉 菜愛
準備学習等	財務諸表論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。				
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。				
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	消費税法演習Ⅰ		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数		60時間		
			単位数		2単位		
科目教員	小関 哲也		授業回数		12回		
			成績 評価 方法	筆記試験	:	30	%
				演習問題	:	50	%
				授業態度	:	20	%
					:		%
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也			:	%		
実務経験教員の実務経験に関する 授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務的で特に注意をしなければならない項目を学習する。 また、計算の基となる消費税法の本法を中心に、各条文を理解させる授業を行う。						
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の 会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っ ていた。						
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした演習問題を通して、消費税を計算し確定申告書及び各付表 を作成できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身に付けることを目的とする。 また、各業種等の消費税の計算ができ、税理士試験消費税法に対応する基礎計算問題を 解答できるレベルを目指す。						
授業計画							
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員		
第1回	ガイダンス 各業種業態における消費税額 計算の注意点	小関 哲也	第7回	商品販売業等を営む個人事業 者を前提とした消費税額の計 算	小関 哲也		
第2回	不動産業等を営む法人を前提 とした消費税額の計算①	小関 哲也	第8回	製造業等を営む個人事業者を 前提とした消費税額の計算	小関 哲也		
第3回	商品販売業等を営む法人を前 提とした消費税額の計算	小関 哲也	第9回	建築業等を営む個人事業者を 前提とした消費税額の計算	小関 哲也		
第4回	製造業等を営む法人を前提と した消費税額の計算①	小関 哲也	第10回	不動産業等を営む法人を前提 とした消費税額の計算②	小関 哲也		
第5回	建築業等を営む法人を前提と した消費税額の計算	小関 哲也	第11回	製造業等を営む法人を前提と した消費税額の計算②	小関 哲也		

第6回	不動産業等を営む個人事業者 を前提とした消費税額の計算 ①	小関 哲也	第12回	不動産業等を営む個人事業者 を前提とした消費税額の計算 ②	小関 哲也
準備学習等	消費税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、消費税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。				
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付する。 復習用教材として、消費税法Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。				
備考	授業計画の各回の前提となる業種及び法人等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 消費税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	法人税法演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	小関 哲也		授業回数	12回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 30 %
				演習問題	: 50 %
				授業態度	: 20 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	問題演習の解説を中心とし、実務的で特に注意をしなければならない項目を学習する。 また、計算の基となる法人税法の本法を中心に、各条文を理解させる授業を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において、経理責任者として日々の会計処理の管理、決算整理から財務諸 表の作成に携わり、会計事務所と共同で、法人税を計算し確定申告書の作成及び各届出 書の業務を行っていた。				
授業目的 到達目標	各企業の取引事例を基にした演習問題を通して、法人税を計算し確定申告書、特に別表 1及別表4・別表5を作成できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身につける ことを目的とする。 また、各法人の法人税の計算ができ、税理士試験法人税法及び全国経理教育協会法人税 法能力検定試験1級に対応する基礎計算問題を解答できるレベルを目指す。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 基本項目のまとめ	小関 哲也	第7回	貸倒引当金の設定事例を基に した問題演習及び第104回法人 税法能力検定試験問題の事例 解説	小関 哲也
第2回	交際費等の取引事例を基にし た問題演習及び第96回法人税 法能力検定試験問題の事例解 説	小関 哲也	第8回	租税公課の事例を基にした問 題演習及び第105回法人税法能 力検定試験問題の事例解説	小関 哲也

第3回	減価償却のの事例を基にした問題演習及び第97回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也	第9回	受取配当金等の取引事例を基にした問題演習及び第107回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也
第4回	寄付金の取引事例を基にした問題演習及び第98回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也	第10回	有価証券の取引事例を基にした問題演習及び第108回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也
第5回	貸倒損失の取引事例を基にした問題演習及び第99回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也	第11回	国庫補助金等の圧縮記帳を基にした問題演習及び土地収用法の圧縮記帳を基にした問題演習	小関 哲也
第6回	欠損金の事例を基にした問題演習及び第100回法人税法能力検定試験問題の事例解説	小関 哲也	第12回	役員判定の事例を基にした問題演習及びリース取引等の取引事例を基にした問題演習	小関 哲也
準備学習等	法人税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、法人税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。				
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付し、また、法人税法能力検定試験過去問題集（全国経理教育協会出版）を使用する。 復習用教材として、法人税法Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参すること。				
備考	授業計画の各回の前提となる業種及び法人等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 法人税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・ 税理士会計士専攻学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	相続税法演習Ⅰ		授業形態	演習		
			選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	小関 哲也		授業回数	12回		
			成績 評価 方法	筆記試験	:	30 %
				演習問題	:	50 %
				授業態度	:	20 %
					:	%
科目教員のうち 実務経験教員				:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	各相続事例を基にした演習問題を通して財産評価を行い、相続税を計算し申告書を作成 できる計算理論の基礎知識並びに基本的な技術を身につけることを目的とする。 また、税理士試験相続税法に対応する基礎計算問題を解答できるレベルを到達目標とす る。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 基本項目のまとめ	小関 哲也	第7回	問題演習⑥ 〔内容〕相続人の判定及び相 続分・生命保険等・生前贈与 加算・相続税額の加算・障害 者控除を含む総合問題	小関 哲也	
第2回	問題演習① 〔内容〕相続人の判定及び相 続分・生命保険等・退職手当 金等・未成年者控除・障害者 控除を含む総合問題	小関 哲也	第8回	問題演習⑦ 〔内容〕相続人の判定及び相 続分・生命保険等・債務控 除・相続税額加算を含む総合 問題	小関 哲也	

第3回	問題演習② 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・債務控除・相続税額加算を含む総合問題	小関 哲也	第9回	問題演習⑧ 〔内容〕生命保険等・債務控除・相続税額の加算・配偶者に対する相続税額の軽減を含む総合問題	小関 哲也
第4回	問題演習③ 〔内容〕生命保険等・債務控除・相続税額の加算・配偶者に対する相続税額の軽減を含む総合問題	小関 哲也	第10回	問題演習⑨ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等（弔慰金を含む）・債務控除（保証債務）を含む総合問題	小関 哲也
第5回	問題演習④ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等（弔慰金を含む）・債務控除（保証債務）を含む総合問題	小関 哲也	第11回	問題演習⑩ 〔内容〕相続人の判定及び相続分・生命保険等・債務控除・相続税額加算を含む総合問題	小関 哲也
第6回	問題演習⑤ 〔内容〕生命保険等・退職手当金等・債務控除・障害者控除を含む総合問題	小関 哲也	第12回	事業承継の対策及び節税対策	小関 哲也
準備学習等	相続税法Ⅰで学習した内容の問題演習となるため、相続税法Ⅰの内容を復習し理解しておくことが重要。学習内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い問題演習ができるレベルの知識を身につけ授業に臨むこと。				
教科書 参考書等	各回に演習問題を配付し、また、相続税法総合計算問題集基礎編（大原出版）を使用する。 復習用教材として、法人税法Ⅰで使用している計算テキスト、財産評価テキスト及び理論テキストを持参すること。				
備考	授業計画の各回の内容の主要項目については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 相続税法演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	会計学上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	穴戸 雄翔、千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
ミニテスト	: 30 %		
授業態度	: 20 %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級Ⅲ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	財務諸表分析、一般原則	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第2回	損益計算書原則	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第3回	貸借対照表原則	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第4回	資産会計、負債会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第5回	純資産会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第6回	外貨建取引会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	

第7回	税効果会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第8回	企業結合会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第9回	連結会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第12回	概念フレームワーク	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第13回	会社再編の会計①	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第14回	会社再編の会計②	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (大原出版) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (大原出版) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (大原出版) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (大原出版) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (大原出版) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (大原出版) 全経簿記上級 商業簿記・会計学テキスト (中央経済社) 簿記検定全経上級 直前対策講義 商業簿記・会計学 (大原出版)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 会計学上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	原価計算上級	授業形態		
		選必の別	講義	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間	
		単位数	3単位	
科目教員	菊地 裕俊	授業回数	15回	
		成績評価方法	筆記試験	: 50 %
			ミニテスト	: 30 %
			授業態度	: 20 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級Ⅲ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地 裕俊		
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地 裕俊		
第3回	総合原価計算	菊地 裕俊		
第4回	標準原価計算	菊地 裕俊		
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地 裕俊		
第6回	事業部制	菊地 裕俊		
第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地 裕俊		

第8回	構造的意決定	菊地 裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第10回	工場独立会計	菊地 裕俊
第11回	直前対策講義 過去問題解説(第191回、第193回)	菊地 裕俊
第12回	直前対策講義 過去問題解説(第195回、第197回)	菊地 裕俊
第13回	直前対策講義 過去問題解説(第199回、第201回)	菊地 裕俊
第14回	直前対策講義 過去問題解説(第203回、第205回)	菊地 裕俊
第15回	直前対策講義 過去問題解説(第207回、第209回)	菊地 裕俊
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (大原出版) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (大原出版) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (大原出版) 全経簿記上級 原価計算・工業簿記テキスト (中央経済社) 簿記検定 全経上級 直前対策講義 工業簿記・原価計算 (大原出版)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 原価計算上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ O A事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	Excel表計算技能		授業形態	講義
			選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	菊地 裕美		授業回数	10回
			成績 評価 方法	実技試験 : 50 %
				知識試験 : 30 %
				授業態度 : 20 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美			: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft Excelによる操作方法			
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）			
授業目的 到達目標	PCを用いて簡単なワークシートの作成とデータの入力ができるようにする。 また、タイピングソフトを使い入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス キーボード入力方法 フォルダ管理	菊地 裕美	第6回	基本練習4 罫線の引き方	菊地 裕美
第2回	Excelの画面構成、コピー 移動方法の確認	菊地 裕美	第7回	基本練習5 関数1 基本関数	菊地 裕美
第3回	基本練習1 Shift、Ctrlの使い 方	菊地 裕美	第8回	基本練習6 関数2 ROUND系、RANK、IF、等	菊地 裕美
第4回	基本練習2 オートフィル機能の使い方	菊地 裕美	第9回	基本練習7 グラフ	菊地 裕美
第5回	基本練習3 行・列の挿入と削除 ウィンドウ枠の固定と解除	菊地 裕美	第10回	基本練習8 並べ替えとフィルター	菊地 裕美
準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。				

教科書 参考書等	オリジナルテキストとデータを使用
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 Excel表計算技能は、上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	ビジネス学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ O A 事務学科（2年課程）・O A 事務学科（1年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	簿記速修		授業形態	講義	
			選必の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	120時間	
			単位数	4単位	
科目教員	菊地 裕俊		授業回数	40回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				授業態度	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、経理事務に活用できることを目的とし、 日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格する能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 簿記概論	菊地 裕俊	第21回	問題実施、解説 直前対策講義①（仕訳）	菊地 裕俊
第2回	基礎概念 （資産、負債、純資産、収 益、費用）	菊地 裕俊	第22回	問題実施、解説 直前対策講義② （試算表の作成）	菊地 裕俊
第3回	取引の意義と種類 勘定の意義と分類	菊地 裕俊	第23回	問題実施、解説 直前対策講義③（決算手続き における財務諸表等）	菊地 裕俊
第4回	仕訳帳と総勘定元帳、補助簿	菊地 裕俊	第24回	問題実施、解説 直前対策講義④（勘定記入）	菊地 裕俊
第5回	証ひょうと伝票	菊地 裕俊	第25回	問題実施、解説 直前対策講義⑤ （伝票・証ひょう）	菊地 裕俊

第6回	期中取引の処理（現金預金）	菊地 裕俊	第26回	問題実施、解説 直前対策講義⑥（補助簿）	菊地 裕俊
第7回	期中取引の処理 （売掛金と買掛金）	菊地 裕俊	第27回	問題実施、解説 直前対策講義⑦ （その他の計算）	菊地 裕俊
第8回	期中取引の処理 （その他の債権）	菊地 裕俊	第28回	模擬試験問題実施・解説①	菊地 裕俊
第9回	期中取引の処理 （その他の債務）	菊地 裕俊	第29回	模擬試験問題実施・解説②	菊地 裕俊
第10回	期中取引の処理（手形）	菊地 裕俊	第30回	模擬試験問題実施・解説③	菊地 裕俊
第11回	期中取引の処理（商品）	菊地 裕俊	第31回	模擬試験問題実施・解説④	菊地 裕俊
第12回	期中取引の処理（固定資産）	菊地 裕俊	第32回	模擬試験問題実施・解説⑤	菊地 裕俊
第13回	期中取引の処理（純資産）	菊地 裕俊	第33回	模擬試験問題実施・解説⑥	菊地 裕俊
第14回	期中取引の処理 （収益と費用）	菊地 裕俊	第34回	模擬試験問題実施・解説⑦	菊地 裕俊
第15回	期中取引の処理（税金）	菊地 裕俊	第35回	模擬試験問題実施・解説⑧	菊地 裕俊
第16回	月次の集計（合計試算表）	菊地 裕俊	第36回	模擬試験問題実施・解説⑨	菊地 裕俊
第17回	月次の集計（残高試算表）	菊地 裕俊	第37回	問題実施、解説 直前模擬試験 第1回	菊地 裕俊
第18回	月次の集計 （合計残高試算表）	菊地 裕俊	第38回	問題実施、解説 直前模擬試験 第2回	菊地 裕俊

第19回	月次の集計（損益計算書）	菊地 裕俊	第39回	問題実施、解説 直前模擬試験 第3回	菊地 裕俊
第20回	月次の集計（貸借対照表）	菊地 裕俊	第40回	問題実施、解説 全国統一公開模擬試験	菊地 裕俊
準備学習等	日々の復習をしっかりと行い、不明な点は科目教員に質問し、次回の授業に備えること。				
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト（大原出版） ALFA 3級商業簿記 問題集（大原出版） ALFA 3級商業簿記 解答集（大原出版） ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記（大原出版） 試験に出る問題集 3級（大原出版） 3級 直前対策講義 商業簿記（学校法人 大原学園） 2024年度 簿記能力検定 直前模擬試験 第1回～第3回（学校法人 大原学園） 2024年度 簿記能力検定 全国統一公開模擬試験（学校法人 大原学園）				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記速修は上記学科の選択科目であるため、各学科合同で授業を行う。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A 事務学科（2年課程）・ O A 事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年・3 学年・4 学年

科目名	F P 技能士 3 級		授業形態	講義	
			選必の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	千葉 菜愛		授業回数	15回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
				ミニテスト	: 40 %
				授業態度	: 20 %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナー（FP）はお金の専門家です。これからの時代、社会人となつて必要不可欠となるのが今後の「人生設計」とそれに伴う「お金」の知識です。FP資格は年金・保険・税金といった生活を豊かにする知識の他、株式や預貯金などの金融資産、不動産、相続といったお金に関する幅広い分野を学習することができます。学習を通して基本的なライフプランニングができる知識の習得を目的とし、国家試験であるFP技能士3級検定試験の学科試験と実技試験の両方に合格することのできる能力を身につけることを到達目標とします。				

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング、教育・住宅取得資金計画、社会保険）	千葉 菜愛	第9回	タックスプランニング（税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	千葉 菜愛
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金制度の概要、老後の生活資金設計と公的年金、公的年金における障害給付・遺族給付）	千葉 菜愛	第10回	タックスプランニング（課税標準に計算、所得控除、税額控除）	千葉 菜愛

第3回	ライフプランニングと資金計画（企業年金・自営業者のための年金、ライフプランニングの考え方）	千葉 菜愛	第11回	タックスプランニング（確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉 菜愛
第4回	リスク管理（リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容）	千葉 菜愛	第12回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	千葉 菜愛
第5回	リスク管理（損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容、個人・法人の契約に関する税金、第三分野の保険・共済）	千葉 菜愛	第13回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉 菜愛
第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式）	千葉 菜愛	第14回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金）	千葉 菜愛
第7回	金融資産運用（投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	千葉 菜愛	第15回	相続・事業承継（財産の評価（不動産・金融資産）、相続対策）	千葉 菜愛
第8回	金融資産運用（ポートフォリオ理論、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	千葉 菜愛	/		
準備学習等	予習の必要はありません。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は教員に質問をして、次回の講義に備えてください。				
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 問題集（大原出版）				
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 FP技能士3級は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A 事務学科（2年課程）・ O A 事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1 学年・2 学年・3 学年・4 学年

科目名	F P 技能士 3 級演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	15時間
		単位数	1単位
科目教員	千葉 菜愛	授業回数	5回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			授業態度 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナーとして必要な年金、保険、金融資産、税金、不動産、相続などの知識を、過去試験問題や模擬問題を通して答案練習・解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。FP技能士3級受験のため学科及び実技問題を、本試験通りの時間設定の中で解答し、常に合格点数以上を取ることを達成目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 過去試験対策①	千葉 菜愛	
第2回	過去試験対策②	千葉 菜愛	
第3回	過去試験対策③	千葉 菜愛	
第4回	模擬試験①	千葉 菜愛	
第5回	模擬試験②	千葉 菜愛	

準備学習等	<p>反復の答案練習が必要となります。間違った問題の書き直しに全力を注いでください。 また、学科試験、実技試験をバランスよく学習することを心がけてください。</p>
教科書 参考書等	<p>ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集 問題編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集 解答編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 学科模擬試験（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 実技模擬試験（学校法人 大原学園） 復習用教材として、FP技能士3級で使用しているテキストを持参してください。</p>
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 F P 技能士 3 級演習は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ OA事務学科（1年課程）・情報システム学科（3年課程）・ 情報システム学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（4年課程）・税理士会計士学科（3年課程）・ 税理士会計士学科（2年4ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）
学年	1学年・2学年・3学年・4学年

科目名	コンピュータ会計	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村 幸生	授業回数	8回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 % 授業態度 : 50 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記に関連した科目を履修したものが、その知識を実務でも活用できるよう会計ソフト(弥生会計)を使用し実習することで、簿記の知識(いわゆる受験簿記の知識)と会計ソフトを利用した場合の簿記とのつながり、相違点を理解してもらうことを目的としています。自ら会計ソフトを利用して基礎的な会計処理(入力・集計等)ができるようになること、コンピュータ会計能力検定2級を取得するための知識と技能を身につけることを到達目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス及び会計ソフトの操作	竹村 幸生	
第2回	企業の基幹業務と会計処理	竹村 幸生	
第3回	税金に関連する業務と会計処理	竹村 幸生	
第4回	会計データ(証ひょうによる)の入力処理と集計	竹村 幸生	
第5回	決算に関連する業務と会計処理	竹村 幸生	
第6回	予算管理と経営分析指標	竹村 幸生	

第7回	収益構造分析と短期利益計画	竹村 幸生
第8回	キャッシュ・フロー分析	竹村 幸生
準備学習等	<p>パソコンを利用した会計処理の実習が中心となります。序盤は慣れない作業に苦勞することになりますが、繰り返し実習を積むことでその技術(入力の手速度・精度)は上達します。空き時間等を利用し、積極的にパソコン教室での練習を心がけてください。なお、予習は不要です。</p>	
教科書 参考書等	<p>コンピュータ会計応用テキスト (実教出版) コンピュータ会計応用問題集 (実教出版) コンピュータ会計能力検定試験 過去問題集 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>	
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 コンピュータ会計は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>	

学科	OA事務学科(2年課程)・経理事務学科(2年課程)・ ビジネス学科(2年課程)・情報システム学科(2年課程)・ 情報システム学科(3年課程)・総合公務員学科(2年課程)・ 行政公務員学科(2年課程)・法律公務員学科(2年課程)
学年	2学年・3学年

科目名	社会人基礎知識 I	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間	
		単位数	3単位	
科目教員	久保田 佳子・千葉 佳名江・高橋 敬 中島 京哉・伊藤 浩彰・瀬尾 幸江 鈴木 裕治・河野 賢一・大野 直哉	授業回数	30回	
		成績 評価 方法	ミニテスト	: 40 %
			筆記試験	: 40 %
			授業態度	: 20 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	就職試験に出題される漢字の読み、書きの力を身につける。そして日本ビジネス技能検 定協会 漢字検定1・2級の取得も目指す。また、時事に興味関心を持ち、基本的な時 事用語を覚え、継続的に学び、基本的な用語を理解することで、就職試験にも対応でき る力を養う。時事だけでなく、旬なテーマに対して情報収集し、自分の考えや意見を持 ち、プレゼンテーションできるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	漢字 訓読み・送り仮名 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第16回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第2回	漢字 熟語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第17回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第3回	漢字 同音意義・異字同訓 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第18回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉

第4回	漢字 熟語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第19回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第5回	漢字 誤字訂正 類義語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第20回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第6回	漢字 反対語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第21回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第7回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第22回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第8回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第23回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第9回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第24回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表 (プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第10回	漢字 ことわざ・故事成語・ 慣用句 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第25回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表 (プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第11回	漢字 ことわざ・故事成語・ 慣用句 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第26回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表 (プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第12回	漢字 特殊な漢字の読み書き 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第27回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表 (プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉

第13回	漢字 特殊な漢字の読み書き 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第28回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第14回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第29回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第15回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第30回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
準備学習等	基本的な漢字や時事用語を覚え、知ること、理解を深めることで、就職試験にいかすことができる。自宅での復習など、知識の定着をはかる。				
教科書 参考書等	漢字能力検定試験対策問題集 1級（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 漢字能力検定試験対策問題集 2級（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 時事用語は日々プリントを配布いたします。				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がります。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	システム開発演習		授業形態	演習			
			選必の別	選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間			
			単位数	4単位			
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	15回			
			成績評価方法	課題提出	:	70	%
				平常点	:	30	%
					:		%
					:		%
	:			%			
科目教員のうち 実務経験教員							
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、システム及びアプリケーションの設計から実装までの工程を行うことができる。						
授業計画							
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員		
第1回	開発テーマ立案	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	アプリケーション開発⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第2回	スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	アプリケーション開発⑥	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第3回	外部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	アプリケーション開発⑦	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第4回	内部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	テスト・デバッグ①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第5回	アプリケーション開発①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	テスト・デバッグ②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第6回	アプリケーション開発②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プレゼンテーション資料作成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第7回	アプリケーション開発③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第8回	アプリケーション開発④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉					
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミング能力を必要とする。						
教科書 参考書等							
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。						

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	AI開発演習		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	4単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	15回	
			成績評価方法	課題提出	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容					
実務経験教員の実務経験内容					
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、AI（人工知能）を利用したシステムやアプリケーション開発を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	AI（人工知能）と機械学習について	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	AIアプリ開発②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	機械学習における統計学の基礎	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	AIアプリ開発③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	AIプログラミングの基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	AIアプリ開発④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	AIプログラミングの基礎②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	AIアプリ開発⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	AIアプリの企画・立案	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	テスト、デバッグ、レビュー	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	AIアプリ設計①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プレゼンテーション準備	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	AIアプリ設計②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	AIアプリ開発①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉			
準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。				
教科書 参考書等					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）				
学年		2学年・3学年				
科目名	ネットワーク開発演習			授業形態	演習	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間		
			単位数	4単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉			授業回数	20回	
				成績評価方法	課題提出	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容						
実務経験教員の実務経験内容						
授業目的 到達目標	コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を有し、組織内で利用されるコンピュータネットワーク環境の構築作業を行うことができる。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	ネットワークの基礎知識①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	ネットワーク構築基礎実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第2回	ネットワークの基礎知識②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	ネットワーク構築基礎実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第3回	ネットワークの基礎知識③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	ネットワーク構築基礎実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第4回	ネットワークの基礎技術①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	ネットワーク構築基礎実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第5回	ネットワークの基礎技術②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	ネットワーク構築基礎実習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第6回	ネットワークの基礎技術③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	ネットワーク構築応用実習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第7回	IPルーティングとVPN	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	ネットワーク構築応用実習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第8回	スイッチとルーターの基礎	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	ネットワーク構築応用実習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第9回	ネットワーク構築の基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	ネットワーク構築応用実習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第10回	ネットワーク構築の基礎②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	ネットワーク構築応用実習⑤	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一	

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであり、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	アプリケーション開発演習		授業形態	演習		
			選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間		
			単位数	4単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	15回		
			成績評価方法	課題提出	:	70%
				平常点	:	30%
					:	%
					:	%
	:	%				
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、小規模なアプリケーション開発における設計から実装までの一連の作業を単独で行うことができる。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	アプリケーション開発工程について	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	開発⑤（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第2回	開発テーマの企画・立案 開発スケジュール作成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	開発⑥（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第3回	設計① （開発環境構築、外部設計）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	開発⑦（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第4回	設計② （外部設計、内部設計）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	テスト、デバッグ、レビュー①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第5回	開発①（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	テスト、デバッグ、レビュー②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第6回	開発②（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プレゼンテーション準備	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第7回	開発③（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	
第8回	開発④（プログラミング）	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉				
準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよびアプリケーション開発に必要なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。					
教科書 参考書等						
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間	
		単位数	5単位	
科目教員	鈴木 裕治・河野 賢一・大野 直哉・伊藤 和子	授業回数	24回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			授業態度	: 30 %
				: %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員				
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第17回	基本情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第18回	基本情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第19回	基本情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第20回	基本情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第21回	基本情報総合Ⅱ① 基本情報技術者対策 (テクノロジー)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第22回	基本情報総合Ⅱ② 基本情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第23回	基本情報総合Ⅱ③ 基本情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第24回	基本情報総合Ⅱ④ 基本情報技術者対策 (アルゴリズム)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者試験 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	情報処理応用演習		授業形態		
			演習	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	120時間	
			単位数	5単位	
科目教員	鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉 伊藤 和子		授業回数		24回
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第17回	応用情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第18回	応用情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第19回	応用情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第20回	応用情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第21回	基本情報総合Ⅱ① 応用情報技術者対策 (テクノロジー)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第22回	基本情報総合Ⅱ② 応用情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第23回	基本情報総合Ⅱ③ 応用情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第24回	基本情報総合Ⅱ④ 応用情報技術者対策 (プログラミング)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	応用情報技術者 午前対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	高度セキュリティ演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	30回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容		: %	
実務経験教員の 実務経験内容		: %	
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第6回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第7回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第8回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第9回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第10回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	高度データベース演習		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		120時間		
			単位数		5単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数		30回		
			成績評価方法	筆記試験		: 70 %	
				平常点		: 30 %	
						: %	
						: %	
科目教員のうち 実務経験教員					: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標	データベースに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。						
授業計画							
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員		
第1回	情報処理技術者試験対策 データベース演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第2回	情報処理技術者試験対策 データベース演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第3回	情報処理技術者試験対策 データベース演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第4回	情報処理技術者試験対策 データベース演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第5回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第6回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第7回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第8回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第9回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第10回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子		

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	高度ネットワーク演習		授業形態		
			演習		
			選必の別		
			選必		
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		
			120時間		
科目教員			単位数		
			5単位		
科目教員 鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数		
			30回		
科目教員のうち 実務経験教員			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
実務経験教員の実務経験に関する 授業内容				: %	
				: %	
実務経験教員の実務経験内容				: %	
				: %	
授業目的 到達目標	通信ネットワークに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第2回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第6回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第7回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第8回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第9回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第10回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	C言語	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績評価方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	C言語を用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	C言語基礎① 環境設定	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	C言語応用⑤ 繰返し	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	C言語基礎② プログラムの構成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	C言語基礎⑦ 配列	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	C言語応用① プログラムの構成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	C言語応用⑥ 配列	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	C言語基礎③ 入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	C言語基礎⑧ 文字列操作	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	C言語応用② 入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	C言語応用⑦ 文字列操作	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	C言語基礎④ 演算子	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	C言語基礎⑨ 構造体	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	C言語応用③ 演算子	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	C言語応用⑧ 構造体	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	C言語基礎⑤ 分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	C言語基礎⑩ ポインタ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	C言語応用④ 分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	C言語応用⑨ ポインタ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	C言語基礎⑥ 繰返し	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	C言語応用⑩ 自作関数	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	Python言語	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績評価方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	Pythonを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	Python基礎① 環境構築と概要	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	Python応用① ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	Python基礎② 変数とデータ型	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	Python応用② ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	Python基礎③ コレクション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	Python応用③ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	Python基礎④ 条件分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	Python応用④ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	Python基礎⑤ 繰り返し処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	Python応用⑤ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	Python基礎⑥ 条件分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	Python応用⑥ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	Python基礎⑦ 関数	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	Python応用⑦ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	Python基礎⑧ オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	Python応用⑧ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	Python基礎⑨ モジュール	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	Python応用⑨ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	Python基礎⑩ パッケージ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	Python応用⑩ フレームワーク	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	プログラム言語		授業形態		
			演習	選必の別	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	20回	
			成績評価方法	課題提出	: 70 %
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	プログラム言語の基礎的な知識及びプログラム開発におけるワークフローに関する知識を有し、プログラムを作成することができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	プログラミング応用① フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	プログラミング基礎②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	プログラミング応用② フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	プログラミング基礎③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	プログラミング応用③ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	プログラミング基礎④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プログラミング応用④ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	プログラミング基礎⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プログラミング応用⑤ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	プログラミング演習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	プログラミング応用⑥ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	プログラミング演習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	プログラミング応用⑦ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	プログラミング演習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	プログラミング応用⑧ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	プログラミング演習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	プログラミング応用⑨ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	プログラミング演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	プログラミング応用⑩ フレームワーク	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	J A V A 言語	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績評価方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	Javaを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	JAVA言語基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	JAVA言語応用④ 例外処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	JAVA言語基礎② Javaの概要	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	JAVA言語基礎⑧ 入出力処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	JAVA言語基礎③ Javaの言語仕様	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	JAVA言語応用⑤ 入出力処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	JAVA言語基礎④ クラス	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	JAVA言語基礎⑨ マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	JAVA言語応用① クラス	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	JAVA言語応用⑥ マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	JAVA言語基礎⑤ クラスと継承	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	JAVA言語基礎⑩ インターフェース設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	JAVA言語応用② クラスと継承	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	JAVA言語応用⑦ インターフェース設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	JAVA言語基礎⑥ Javaのクラスライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	JAVA言語基礎⑪ インターフェース開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	JAVA言語応用③ Javaのクラスライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	JAVA言語応用⑧ インターフェース開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	JAVA言語基礎⑦ 例外処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	JAVA言語応用⑨ 作成課題	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	表計算ソフト基礎 I		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子		授業回数	20回
			成績 評価 方法	確認試験
ミニテスト	: 50 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ			
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター			
授業目的 到達目標	パソコンおよびExcelの基本的な用語と基本操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験3級の取得を目指す。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Excelの画面構成、タイピング練習	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	Excel基本演習⑩ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Excel基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	Excel基本演習⑪ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Excel基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	Excel基本演習⑫ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Excel基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	Excel基本演習⑬ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Excel基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	Excel基本演習⑭ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Excel基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	Excel基本演習⑮ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子

第7回	Excel基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Excel基本演習⑦ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Excel基本演習⑧ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Excel基本演習⑨ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験 3 級問題集（株式会社サーティファイ） Excel表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	文書処理ソフト基礎		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数		60時間	
			単位数		3単位	
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子		授業回数		20回	
			成績 評価 方法	確認試験		:
ミニテスト		:		50	%	
		:			%	
		:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ					
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター					
授業目的 到達目標	パソコンおよびWordの応用的な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Word文書処理 技能認定試験2級の取得を目指す。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス、Wordの画面構成、タイピング練習	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	Word基本演習⑩ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第2回	Word基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	Word基本演習⑪ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第3回	Word基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	Word基本演習⑫ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第4回	Word基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	Word基本演習⑬ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第5回	Word基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	Word基本演習⑭ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第6回	Word基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	Word基本演習⑮ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	

第7回	Word基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Word基本演習⑦ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Word基本演習⑧ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Word基本演習⑨ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	Word文書処理技能認定試験 3 級問題集（株式会社サーティファイ） Word文書処理技能認定試験 1・2 級問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	プレゼンテーションソフト	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
		成績評価方法	確認試験 : % ミニテスト : % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	パソコンおよびPowerPointの基本的な用語と操作から応用的な操作までを習得し、サー ティファイ主催PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、 PowerPointの画面構成	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	PowerPoint基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第2回	PowerPoint基本操作①	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	PowerPoint応用演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第3回	PowerPoint基本操作②	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	PowerPoint応用演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第4回	PowerPoint基本操作③	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	PowerPoint応用演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第5回	PowerPoint基本操作④	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	PowerPoint応用演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第6回	PowerPoint基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	PowerPoint応用演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第7回	PowerPoint基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	PowerPoint応用演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子

第8回	PowerPoint基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	PowerPoint基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	PowerPoint基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	PowerPoint2016クイックマスター（株式会社ウイネット）、 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	データベースソフト	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	20回	
		成績評価方法	実技試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子		: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	データベースソフトウェアを用いたデータの定義やクエリの作成、帳票の作成を学習する。			
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校 情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクターを行っていた。			
授業目的 到達目標	データベースソフトを理解し、操作する能力を身に付ける。また、業務上必要となるデータベースを構築し管理・運用するスキルを学習する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベースソフト概要	五十嵐久子	第11回	データベースソフト 基本操作演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	データベースソフト 基本操作①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第12回	データベースソフト 応用演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	データベースソフト 基本操作②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第13回	データベースソフト 応用演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	データベースソフト 基本操作③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第14回	データベースソフト 応用演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	データベースソフト 基本操作④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第15回	データベースソフト 応用演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第6回	データベースソフト 基本操作演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第16回	データベースソフト 応用演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第7回	データベースソフト 基本操作演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第17回	データベースソフト 応用演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第8回	データベースソフト 基本操作演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第18回	データベースソフト 模擬問題演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第9回	データベースソフト 基本操作演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第19回	データベースソフト 模擬問題演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第10回	データベースソフト 基本操作演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第20回	データベースソフト 模擬問題演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータの基本操作およびデータベースに関する基礎を理解していること。
教科書 参考書等	Access2019クイックマスター Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	情報処理基礎テクノロジーⅠ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	15回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容					
実務経験教員の実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身につけさせるためにテクノロジー系「基礎理論」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論（離散数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	基礎理論（離散数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	基礎理論（離散数学③）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第11回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	基礎理論（応用数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第12回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	基礎理論（応用数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第13回	アルゴリズムとプログラミング （プログラミング）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第6回	基礎理論 （情報に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第14回	アルゴリズムとプログラミング （プログラム言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第7回	基礎理論 （通信に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第15回	アルゴリズムとプログラミング （その他の言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第8回	基礎理論 （計測・制御に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子			
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2学年				
科目名	情報処理基礎マネジメントⅠ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身につけさせるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理基礎ストラテジ I			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数		60時間		
		単位数		2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身につけさせるためにストラテジ系「システム戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム戦略 (情報システム戦略①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	システム戦略 (システム化計画①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	システム戦略 (情報システム戦略②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	システム戦略 (システム化計画②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	システム戦略 (業務プロセス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	システム戦略 (要件定義①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム戦略 (ソリューションビジネス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	システム戦略 (要件定義②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム戦略 (システム活用促進・評価)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	システム戦略 (調達計画・実施)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	情報処理応用テクノロジーⅠ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	15回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「基礎理論」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論（離散数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	基礎理論（離散数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	基礎理論（離散数学③）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第11回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	基礎理論（応用数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第12回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	基礎理論（応用数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第13回	アルゴリズムとプログラミング （プログラミング）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第6回	基礎理論 （情報に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第14回	アルゴリズムとプログラミング （プログラム言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第7回	基礎理論 （通信に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第15回	アルゴリズムとプログラミング （その他の言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第8回	基礎理論 （計測・制御に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子			
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理応用マネジメントⅠ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理応用ストラテジ I			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「システム戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム戦略 (情報システム戦略①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	システム戦略 (システム化計画①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	システム戦略 (情報システム戦略②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	システム戦略 (システム化計画②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	システム戦略 (業務プロセス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	システム戦略 (要件定義①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム戦略 (ソリューションビジネス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	システム戦略 (要件定義②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム戦略 (システム活用促進・評価)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	システム戦略 (調達計画・実施)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	高度セキュリティテクノロジー I	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間	
		単位数	3単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	15回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員				
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「基礎理論」の知識の習得を目的とする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論（離散数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	基礎理論（離散数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	基礎理論（離散数学③）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第11回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	基礎理論（応用数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第12回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	基礎理論（応用数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第13回	アルゴリズムとプログラミング （プログラミング）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第6回	基礎理論 （情報に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第14回	アルゴリズムとプログラミング （プログラム言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第7回	基礎理論 （通信に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第15回	アルゴリズムとプログラミング （その他の言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第8回	基礎理論 （計測・制御に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子			

準備学習等	
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	高度セキュリティマネジメントⅠ	授業形態	講義		
		選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	10回		
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %	
			平常点	: 30 %	
				: %	
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）			
学年		2 学年			
科目名	高度セキュリティストラテジ I			授業形態	講義
				選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回
				成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム戦略 (情報システム戦略①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	システム戦略 (システム化計画①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム戦略 (情報システム戦略②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	システム戦略 (システム化計画②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム戦略 (業務プロセス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	システム戦略 (要件定義①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム戦略 (ソリューションビジネス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	システム戦略 (要件定義②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム戦略 (システム活用促進・評価)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	システム戦略 (調達計画・実施)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	高度データベーステクノロジーⅠ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
: %			
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		: %	
実務経験教員の 実務経験内容		: %	
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「基礎理論」の知識の習得を目的とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論（離散数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	基礎理論（離散数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	基礎理論（離散数学③）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第11回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	基礎理論（応用数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第12回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	基礎理論（応用数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第13回	アルゴリズムとプログラミング （プログラミング）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第6回	基礎理論 （情報に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第14回	アルゴリズムとプログラミング （プログラム言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第7回	基礎理論 （通信に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第15回	アルゴリズムとプログラミング （その他の言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第8回	基礎理論 （計測・制御に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子			

準備学習等	
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベースマネジメントⅠ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績評価方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）			
学年		2 学年			
科目名	高度データベースストラテジ I			授業形態	講義
				選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回
				成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「システム戦略」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム戦略 (情報システム戦略①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	システム戦略 (システム化計画①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム戦略 (情報システム戦略②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	システム戦略 (システム化計画②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム戦略 (業務プロセス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	システム戦略 (要件定義①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム戦略 (ソリューションビジネス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	システム戦略 (要件定義②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム戦略 (システム活用促進・評価)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	システム戦略 (調達計画・実施)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科	情報システム学科（3年課程）
学年	2 学年

科目名	高度ネットワークテクノロジーⅠ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間	
			単位数	3単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	15回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「基礎理論」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論（離散数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	基礎理論（離散数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	アルゴリズムとプログラミング （データ構造②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	基礎理論（離散数学③）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第11回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	基礎理論（応用数学①）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第12回	アルゴリズムとプログラミング （アルゴリズム②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	基礎理論（応用数学②）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第13回	アルゴリズムとプログラミング （プログラミング）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第6回	基礎理論 （情報に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第14回	アルゴリズムとプログラミング （プログラム言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第7回	基礎理論 （通信に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第15回	アルゴリズムとプログラミング （その他の言語）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第8回	基礎理論 （計測・制御に関する理論）	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子			
準備学習等					
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークマネジメントⅠ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのスコープ②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの統合②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのステークホルダ①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの資源②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークストラテジ I			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム戦略 (情報システム戦略①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	システム戦略 (システム化計画①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	システム戦略 (情報システム戦略②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	システム戦略 (システム化計画②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	システム戦略 (業務プロセス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	システム戦略 (要件定義①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム戦略 (ソリューションビジネス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	システム戦略 (要件定義②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム戦略 (システム活用促進・評価)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	システム戦略 (調達計画・実施)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理基礎テクノロジーII		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにテクノロジー系「コンピュータシステム」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ソフトウェア (オペレーティングシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	コンピュータ構成要素 (プロセッサ・メモリ・バス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ソフトウェア (ミドルウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素 (入出力デバイス・入出力装置)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ソフトウェア (ファイルシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム構成要素 (システムの構成)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア (開発ルール・OSS)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム構成要素 (システムの評価指標)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ハードウェア (ハードウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理基礎マネジメントⅡ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの立上げ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの品質)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの調達)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコミュニケーション)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理基礎ストラテジⅡ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	経営戦略 (経営戦略手法①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	経営戦略 (経営戦略手法②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (経営管理システム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	経営戦略 (マーケティング①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (経営管理システム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	経営戦略 (マーケティング②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (技術開発戦略の立案)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (技術開発計画)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）			
学年		2 学年			
科目名	情報処理応用テクノロジーII			授業形態	講義
				選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数		60時間	
		単位数		2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回
				成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「コンピュータシステム」知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	コンピュータ構成要素 (プロセッサ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ソフトウェア (オペレーティングシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	コンピュータ構成要素 (メモリ・バス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ソフトウェア (ミドルウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素 (入出力デバイス・入出力装置)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ソフトウェア (ファイルシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム構成要素 (システムの構成)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア (開発ルール・OSS)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム構成要素 (システムの評価指標)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ハードウェア (ハードウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

		学科	情報システム学科（3年課程）			
		学年	2 学年			
科目名	情報処理応用マネジメントⅡ		授業形態	講義		
			選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数		10回	
			成績評価方法	筆記試験		: 70 %
				平常点		: 30 %
						: %
		: %				
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの立上げ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの品質)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの調達)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコミュニケーション)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理応用ストラテジⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (経営戦略手法①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (経営戦略手法②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (経営管理システム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	経営戦略 (マーケティング①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (経営管理システム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (マーケティング②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (技術開発戦略の立案)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (技術開発計画)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度セキュリティテクノロジーII			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「コンピュータシステム」知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	コンピュータ構成要素 (プロセッサ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ソフトウェア (オペレーティングシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	コンピュータ構成要素 (メモリ・バス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ソフトウェア (ミドルウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	コンピュータ構成要素 (入出力デバイス・入出力装置)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ソフトウェア (ファイルシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム構成要素 (システムの構成)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア (開発ルール・OSS)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム構成要素 (システムの評価指標)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ハードウェア (ハードウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度セキュリティマネジメントⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの立上げ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの品質)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの調達)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコミュニケーション)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度セキュリティストラテジⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (経営戦略手法①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (経営戦略手法②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (経営管理システム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	経営戦略 (マーケティング①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (経営管理システム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (マーケティング②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (技術開発戦略の立案)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (技術開発計画)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベーステクノロジーII			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「コンピュータシステム」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	コンピュータ構成要素 (プロセッサ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ソフトウェア (オペレーティングシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	コンピュータ構成要素 (メモリ・バス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ソフトウェア (ミドルウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	コンピュータ構成要素 (入出力デバイス・入出力装置)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ソフトウェア (ファイルシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム構成要素 (システムの構成)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア (開発ルール・OSS)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム構成要素 (システムの評価指標)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ハードウェア (ハードウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベースマネジメントⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの立上げ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの品質)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの調達)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコミュニケーション)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベースストラテジⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (経営戦略手法①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (経営戦略手法②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (経営管理システム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	経営戦略 (マーケティング①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (経営管理システム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (マーケティング②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (技術開発戦略の立案)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (技術開発計画)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークテクノロジーII			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「コンピュータシステム」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	コンピュータ構成要素 (プロセッサ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ソフトウェア (オペレーティングシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	コンピュータ構成要素 (メモリ・バス)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ソフトウェア (ミドルウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	コンピュータ構成要素 (入出力デバイス・入出力装置)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ソフトウェア (ファイルシステム)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	システム構成要素 (システムの構成)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア (開発ルール・OSS)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	システム構成要素 (システムの評価指標)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ハードウェア (ハードウェア)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度ネットワークマネジメントⅡ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「プロジェクトマネジメント」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの立上げ)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのリスク②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの時間②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの品質)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトの調達)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコスト②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	プロジェクトマネジメント (プロジェクトのコミュニケーション)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークストラテジⅡ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (経営戦略手法①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (経営戦略手法②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (経営管理システム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	経営戦略 (マーケティング①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (経営管理システム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (マーケティング②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (技術開発戦略の立案)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (ビジネス戦略と目標・評価①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (技術開発計画)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理基礎テクノロジーⅢ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	4単位	
科目教員	鈴木裕治		授業回数	10回	
	河野賢一		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
	大野直哉			平常点	: 30 %
	伊藤和子				: %
					: %
				: %	
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにテクノロジー系「技術要素」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ヒューマンインターフェース (ヒューマンインターフェース技術・ インターフェース設計)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ネットワーク (ネットワーク方式・データ通信と制御)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	マルチメディア (マルチメディア技術・マルチメディア応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ネットワーク (通信プロトコル・ネットワーク管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	データベース (データベース方式・データベース設計)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ネットワーク (ネットワーク応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	データベース (データ操作・トランザクション処理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	セキュリティ (情報セキュリティ・情報セキュリティ管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	データベース (データベース応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	情報セキュリティ (セキュリティ技術評価・情報セキュリティ対策・ セキュリティ実装技術)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理基礎マネジメントⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにマネジメント系「サービスマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	サービスマネジメント (サービスマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	サービスマネジメント (サービスマネジメントプロセス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	サービスマネジメント (サービスマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	サービスマネジメント (サービスの運用①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	サービスマネジメント (サービスの設計・移行①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	サービスマネジメント (サービスの運用②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	サービスマネジメント (サービスの設計・移行②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	サービスマネジメント (ファシリティマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	サービスマネジメント (サービスマネジメントプロセス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	サービスマネジメント (ファシリティマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

		学科	情報システム学科（3年課程）			
		学年	2 学年			
科目名	情報処理基礎ストラテジⅢ		授業形態	講義		
			選必の別	選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数		10回	
			成績 評価 方法	筆記試験		: 70 %
				平常点		: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (ビジネスシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (e-ビジネス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (ビジネスシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (e-ビジネス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	OR・IE	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (民生機器)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (エンジニアリングシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (産業機器①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (エンジニアリングシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (産業機器②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理応用テクノロジーⅢ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	4単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「技術要素」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ヒューマンインターフェース (ヒューマンインターフェース技術・ インターフェース設計)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	ネットワーク (ネットワーク方式・データ通信と制御)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	マルチメディア (マルチメディア技術・マルチメディア応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	ネットワーク (通信プロトコル・ネットワーク管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	データベース (データベース方式・データベース設計)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ネットワーク (ネットワーク応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	データベース (データ操作・トランザクション処理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	セキュリティ (情報セキュリティ・情報セキュリティ管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	データベース (データベース応用)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	情報セキュリティ (セキュリティ技術評価・情報セキュリティ対策・セ キュリティ実装技術)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	情報処理応用マネジメントⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「サービスマネジメント」の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	サービスマネジメント (サービスマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	サービスマネジメント (サービスマネジメントプロセス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	サービスマネジメント (サービスマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	サービスマネジメント (サービスの運用①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	サービスマネジメント (サービスの設計・移行①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	サービスマネジメント (サービスの運用②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	サービスマネジメント (サービスの設計・移行②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	サービスマネジメント (ファシリティマネジメント①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	サービスマネジメント (サービスマネジメントプロセス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	サービスマネジメント (ファシリティマネジメント②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理応用ストラテジⅢ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「経営戦略」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	経営戦略 (ビジネスシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (e-ビジネス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	経営戦略 (ビジネスシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (e-ビジネス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (民生機器)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	経営戦略 (エンジニアリングシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (産業機器①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	経営戦略 (エンジニアリングシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (産業機器②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度セキュリティテクノロジーIII		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにセキュリティ分野に特化したテクノロジー系の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	盗聴・改ざん対策① 暗号化技術	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	不正アクセス対策② アクセス権	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	盗聴・改ざん対策② 情報の窃取	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	不正アクセス対策③ FWとDMZ	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	盗聴・改ざん対策③ 認証技術	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	不正アクセス対策④ IDSとIPS	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	盗聴・改ざん対策④ 公開鍵基盤	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	セキュアプログラミング①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	不正アクセス対策① 利用者認証	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	セキュアプログラミング②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度セキュリティマネジメントⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるために情報セキュリティに特化したマネジメントの知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報セキュリティマネジメント リスク分析と評価と対応①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	情報セキュリティマネジメント ISMS①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	情報セキュリティマネジメント リスク分析と評価と対応②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	情報セキュリティマネジメント ISMS②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	情報セキュリティマネジメント インシデントへの準備と対応①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	情報セキュリティマネジメント ISMS③	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	情報セキュリティマネジメント インシデントへの準備と対応②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	情報セキュリティマネジメント 情報セキュリティ監査①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	情報セキュリティマネジメント インシデントへの準備と対応③	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	情報セキュリティマネジメント 情報セキュリティ監査②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度セキュリティストラテジⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
	: %					
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるために情報セキュリティに特化したストラテジ知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (ビジネスシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (e-ビジネス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (ビジネスシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (e-ビジネス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	OR・IE	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (民生機器)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (エンジニアリングシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (産業機器①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (エンジニアリングシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (産業機器②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）			
学年		2 学年			
科目名	高度データベーステクノロジーⅢ			授業形態	講義
				選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数		60時間	
		単位数		2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回
				成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにデータベース分野に特化したテクノロジー系の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベースの全体計画 全社データベースの計画	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	データベースの分析・設計 概念データモデルの作成	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	データベースの全体計画 データ定義の標準化	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	データベースの分析・設計 概念データモデルの検証	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	データベースの要件定義 現状調査と課題分析	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	データベースの分析・設計 論理データモデルの作成	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	データベースの要件定義 作業範囲の確定	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	データベースの分析・設計論理 データモデルの検証	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	データベースの要件定義 データベースの設計要件定義	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	データベースの実装・テスト	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベースマネジメントⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにデータベースに特化したマネジメントの知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	データベースシステムの運用管理 運用・保守計画①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	データベースシステムの運用管理 管理②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	データベースシステムの運用管理 運用・保守計画②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	データベースシステムの運用管理 性能チューニング①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	データベースシステムの運用管理 運用・保守①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	データベースシステムの運用管理 性能チューニング②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	データベースシステムの運用管理 運用・保守②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	データベースシステムの運用管理 利用者サポート①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	データベースシステムの運用管理 管理①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	データベースシステムの運用管理 利用者サポート②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度データベースストラテジⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間		
			単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるために情報セキュリティに特化したストラテジ知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (ビジネスシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (e-ビジネス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (ビジネスシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (e-ビジネス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	OR・IE	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (民生機器)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (エンジニアリングシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (産業機器①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (エンジニアリングシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (産業機器②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークテクノロジーⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績評価方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにネットワーク分野に特化したテクノロジー系の知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	LAN① 有線LAN	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	LAN⑥ VLAN	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	LAN② イーサネット	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	TCP/IP	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	LAN③ 無線LAN	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	ネットワーク応用 Webシステム	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	LAN④ LAN間接続装置	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ネットワーク応用 メールシステム	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	LAN⑤ LANの冗長化	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ネットワーク応用 IP電話	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度ネットワークマネジメントⅢ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間		
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにネットワークに特化したマネジメントの知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	高可用性ネットワーク 回線の冗長化①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	高可用性ネットワーク LBとサーバの冗長化③	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	高可用性ネットワーク 回線の冗長化②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	高可用性ネットワーク 負荷分散装置	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	高可用性ネットワーク 回線の冗長化③	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	高可用性ネットワーク SAN①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	高可用性ネットワーク LBとサーバの冗長化①	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	高可用性ネットワーク SAN②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	高可用性ネットワーク LBとサーバの冗長化②	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	高可用性ネットワーク SAN③	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		2 学年				
科目名	高度ネットワークストラテジⅢ			授業形態	講義	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間	
				単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	10回	
				成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにネットワーク分野に特化したストラテジ知識の習得を目的とする。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	経営戦略 (ビジネスシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第6回	経営戦略 (e-ビジネス①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第2回	経営戦略 (ビジネスシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第7回	経営戦略 (e-ビジネス②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第3回	OR・IE	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第8回	経営戦略 (民生機器)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第4回	経営戦略 (エンジニアリングシステム①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	経営戦略 (産業機器①)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
第5回	経営戦略 (エンジニアリングシステム②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	経営戦略 (産業機器②)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	
準備学習等						
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル					
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。					

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	情報処理基礎テクノロジー		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治				
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにテクノロジー系「開発技術」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術 (システム要件定義・システム設計)	鈴木裕治	第6回	システム開発技術 (システムテスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム開発技術 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治	第7回	システム開発技術 (導入・受入れ支援・保守・廃棄)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム開発技術 (ソフトウェア設計)	鈴木裕治	第8回	ソフトウェア開発管理技術 (開発プロセス・手法)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム開発技術 (ソフトウェア構築)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア開発管理技術 (知的財産適用管理・開発環境管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム開発技術 (ソフトウェアテスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ソフトウェア開発管理技術 (構成管理・変更管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）			
学年		2 学年			
科目名	情報処理基礎マネジメント		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有		授業時間数	30時間
				単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治		授業回数	5回	
	河野賢一		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
	大野直哉			平常点	: 30 %
	伊藤和子				: %
				: %	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにマネジメント系「システム監査」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	ITガバナンス			鈴木裕治	
第2回	システム監査①			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	システム監査②			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	内部統制①			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	内部統制②			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）		
学年		2 学年		
科目名	情報処理基礎ストラテジ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けさせるためにストラテジ系「企業と法務」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容		科目教員	
第1回	企業と法務（経営・組織論）		鈴木裕治	
第2回	企業と法務（OR・IE）		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	企業と法務（会計・財務・知的財産権）		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	企業と法務 （セキュリティ関連法規・労働関連法規・取引関連法規）		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	企業と法務 （その他の法律・ガイドライン・技術者倫理・標準化関連）		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
準備学習等				
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 基本情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。			

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2学年		
科目名	情報処理応用テクノロジー		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治				
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「開発技術」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術 (システム要件定義・システム設計)	鈴木裕治	第6回	システム開発技術 (システムテスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム開発技術 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治	第7回	システム開発技術 (導入・受入れ支援・保守・廃棄)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム開発技術 (ソフトウェア設計)	鈴木裕治	第8回	ソフトウェア開発管理技術 (開発プロセス・手法)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム開発技術 (ソフトウェア構築)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア開発管理技術 (知的財産適用管理・開発環境管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム開発技術 (ソフトウェアテスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ソフトウェア開発管理技術 (構成管理・変更管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）		
学年		2 学年		
科目名	情報処理応用マネジメント		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「システム監査」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容		科目教員	
第1回	ITガバナンス		鈴木裕治	
第2回	システム監査①		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	システム監査②		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	内部統制①		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	内部統制②		鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
準備学習等				
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。			

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	情報処理応用ストラテジ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「企業と法務」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	企業と法務（経営・組織論）			鈴木裕治
第2回	企業と法務（OR・IE）			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第3回	企業と法務（会計・財務・知的財産権）			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第4回	企業と法務 （セキュリティ関連法規・労働関連法規・取引関連法規）			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第5回	企業と法務 （その他の法律・ガイドライン・技術者倫理・標準化関連）			鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 B科目対策テキスト・演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。			

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度セキュリティテクノロジー		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治	:			%
		:			%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「開発技術」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術 (システム要件定義・システム方式設計)	鈴木裕治	第6回	システム開発技術 (システム結合・システム適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム開発技術 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治	第7回	システム開発技術 (導入・受入れ支援・保守・廃棄)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム開発技術 (ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治	第8回	ソフトウェア開発管理技術 (開発プロセス・手法)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム開発技術 (ソフトウェア構築)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア開発管理技術 (知的財産適用管理・開発環境管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム開発技術 (ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ソフトウェア開発管理技術 (構成管理・変更管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	高度セキュリティマネジメント		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「システム監査」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ITガバナンス			鈴木裕治
第2回	情報セキュリティ監査 情報セキュリティ監査①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	情報セキュリティ監査 情報セキュリティ監査②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	情報セキュリティ監査 情報セキュリティ監査基準①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	情報セキュリティ監査 情報セキュリティ監査基準②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	高度セキュリティストラテジ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「企業と法務」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	企業と法務 経営・組織論			鈴木裕治
第2回	企業と法務 OR・IE			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	企業と法務 会計・財務・知的財産権			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	企業と法務 セキュリティ関連法規・労働関連法規・取引関連法規			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	企業と法務 その他の法律・ガイドライン・技術者倫理・標準化関連			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	情報処理安全確保支援士 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度データベーステクノロジー		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績 評価 方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治				
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「開発技術」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術 (システム要件定義・システム方式設計)	鈴木裕治	第6回	システム開発技術 (システム結合・システム適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム開発技術 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治	第7回	システム開発技術 (導入・受入れ支援・保守・廃棄)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム開発技術 (ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治	第8回	ソフトウェア開発管理技術 (開発プロセス・手法)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム開発技術 (ソフトウェア構築)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア開発管理技術 (知的財産適用管理・開発環境管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム開発技術 (ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ソフトウェア開発管理技術 (構成管理・変更管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	高度データベースマネジメント	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	5回	
		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「システム監査」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ITガバナンス			鈴木裕治
第2回	システム監査①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム監査②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム監査基準①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム監査基準②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

学科		情報システム学科（3年課程）		
学年		2 学年		
科目名	高度データベースストラテジ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「企業と法務」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	企業と法務 経営・組織論			鈴木裕治
第2回	企業と法務 OR・IE			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	企業と法務 会計・財務・知的財産権			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	企業と法務 セキュリティ関連法規・労働関連法規・取引関連法規			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	企業と法務 その他の法律・ガイドライン・技術者倫理・標準化関連			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	データベーススペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

		学科	情報システム学科（3年課程）		
		学年	2 学年		
科目名	高度ネットワークテクノロジー		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	:
平常点	:	30		%	
	:			%	
	:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにテクノロジー系「開発技術」の知識の習得を目的とする。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術 (システム要件定義・システム方式設計)	鈴木裕治	第6回	システム開発技術 (システム結合・システム適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第2回	システム開発技術 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治	第7回	システム開発技術 (導入・受入れ支援・保守・廃棄)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム開発技術 (ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治	第8回	ソフトウェア開発管理技術 (開発プロセス・手法)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム開発技術 (ソフトウェア構築)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第9回	ソフトウェア開発管理技術 (知的財産適用管理・開発環境管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム開発技術 (ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子	第10回	ソフトウェア開発管理技術 (構成管理・変更管理)	鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。				

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	高度ネットワークマネジメント	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	授業回数	5回	
		成績 評価 方法	筆記試験	:
平常点	:		30 %	
	:		%	
	:		%	
	:		%	
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにマネジメント系「システム監査」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ITガバナンス			鈴木裕治
第2回	システム監査①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	システム監査②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	システム監査基準①			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	システム監査基準②			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

		学科	情報システム学科（3年課程）	
		学年	2 学年	
科目名	高度ネットワークストラテジ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子		授業回数	5回
			成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立させるためにストラテジ系「企業と法務」の知識の習得を目的とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	企業と法務 経営・組織論			鈴木裕治
第2回	企業と法務 OR・IE			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第3回	企業と法務 会計・財務・知的財産権			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第4回	企業と法務 セキュリティ関連法規・労働関連法規・取引関連法規			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
第5回	企業と法務 その他の法律・ガイドライン・技術者倫理・標準化関連			鈴木裕治・大野直哉 河野賢一・伊藤和子
準備学習等				
教科書 参考書等	ネットワークスペシャリスト 対策テキスト&演習ドリル			
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。			

学科	OA事務学科(2年課程)・経理事務学科(2年課程)・ ビジネス学科(2年課程)・情報システム学科(2年課程)・ 情報システム学科(3年課程)・総合公務員学科(2年課程)・ 行政公務員学科(2年課程)・法律公務員学科(2年課程)
学年	2学年・3学年

科目名	社会人基礎知識Ⅰ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間	
		単位数	3単位	
科目教員	久保田 佳子・千葉 佳名江・高橋 敬 中島 京哉・伊藤 浩彰・瀬尾 幸江 鈴木 裕治・河野 賢一・大野 直哉	授業回数	30回	
		成績 評価 方法	ミニテスト	: 40 %
			筆記試験	: 40 %
			授業態度	: 20 %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	就職試験に出題される漢字の読み、書きの力を身につける。そして日本ビジネス技能検定協会 漢字検定1・2級の取得も目指す。また、時事に興味関心を持ち、基本的な時事用語を覚え、継続的に学び、基本的な用語を理解することで、就職試験にも対応できる力を養う。時事だけでなく、旬なテーマに対して情報収集し、自分の考えや意見を持ち、プレゼンテーションできるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	漢字 訓読み・送り仮名 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第16回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第2回	漢字 熟語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第17回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第3回	漢字 同音意義・異字同訓 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第18回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉

第4回	漢字 熟語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第19回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第5回	漢字 誤字訂正 類義語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第20回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第6回	漢字 反対語 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第21回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第7回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第22回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第8回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第23回	時事研究 テーマに対して情報収集をし 自分の意見をまとめ、発表 (プレゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第9回	漢字 漢字の意味と使い方 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第24回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表(プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第10回	漢字 ことわざ・故事成語・ 慣用句 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第25回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表(プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第11回	漢字 ことわざ・故事成語・ 慣用句 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第26回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表(プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第12回	漢字 特殊な漢字の読み書き 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第27回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見 をまとめる PowerPoint作成し、発表(プレ ゼン) する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉

第13回	漢字 特殊な漢字の読み書き 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第28回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第14回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第29回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
第15回	漢字 総合問題 時事用語	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉	第30回	時事研究 グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉
準備学習等	基本的な漢字や時事用語を覚え、知ること、理解を深めることで、就職試験にいかすことができる。自宅での復習など、知識の定着をはかる。				
教科書 参考書等	漢字能力検定試験対策問題集 1級（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 漢字能力検定試験対策問題集 2級（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 時事用語は日々プリントを配布いたします。				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がります。				

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・行政公務員学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	社会人基礎知識Ⅱ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	久保田佳子・高橋敬・中島京哉 千葉佳名江・瀬尾幸江・伊藤浩彰 大野直哉・鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回	
		成績評価方法	筆記試験	: 40 %
			課題・レポート提出	: 40 %
			授業態度	: 20 %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	就職活動や授業を通して自己を向上させる能力に気付かせ、実践力を養う。多様な人々と関わりながら学ぶことで、時代の変化に動じることなく、活躍し続けることができる柔軟性を持った人材を育成する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 ・社会人基礎力とは ・就職の心がまえ ・就職試験の種類と形式	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第11回	書類を作成・郵送する ・郵便のマナー ・封筒を作成する ・送付状を作成する	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一

第2回	就職活動の進め方 ・業界と職種、企業の研究	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第12回	書類を作成・郵送する ・お礼状を作成する ・内定決定後の意識の持ち方	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第3回	就職活動の進め方 ・業界と職種、企業の研究	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第13回	ビジネスコミュニケーション ・学生と社会人の違い ・コミュニケーションの種類 と必要性	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第4回	自己理解を深める ・自己を分析する (マインドマップ) (ロジックツリー) (長所・短所)	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第14回	ビジネスにおけるメール ・形式と作成のポイント ・宛先の注意点 (To、Cc) ・署名欄を使い分ける	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第5回	自己理解を深める ・自分史を作成する ・無意識の行動や習慣の分析	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第15回	ビジネス文書 ・役割と種類 ・作成に必要な2つの技能	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一

第6回	自己理解を深める ・題材の選び方 ・文章作成のポイント ・言葉を選ぶ	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第16回	社外文書 ・形式と作成のポイント	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第7回	自己理解を深める ・自己PRを作成する	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第17回	社内文書 ・形式と作成のポイント	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第8回	面接試験対策 ・面接の必要性 ・質問の種類とスタイル ・面接試験の評価ポイント	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第18回	電話応対 ・電話の特性 ・基本マナー	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一
第9回	面接試験対策 ・具体的な話し方と注意点 ・面接当日までにすべきこと	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一	第19回	電話応対 ・受け方 ・伝言メモを作成する	久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一

第10回	<p>面接試験対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみと立ち居振舞い ・面接の流れを把握する (入室から退室まで) 	<p>久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一</p>	第20回	<p>電話応対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ方 ・不在着信の折り返し方 	<p>久保田佳子 高橋敬 中島京哉 千葉佳名江 瀬尾幸江 伊藤浩彰 大野直哉 鈴木裕治 河野賢一</p>
準備学習等	<p>将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善を図る。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。</p>				
教科書 参考書等	<p>就職ガイドブック (大原出版) 就職ノートブック</p>				
備考	<p>複数学科・複数学年による合同授業となる。受講生の習熟の度合や進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴い、授業内容を変更する場合がある。</p>				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	システム開発演習		授業形態	演習			
			選必の別	選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間			
			単位数	4単位			
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	15回			
			成績評価方法	課題提出	:	70	%
				平常点	:	30	%
					:		%
					:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:	%		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容							
実務経験教員の実務経験内容							
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、システム及びアプリケーションの設計から実装までの工程を行うことができる。						
授業計画							
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員		
第1回	開発テーマ立案	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第9回	アプリケーション開発⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第2回	スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第10回	アプリケーション開発⑥	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第3回	外部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	アプリケーション開発⑦	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第4回	内部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	テスト・デバッグ①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第5回	アプリケーション開発①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	テスト・デバッグ②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第6回	アプリケーション開発②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プレゼンテーション資料作成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第7回	アプリケーション開発③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		
第8回	アプリケーション開発④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉					
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミング能力を必要とする。						
教科書 参考書等							
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。						

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	C言語	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績評価方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	C言語を用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	C言語基礎① 環境設定	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	C言語応用⑤ 繰返し	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	C言語基礎② プログラムの構成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	C言語基礎⑦ 配列	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	C言語応用① プログラムの構成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	C言語応用⑥ 配列	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	C言語基礎③ 入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	C言語基礎⑧ 文字列操作	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	C言語応用② 入出力	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	C言語応用⑦ 文字列操作	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	C言語基礎④ 演算子	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	C言語基礎⑨ 構造体	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	C言語応用③ 演算子	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	C言語応用⑧ 構造体	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	C言語基礎⑤ 分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	C言語基礎⑩ ポインタ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	C言語応用④ 分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	C言語応用⑨ ポインタ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	C言語基礎⑥ 繰返し	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	C言語応用⑩ 自作関数	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	J A V A 言語	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回	
		成績評価方法	課題提出	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	Javaを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	JAVA言語基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	JAVA言語応用④ 例外処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	JAVA言語基礎② Javaの概要	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	JAVA言語基礎⑧ 入出力処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	JAVA言語基礎③ Javaの言語仕様	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	JAVA言語応用⑤ 入出力処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	JAVA言語基礎④ クラス	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	JAVA言語基礎⑨ マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	JAVA言語応用① クラス	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	JAVA言語応用⑥ マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	JAVA言語基礎⑤ クラスと継承	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	JAVA言語基礎⑩ インターフェース設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	JAVA言語応用② クラスと継承	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	JAVA言語応用⑦ インターフェース設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	JAVA言語基礎⑥ Javaのクラスライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	JAVA言語基礎⑪ インターフェース開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	JAVA言語応用③ Javaのクラスライブラリ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	JAVA言語応用⑧ インターフェース開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	JAVA言語基礎⑦ 例外処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	JAVA言語応用⑨ 作成課題	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	Python言語	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	Pythonを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	Python基礎① 環境構築と概要	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	Python応用① ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	Python基礎② 変数とデータ型	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	Python応用② ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	Python基礎③ コレクション	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	Python応用③ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	Python基礎④ 条件分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	Python応用④ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	Python基礎⑤ 繰り返し処理	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	Python応用⑤ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	Python基礎⑥ 条件分岐	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	Python応用⑥ ライブラリを用いた開発	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	Python基礎⑦ 関数	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	Python応用⑦ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	Python基礎⑧ オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	Python応用⑧ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	Python基礎⑨ モジュール	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	Python応用⑨ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	Python基礎⑩ パッケージ	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	Python応用⑩ フレームワーク	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	プログラム言語		授業形態		
			演習	選必の別	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間	
			単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉		授業回数	20回	
			成績評価方法	課題提出	: 70 %
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	プログラム言語の基礎的な知識及びプログラム開発におけるワークフローに関する知識を有し、プログラムを作成することができる。				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング基礎①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	プログラミング応用① フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	プログラミング基礎②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	プログラミング応用② フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	プログラミング基礎③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	プログラミング応用③ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	プログラミング基礎④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プログラミング応用④ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	プログラミング基礎⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プログラミング応用⑤ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	プログラミング演習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	プログラミング応用⑥ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	プログラミング演習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	プログラミング応用⑦ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	プログラミング演習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	プログラミング応用⑧ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	プログラミング演習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	プログラミング応用⑨ フレームワーク	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	プログラミング演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	プログラミング応用⑩ フレームワーク	鈴木裕治 大野直哉 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	表計算ソフト基礎 I		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子		授業回数	20回
			成績 評価 方法	確認試験
ミニテスト	: 50 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ			
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター			
授業目的 到達目標	パソコンおよびExcelの基本的な用語と基本操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験3級の取得を目指す。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Excelの画面構成、タイピング練習	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	Excel基本演習⑩ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Excel基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	Excel基本演習⑪ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Excel基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	Excel基本演習⑫ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Excel基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	Excel基本演習⑬ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Excel基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	Excel基本演習⑭ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Excel基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	Excel基本演習⑮ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子

第7回	Excel基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Excel基本演習⑦ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Excel基本演習⑧ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Excel基本演習⑨ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験 3 級問題集（株式会社サーティファイ） Excel表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	文書処理ソフト基礎		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数		60時間	
			単位数		3単位	
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子		授業回数		20回	
			成績 評価 方法	確認試験		:
ミニテスト		:		50	%	
		:			%	
		:			%	
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ					
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター					
授業目的 到達目標	パソコンおよびWordの応用的な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Word文書処理 技能認定試験2級の取得を目指す。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス、Wordの画面構成、タイピング練習	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	Word基本演習⑩ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第2回	Word基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	Word基本演習⑪ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第3回	Word基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	Word基本演習⑫ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第4回	Word基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	Word基本演習⑬ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第5回	Word基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	Word基本演習⑭ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	
第6回	Word基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	Word基本演習⑮ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	

第7回	Word基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Word基本演習⑦ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	Word基本演習⑧ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Word基本演習⑨ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	Word文書処理技能認定試験 3 級問題集（株式会社サーティファイ） Word文書処理技能認定試験 1・2 級問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	OA事務学科（2年課程）・経理事務学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 行政公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	プレゼンテーションソフト	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	伊藤 浩彰・久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
		成績評価方法	確認試験 : % ミニテスト : % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐 久子		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	パソコンおよびPowerPointの基本的な用語と操作から応用的な操作までを習得し、サー ティファイ主催PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、 PowerPointの画面構成	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第11回	PowerPoint基本演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第2回	PowerPoint基本操作①	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第12回	PowerPoint応用演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第3回	PowerPoint基本操作②	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第13回	PowerPoint応用演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第4回	PowerPoint基本操作③	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第14回	PowerPoint応用演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第5回	PowerPoint基本操作④	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第15回	PowerPoint応用演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第6回	PowerPoint基本演習① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第16回	PowerPoint応用演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第7回	PowerPoint基本演習② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第17回	PowerPoint応用演習⑥ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子

第8回	PowerPoint基本演習③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第18回	直前模擬問題① 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第9回	PowerPoint基本演習④ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第19回	直前模擬問題② 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
第10回	PowerPoint基本演習⑤ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子	第20回	直前模擬問題③ 解説	伊藤 浩彰 久保田佳子 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。				
教科書 参考書等	PowerPoint2016クイックマスター（株式会社ウイネット）、 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）				
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	データベースソフト	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間	
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 五十嵐久子	授業回数	20回	
		成績評価方法	実技試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子		: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	データベースソフトウェアを用いたデータの定義やクエリの作成、帳票の作成を学習する。			
実務経験教員の 実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校 情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクターを行っていた。			
授業目的 到達目標	データベースソフトを理解し、操作する能力を身に付ける。また、業務上必要となるデータベースを構築し管理・運用するスキルを学習する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベースソフト概要	五十嵐久子	第11回	データベースソフト 基本操作演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第2回	データベースソフト 基本操作①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第12回	データベースソフト 応用演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第3回	データベースソフト 基本操作②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第13回	データベースソフト 応用演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第4回	データベースソフト 基本操作③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第14回	データベースソフト 応用演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第5回	データベースソフト 基本操作④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第15回	データベースソフト 応用演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第6回	データベースソフト 基本操作演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第16回	データベースソフト 応用演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第7回	データベースソフト 基本操作演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第17回	データベースソフト 応用演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第8回	データベースソフト 基本操作演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第18回	データベースソフト 模擬問題演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第9回	データベースソフト 基本操作演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第19回	データベースソフト 模擬問題演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子
第10回	データベースソフト 基本操作演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子	第20回	データベースソフト 模擬問題演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・五十嵐久子

準備学習等	コンピュータの基本操作およびデータベースに関する基礎を理解していること。
教科書 参考書等	Access2019クイックマスター Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・総合公務員学科（2年課程）・ 法律公務員学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木 裕治・河野 賢一・大野 直哉・伊藤 和子	授業回数	24回
		成績 評価 方法	筆記試験
授業態度	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第17回	基本情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第18回	基本情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第19回	基本情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第20回	基本情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第21回	基本情報総合Ⅱ① 基本情報技術者対策 (テクノロジー)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第22回	基本情報総合Ⅱ② 基本情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第23回	基本情報総合Ⅱ③ 基本情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第24回	基本情報総合Ⅱ④ 基本情報技術者対策 (アルゴリズム)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者試験 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

		学科	情報システム学科（3年課程）					
		学年	3 学年					
科目名	情報処理応用演習			授業形態	演習			
				選必の別	選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間				
			単位数	5単位				
科目教員	鈴木 裕治 河野 賢一 大野 直哉 伊藤 和子			授業回数	24回			
				成績 評価 方法	筆記試験	:	70	%
					平常点	:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:	%			
				:	%			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。							
授業計画								
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員			
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第17回	応用情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第18回	応用情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第19回	応用情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第20回	応用情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第21回	基本情報総合Ⅱ① 応用情報技術者対策 (テクノロジー)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第22回	基本情報総合Ⅱ② 応用情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第23回	基本情報総合Ⅱ③ 応用情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子	第24回	基本情報総合Ⅱ④ 応用情報技術者対策 (プログラミング)	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	応用情報技術者 午前対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者 午後対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		3 学年				
科目名	高度セキュリティ演習			授業形態	演習	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間		
			単位数	5単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	30回	
				成績評価方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第2回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第6回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第7回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第8回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第9回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第10回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		3 学年				
科目名	高度データベース演習			授業形態	演習	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間		
			単位数	5単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	30回	
				成績評価方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標	データベースに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報処理技術者試験対策 データベース演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第2回	情報処理技術者試験対策 データベース演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	情報処理技術者試験対策 データベース演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	情報処理技術者試験対策 データベース演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第6回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第7回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第8回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第9回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第10回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科		情報システム学科（3年課程）				
学年		3 学年				
科目名	高度ネットワーク演習			授業形態	演習	
				選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	90時間		
			単位数	5単位		
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉 伊藤和子			授業回数	30回	
				成績評価方法	筆記試験	: 70 %
					平常点	: 30 %
						: %
						: %
科目教員のうち 実務経験教員						
実務経験教員の実務経験に関する授業内容						
実務経験教員の実務経験内容						
授業目的 到達目標	通信ネットワークに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。					
授業計画						
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第2回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第3回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第4回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第5回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第6回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第7回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第8回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第9回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第10回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	

第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子	第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治・河野賢一 大野直哉・伊藤和子
準備学習等					
教科書 参考書等	基本情報技術者 A科目対策テキスト・演習ドリル				
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。				

学科	経理事務学科（2年課程）・O A事務学科（2年課程）・ ビジネス学科（2年課程）・情報システム学科（3年課）・ 情報システム学科（2年課程）・行政公務員学科（2年課程）・ 総合公務員学科（2年課程）・法律公務員学科（2年課程）・ 税理士会計士学科（2年課程）・税理士会計士学科（3年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	社会人総合演習		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無	有		授業時間数	120時間	
			単位数	7単位	
科目教員	久保田 佳子・千葉 佳名江・伊藤 浩彰・ 大野 直哉・中島 京哉 高橋 敬・ 鈴木 裕治・河野 賢一・五十嵐 久子・ 瀬尾 幸江・草野 淳子・長澤 千春		授業回数	40回	
			成績 評価 方法	確認テスト	: 60 %
				実技試験	: 30 %
				レポート	: 10 %
科目教員のうち 実務経験教員	瀬尾 幸江・草野 淳子・長澤 千春		:	%	
			:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	[草野淳子・瀬尾幸江・長澤千春] [ビジネスマナー]の授業内容を行う上で、実務で対応できる丁寧な電話対応の指導や、状況に応じた臨機応変な対応力、感じの良い対応ができる実践力を指導する。				
実務経験教員の 実務経験内容	<p>[草野淳子] 旅行会社において国内旅行業務に携わり、商品企画・パンフレット作成および当該商品の販売管理・集客状況分析、または関係機関との交渉等を担当していた。2005年より、現公益財団法人実務技能検定協会より委託され秘書技能検定準1級の面接試験の審査員、係員を担当していた。</p> <p>[瀬尾幸江] 宿泊施設での電話交換業務、一般企業での総務事務、労務事務、経理事務等を長年経験し、文書作成管理、電話対応、来客対応などの業務を担当していた。秘書・サービス接客検定1級、電話実践級を取得。秘書技能検定準1級面接試験審査員・係員を担当している。</p> <p>[長澤千春] 専門学校での教務事務を経験し、高校生対象のキャリア教育セミナーや社会人マナーの講義経験があり、サービス接客検定1級を取得している。</p>				

授業目的 到達目標	<p>[Word・Excel]</p> <p>状況に合ったビジネス文書を作成できる。基本的な関数を利用し、グラフの作成・編集ができる。</p> <p>「時事研究」</p> <p>最近のニュースに興味・関心を持ち、様々な媒体から情報収集を行い、自分の考えを述べることができる。</p> <p>[販売管理・仕入管理務]</p> <p>売上事務および請求書の作成から代金回収管理までの流れを理解し、必要書類が作成できる。</p> <p>[ビジネスマナー]</p> <p>ビジネスの場にふさわしい心構えを学び、適切な敬語の表現ができる。初期動作から伝言の受け取りまで、一連の電話応対をスムーズに行うことができる。状況に応じた電話応対ができる。</p>
--------------	---

授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	Word 文書の作成と管理・基本操作	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第21回	販売管理・仕入管理 売上事務の流れ、納品書の作成、売上計上	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第2回	Word 一般的なビジネス文書の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第22回	販売管理・仕入管理 請求書の発行、代金回収管理	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第3回	Word 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第23回	販売管理・仕入管理 複数の取引先との取引	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第4回	Word レポートおよび報告書の作成 表、画像、図形を使った文書の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第24回	販売管理・仕入管理 仕入事務の流れ、仕入管理の記帳	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治

第5回	Word 総合問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第25回	販売管理・仕入管理 仕入代金の支払い、買掛金管理	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第6回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第26回	販売管理・仕入管理 総合問題演習	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第7回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第27回	販売管理・仕入管理 総合問題演習 確認テスト	久保田 佳子 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第8回	Word 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第28回	ビジネスマナー 職場のマナー	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第9回	Word 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第29回	ビジネスマナー あいさつと敬語	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第10回	Word 総合問題演習 確認テスト	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第30回	ビジネスマナー あいさつと敬語	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治

第11回	Excel 表作成の基本操作、数式・関数を活用した集計表の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第31回	ビジネスマナー 電話対応のマナー	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治
第12回	Excel 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第32回	ビジネスマナー 電話対応の受け方	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	Excel 見やすく使いやすい表にする 編集操作	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第33回	ビジネスマナー 電話対応のかけ方	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	Excel 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第34回	ビジネスマナー 状況別電話対応	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第15回	Excel 総合問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第35回	ビジネスマナー 電話対応ロールプレイング	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	Excel グラフの基本、目的に応じた グラフの作成と編集	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第36回	ビジネスマナー 電話対応ロールプレイング	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一

第17回	Excel 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第37回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング 実技確認テスト	久保田 佳子 草野 淳子 長澤 千春 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	Excel 数式・関数を活用した集計表 の作成	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第38回	時事研究 個人研究	久保田 佳子 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	Excel 問題演習	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第39回	時事研究 個人研究	久保田 佳子 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	Excel 総合問題演習 確認テスト	久保田 佳子 千葉 佳名江 伊藤 浩彰 高橋 敬 中島 京哉 河野 賢一 五十嵐 久子 大野 直哉 鈴木 裕治	第40回	時事研究 個人研究	久保田 佳子 伊藤 浩彰 瀬尾 幸江 千葉 佳名江 高橋 敬 中島 京哉 大野 直哉 鈴木 裕治 河野 賢一
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、習慣にする。				
教科書 参考書等	PCPパソコン実習 PCPビジネスマナー PCP販売仕入管理 PCP時事(大原学園)				
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。				

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	ビジネスパソコンスキル	授業形態			
		選必の別	実習		
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間		
		単位数	4単位		
科目教員	久保田 佳子・伊藤 浩彰・ 河野 賢一・大野直哉	授業回数	40回		
		成績評価方法	確認テスト	: 80 %	
			授業態度	: 20 %	
				: %	
				: %	
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %		
実務経験教員の 実務経験内容			: %		
授業目的 到達目標	<p>【Excel応用】業務に役立つ関数およびデータベース機能を活用し、状況に合った集計および資料作成ができる。</p> <p>【Excel検定対策】 サーティファイ Excel検定1級または2級取得を目指す。</p> <p>【Word検定対策】 サーティファイ Word検定1級または2級取得を目指す。</p>				
授業計画					
回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	Excel応用 データベース機能の利用 ワークシート間の集計	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第21回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第2回	Excel応用 問題演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第22回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第3回	Excel応用 見やすく使いやすい表にする 編集操作、表の調整、 印刷プレビュー等	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第23回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第4回	Excel応用 問題演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第24回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第5回	Excel応用 効果測定 授業の類似問題演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第25回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第6回	Excel応用 データの抽出・基本操作を確認	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第26回	Word検定対策 Word応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉

第7回	Excel応用 問題演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第27回	Word応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第8回	Excel応用 ピボットテーブル・基本操作 マクロによる作業の自動化	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第28回	Word応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第9回	Excel応用 問題演習 【見積書（問題）】作成	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第29回	Word応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第10回	Excel応用 効果測定 総合問題（3問）	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第30回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第11回	Excel応用 効果測定 総合問題（4問）	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第31回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第12回	Excel応用 効果測定 総合問題（5問）	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第32回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第13回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第33回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第14回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第34回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第15回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第35回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第16回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第36回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第17回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第37回	Excel検定対策 Excel応用演習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第18回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第38回	Excel応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第19回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第39回	Excel応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
第20回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉	第40回	Excel応用演習 総合問題実習	久保田佳子 伊藤浩彰 河野賢一 大野直哉
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。				

<p>教科書 参考書等</p>	<p>PCPパソコン実習（大原学園） Excel表計算処理技能認定試験1・2級問題集、Word文書処理技能認定試験1・2級問題集、PowerPoint検技能認定試験問題集(株式会社サーティファイ)</p>
<p>備考</p>	<p>複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度に伴う授業内容の変更の可能性があります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テストを実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。</p>

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	社会人総合実習Ⅳ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することでより実務に近い開発を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築	鈴木裕治	第11回	システム要件定義①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築	鈴木裕治	第12回	システム要件定義②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築	鈴木裕治	第13回	非機能要件①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築	鈴木裕治	第14回	非機能要件②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築	鈴木裕治	第15回	システム設計①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	システム設計演習①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	システム設計②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	システム設計演習②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	システム設計演習③	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）
学年	2学年・3学年

科目名	卒業制作	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	授業回数	20回
		成績評価方法	課題提出
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	習得した知識・技術の集大成として、システム及びアプリケーションの設計から実装までを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	開発テーマ立案 スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第11回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第2回	開発テーマ立案 スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第12回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第3回	外部設計・内部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第13回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第4回	外部設計・内部設計	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第14回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第5回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第15回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第6回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第16回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第7回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第17回	プレゼンテーション準備 資料作成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第8回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第18回	プレゼンテーション準備 資料作成	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第9回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第19回	プレゼンテーション準備 資料作成・リハーサル	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉
第10回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉	第20回	制作展	鈴木裕治 河野賢一 大野直哉

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。